

鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事

平成26年 7月

建築																	
図面番号	図面名称			縮尺	図面番号	図面名称			縮尺								
01	共-01	表紙、図面リスト			—	44	A-34	改修前後 2階展開図(3)			1/50	86	S-01	耐震改修工事標準図			—
02	特-01	建築改修工事特記仕様書(1)			—	45	A-35	改修前後 2階展開図(4)			1/50	87	S-02	構造特記仕様書			—
03	特-02	建築改修工事特記仕様書(2)			—	46	A-36	改修前後 2階展開図(5)			1/50	88	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)			—
04	特-03	建築改修工事特記仕様書(3)			—	47	A-37	改修前後 2階展開図(6)			1/50	89	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)			—
05	特-04	建築改修工事特記仕様書(4)			—	48	A-38	改修前後 2階展開図(7)			1/50	90	S-05	鉄骨工作標準図(1)			—
06	特-05	建築工事特記仕様書(1)			—	49	A-39	改修前後 2階展開図(8)			1/50	91	S-06	鉄骨工作標準図(2)			—
07	特-06	建築工事特記仕様書(2)			—	50	A-40	改修前後 2階展開図(9)			1/50	92	S-07	設備工事構造特記仕様書			—
08	特-07	建築工事特記仕様書(3)			—	51	A-41	改修前後 3階平面詳細図(1)			1/50	93	S-08	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準			—
09	特-08	建築工事特記仕様書(4)			—	52	A-42	改修前後 3階平面詳細図(2)			1/50	94	S-09	EZデッキ合成スラブ設計・施工標準			—
10	共-02	案内図、配置図			1/1,000	53	A-43	改修前後 3階展開図(1)			1/50	95	S-09A	植木US合成スラブ用デッキプレート設計・施工標準仕様書			—
11	A-01	外部・内部仕上表(1)			—	54	A-44	改修前後 3階展開図(2)			1/50	96	S-10	地盤改良地業特記仕様書			—
12	A-02	内部仕上表(2)			—	55	A-45	改修前後 3階展開図(3)			1/50	97	S-11	ボーリング柱状図			—
13	A-03	内部仕上表(3)			—	56	A-46	改修前後 3階展開図(4)			1/50	98	S-12	改修前後 1階梁伏図			1/100
14	A-04	求積図			1/200	57	A-47	改修前後 3階展開図(5)			1/50	99	S-13	改修前後 2階梁伏図			1/100
15	A-05	改修前後 1階平面図			1/100	58	A-48	改修前後 1階天井伏図			1/100	100	S-14	改修前後 3階梁伏図			1/100
16	A-06	改修前後 2階平面図			1/100	59	A-49	改修前後 2階天井伏図			1/100	101	S-15	改修前後 R階・PH階梁伏図			1/100
17	A-07	改修前後 3階平面図			1/100	60	A-50	改修前後 3階天井伏図			1/100	102	S-15A	改修後 EV棟新設 1階~R階梁伏図			1/50
18	A-08	改修前後 R階平面図			1/100	61	A-51	改修前 建具表			1/100	103	S-16	改修前後 軸組図-1			1/200
19	A-09	改修前 南側立面図			1/100	62	A-52	新設・改修建具表(1)			1/100	104	S-17	改修前後 軸組図-2			1/200
20	A-10	改修後 南側立面図			1/100	63	A-53	新設・改修建具表(2)			1/100	105	S-17A	改修後 EV棟新設 軸組図			1/100
21	A-11	改修前後 東・西側立面図			1/100	64	A-54	新設・改修建具表(3)			1/100	106	S-18	EV棟 リスト			1/30・1/40
22	A-12	改修前 北側立面図			1/100	65	A-55	アルミ製建具詳細図(1)			1/5・1/20	107	S-19	EV棟 鉄骨詳細図			1/30
23	A-13	改修後 北側立面図			1/100	66	A-56	アルミ製建具詳細図(2)			1/5・1/20	108	S-20	改修後 補強詳細図-1			1/40
24	A-14	改修前後 矩計図			1/50	67	A-57	アルミ製建具詳細図(3)			1/5・1/20	109	S-21	改修後 補強詳細図-2			1/20・1/40
25	A-15	E V 棟 平面・断面詳細図、展開図			1/50	68	A-58	EV棟 Exp. J詳細図			1/4						
26	A-16	改修前後 西側階段断面詳細図			1/50	69	A-59	学生課パーティション 詳細図(1)			1/50						
27	A-17	改修前後 東側階段断面詳細図			1/50	70	A-60	学生課パーティション 詳細図(2)			1/5						
28	A-18	改修前後 PH階(時計塔)断面詳細図			1/50	71	A-61	【参考図】移動間仕切り詳細図(1)			1/50						
29	A-19	改修前後 1階平面詳細図(1)			1/50	72	A-62	【参考図】移動間仕切り詳細図(2)			1/3・1/10						
30	A-20	改修前後 1階平面詳細図(2)			1/50	73	A-63	部分詳細図(1)			1/10						
31	A-21	改修前後 1階展開図(1)			1/50	74	A-64	部分詳細図(2)			1/10・1/20・1/30・1/50						
32	A-22	改修前後 1階展開図(2)			1/50	75	A-65	1階法規チェック図			1/100						
33	A-23	改修前後 1階展開図(3)			1/50	76	A-66	2階法規チェック図			1/100						
34	A-24	改修前後 1階展開図(4)			1/50	77	A-67	3階法規チェック図			1/100						
35	A-25	改修前後 1階展開図(5)			1/50	78	A-68	居室法規チェックリスト			—						
36	A-26	改修前後 1階展開図(6)			1/50	79	A-69	日影図			1/1,000						
37	A-27	改修前後 1階展開図(7)			1/50	80	A-70	改修前後 外構配置図			1/100						
38	A-28	改修前後 1階展開図(8)			1/50	81	A-71	外構詳細図(1)			1/30・1/50						
39	A-29	改修前後 1階展開図(9)			1/50	82	A-72	外構詳細図(2)			1/10・1/20・1/50						
40	A-30	改修前後 2階平面詳細図(1)			1/50	83	EV-01	エレベーター 特記仕様書-1			—						
41	A-31	改修前後 2階平面詳細図(2)			1/50	84	EV-02	エレベーター詳細図(1)			1/30						
42	A-32	改修前後 2階展開図(1)			1/50	85	EV-03	エレベーター詳細図(2)			1/30						
43	A-33	改修前後 2階展開図(2)			1/50												

記事	設置課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	表紙、図面リスト	平成26年7月	01/109
																縮尺	番号
																1/—	共—01

※A3版の場合は50%縮尺とする

建築改修工事特記仕様書

工事概要

Table with 4 columns: Item, Management, etc. Includes sections for project name, location, completion date, and technical specifications like structure, area, and modification details.

一般特記事項

Table with 2 columns: Item, Details. Contains general notes regarding construction standards, safety, and specific project requirements.

1章 一般共通事項

Table with 4 columns: Category, Item, Details, etc. Covers safety, personnel requirements, and equipment specifications.

排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

Table with 2 columns: Category, Details. Lists equipment types and their specifications for exhaust gas countermeasures.

ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両
① 受注者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両（以下本工事関係車両という。）が、当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例（以下「排出ガス規制条例」という。）の適用を受ける場合は、これに適合した車両を使用しなければならない。

Table with 2 columns: Material Name, Remarks. Lists materials used in the project and their specific details.

Table with 2 columns: Job Type, Skill Check Category. Lists construction tasks and their associated skill requirements.

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工程については、施工の確認及び報告を監督職員に行うものとする。

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員との立会いを受ける。

Table with 3 columns: Measurement Item, Location, Sample Count. Lists air quality measurement points and sampling methods.

Table with 3 columns: Measurement Item, Measurement Method, etc. Details measurement methods for various pollutants like VOCs and particulates.

試料採取方法
試料採取は室内及び外気の各1ヶ所を2回ずつとし、対象室内を30分換気後に対象室内を5時間以上密閉し、その後概ね30分間採取の濃度（μg/m³）で表す。

Table with 2 columns: Completion Drawing, Construction Drawing. Lists drawing types and their quantities.

完成図の種類及び記入内容は次による。
完成図 ①原図 ②A1 ③A3 各1部

Table with 2 columns: Drawing Type, Details. Lists drawing types like CAD data and their specifications.

完成図の様式等は次による。
作成方法 紙媒体、CADデータ
原図サイズ A1、A3

工事写真帳は（紙媒体 ①電子媒体）で2部提出する。
完成写真はキャピネ版とし黒表紙、工事名称等は金文字入りとする。

貸与する設計図のCADデータ著作権者名：鈴鹿工業高等専門学校
ファイル形式：JWW
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために以外に使用しないこと。

提出方法 製本、USBメモリ、CD-ROM
安全に関する資料 提出部数 ②2部

Table with 15 columns: Roles (Director, Supervisor, etc.), Company Name, Site Name, Date, etc. Provides administrative and identification information for the project.

※A3版の場合は50%縮尺とする

7章 塗装改修工事																												
<7.1.3> 材料	塗料は、ホルマリン不検出のものとし、有機溶剤の含有の少ないものとする。 防火材料の指定 ○屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所は防火材料とする。 -----																											
8章 耐震改修工事																												
コンクリートの品質	<table border="1"> <thead> <tr> <th>概要</th> <th>種類</th> <th colspan="3">普通コンクリート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用箇所</td> <td>基礎(1F以下の部分)</td> <td>左記以外の部分</td> <td>耐震壁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計基準強度 (N/mm²)</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スランプ (cm)</td> <td>1.8</td> <td>1.8</td> <td>1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>気乾単位容積質量 (kg/m³)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	概要	種類	普通コンクリート			適用箇所	基礎(1F以下の部分)	左記以外の部分	耐震壁		設計基準強度 (N/mm ²)	2.1	2.1	2.1		スランプ (cm)	1.8	1.8	1.8		気乾単位容積質量 (kg/m ³)						
概要	種類	普通コンクリート																										
適用箇所	基礎(1F以下の部分)	左記以外の部分	耐震壁																									
設計基準強度 (N/mm ²)	2.1	2.1	2.1																									
スランプ (cm)	1.8	1.8	1.8																									
気乾単位容積質量 (kg/m ³)																												
<8.1.5> 鉄骨製作工場	工場性能評価グレード _____ 以上の工場																											
<8.2.1> 鉄筋	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○SD295A</td> <td>D10 D13 D16</td> <td>壁・床</td> </tr> <tr> <td>○SD345</td> <td>D19</td> <td>壁・床</td> </tr> <tr> <td>・SR235</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	径 (mm)	適用箇所	○SD295A	D10 D13 D16	壁・床	○SD345	D19	壁・床	・SR235																	
種類の記号	径 (mm)	適用箇所																										
○SD295A	D10 D13 D16	壁・床																										
○SD345	D19	壁・床																										
・SR235																												
<8.2.2> 溶接金網	<table border="1"> <thead> <tr> <th>編目の形状、寸法</th> <th>鉄線の径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	編目の形状、寸法	鉄線の径																									
編目の形状、寸法	鉄線の径																											
<8.2.6> 型枠の材料	床型枠用鋼製デッキプレート 使用箇所 _____ 備考 _____ 製造所 -----																											
<8.2.8> 鋼材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材質</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・棒鋼</td> <td>SD259A・SD345</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・平鋼</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・形鋼 (H形)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・形鋼 (その他)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼板 (中・厚)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼板 (薄)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・軽量形鋼</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・角形鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	材質	備考	・棒鋼	SD259A・SD345		・平鋼			・形鋼 (H形)			・形鋼 (その他)			・鋼板 (中・厚)			・鋼板 (薄)			・軽量形鋼			・角形鋼管		
種別	材質	備考																										
・棒鋼	SD259A・SD345																											
・平鋼																												
・形鋼 (H形)																												
・形鋼 (その他)																												
・鋼板 (中・厚)																												
・鋼板 (薄)																												
・軽量形鋼																												
・角形鋼管																												
<8.3.4> 継手及び定着	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">継手方法等</th> <th>径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th colspan="2">継手方法</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接</td> <td>・機械式継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・溶接継手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">○重ね継手</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>主筋又は耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ○40d ・45d ・ 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ○40d 柱に取り付けるはりの引張り鉄筋の定着長さ・40d ・45d ・ 柱に取り付けるはりの引張り鉄筋以外鉄筋の定着長さ -----</p>	継手方法等			径 (mm)	部位	継手方法			柱、梁の主筋	・ガス圧接	・機械式継手			・溶接継手			その他	○重ね継手									
継手方法等			径 (mm)																									
部位	継手方法																											
柱、梁の主筋	・ガス圧接	・機械式継手																										
	・溶接継手																											
その他	○重ね継手																											
<8.3.8> ガス圧接	圧接完了後の試験 ・超音波探傷試験																											
<8.16.2> 耐火被覆材の種類及び性能	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(・乾式工法 ・半乾式工法 ・半湿式工法 ・湿式工法)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り工法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所要性能</th> <th>構造区分</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	性能	・ラス張りモルタル塗り		・耐火材吹付け		(・乾式工法 ・半乾式工法 ・半湿式工法 ・湿式工法)		・耐火板張り工法		所要性能	構造区分	適用箇所														
種別	性能																											
・ラス張りモルタル塗り																												
・耐火材吹付け																												
(・乾式工法 ・半乾式工法 ・半湿式工法 ・湿式工法)																												
・耐火板張り工法																												
所要性能	構造区分	適用箇所																										
<8.19.3> 既存部分の処理	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">目荒し</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th>平均深さ (mm)</th> <th>打継ぎ面に対する目荒らし面積の割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁・床</td> <td>5</td> <td>75~100</td> </tr> </tbody> </table>	目荒し			部位	平均深さ (mm)	打継ぎ面に対する目荒らし面積の割合 (%)	壁・床	5	75~100																		
目荒し																												
部位	平均深さ (mm)	打継ぎ面に対する目荒らし面積の割合 (%)																										
壁・床	5	75~100																										
<8.19.8> コンクリートの打込み	○流込み工法 ・圧入工法																											
<8.21.5> 溶接金網巻き工法及び溶接フープ巻き工法	打込の工法の種類 ・流込み工法 ・圧入工法																											

9章 環境配慮改修工事																																																																		
<9.1.1> 一般事項	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">アスベスト含有建材の処理の工事</th> </tr> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・除去処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・封じ込め処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・囲い込み処理</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工調査 目視又は設計図書による施工調査は、次の事項について行い、調査結果をとりまとめ、図面等により記録し、監督職員に提出する。 1. アスベスト含有建材使用部位の確認 2. アスベスト含有建材の厚さ等の確認 3. アスベスト含有建材使用数量の確認 4. 施工範囲等の確認</p> <p>分析によるアスベスト含有の調査 ・行う 調査対象室 _____ 調査対象建材 -----</p> <p>分析によるアスベスト含有の調査は、「改訂 既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説2006 (日本建築センター H18.10)」(以下「センター指針」という。)の「3.3.3資料採取による現地調査」に基づき行う。ただし、アスベスト含有の分析方法は、JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。それ以外の分析方法とする場合は、監督職員と協議する。</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 処理作業室、処理作業室以外の室内又は室外、負圧・除じん装置の排出吹き出し口、敷地境界において、アスベスト粉じん濃度の測定を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定名称</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理作業前</td> <td>測定1</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点又は3点</td> <td>(各施工箇所毎)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定2</td> <td>処理作業室以外の室内又は室外</td> <td>計2点</td> <td>大気</td> </tr> <tr> <td>処理作業中</td> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点又は3点</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定4</td> <td>負圧・除じん装置の排出吹き出し口</td> <td>出口吹出し風速 1m/sec以下の位置 各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定5</td> <td>処理作業室 敷地境界</td> <td>4方向 各1点 (敷地境界)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業後</td> <td>測定6</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(γ-養生中)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業終了後</td> <td>測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点又は3点</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>シート撤去後</td> <td>測定8</td> <td>処理作業室以外の室内又は室外</td> <td>計2点</td> <td>大気</td> </tr> <tr> <td>1週間以内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. アスベスト粉じん濃度の測定に当たっては、アスベスト粉じん濃度測定計画書を作成し監督職員に提出する。</p> <p>3. 下記の内容に基づくアスベスト粉じん濃度測定結果報告書を作成し、監督職員に提出する。 1) 工事名称 2) 測定結果 3) 測定時間 4) 測定位置 (測定高さと共に図示する。) 5) 測定時の作業内容 6) サンプリング条件 (棒径・直径、吸引時間、吸引空気量) 7) マウンティング方法 8) 顕微鏡視野面積、計数視野数 9) 計数アスベスト繊維について 10) 測定時 (各測定場所毎)の温度、湿度、風圧 11) その他必要な事項</p> <p>アスベスト含有建材飛散防止処理施工計画書 施工調査の結果に基づき、アスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだアスベスト含有建材飛散防止処理施工計画書を「センター指針」の「5.3.2施工計画書の作成」に基づき作成する。</p> <p>施工におけるアスベスト粉じん飛散防止措置等 施工におけるアスベスト粉じん飛散防止措置等は、関係法令によるほか、<9.1.3>、<9.1.4>及び<9.1.5>に示すものうち、特に次の事項については「センター指針」の「5.2.4飛散防止措置等」に基づき実施する。 1) 粉じん飛散抑制剤の使用 2) 粉じん飛散防止処理剤の使用 3) 負圧・除じん装置の設置 4) 隔離シートの撤去</p> <p>処理工事 1. 除去処理工事は、<9.1.3>及び<9.1.4>によるほか、「センター指針」の「吹付けアスベスト処理工事マニュアル」の「I 除去処理工事」に定める「5.除去処理作業手順」に基づいて行う。</p>	アスベスト含有建材の処理の工事		工事種別	適用箇所	・除去処理		・封じ込め処理		・囲い込み処理		測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考	処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	(各施工箇所毎)		測定2	処理作業室以外の室内又は室外	計2点	大気	処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	※		測定4	負圧・除じん装置の排出吹き出し口	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置 各2点			測定5	処理作業室 敷地境界	4方向 各1点 (敷地境界)		処理作業後	測定6	処理作業室内	各2点		(γ-養生中)					作業終了後	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	※	シート撤去後	測定8	処理作業室以外の室内又は室外	計2点	大気	1週間以内				
アスベスト含有建材の処理の工事																																																																		
工事種別	適用箇所																																																																	
・除去処理																																																																		
・封じ込め処理																																																																		
・囲い込み処理																																																																		
測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考																																																														
処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	(各施工箇所毎)																																																														
	測定2	処理作業室以外の室内又は室外	計2点	大気																																																														
処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	※																																																														
	測定4	負圧・除じん装置の排出吹き出し口	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置 各2点																																																															
	測定5	処理作業室 敷地境界	4方向 各1点 (敷地境界)																																																															
処理作業後	測定6	処理作業室内	各2点																																																															
(γ-養生中)																																																																		
作業終了後	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	※																																																														
シート撤去後	測定8	処理作業室以外の室内又は室外	計2点	大気																																																														
1週間以内																																																																		
<9.1.2> 除去工事共通事項	<p>工事管理者 1. 処理工事に係る総合的技術管理者を選任する。 なお、工事管理者は、アスベスト含有建材飛散防止処理施工等にかかわる指導、及び管理を行う能力を有し、建設業法で規定する主任技術者又は監理技術者の資格を有する者とする。</p> <p>2. 工事管理者と現場代理人及び石綿作業主任者はこれと兼ねることができる。</p>																																																																	
<9.1.3> アスベスト含有吹付け材の除去	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">アスベスト含有吹付け材の処理を行う範囲は図示による。</th> </tr> <tr> <th>室名</th> <th>処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト含有吹付け材の処理 ・密封処理 (二重袋梱包) ・セメント固化</p>	アスベスト含有吹付け材の処理を行う範囲は図示による。		室名	処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様																																																													
アスベスト含有吹付け材の処理を行う範囲は図示による。																																																																		
室名	処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様																																																																	
<9.1.4> アスベスト含有保温材等の除去	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">アスベスト含有保温材等の処理を行う範囲は図示による。</th> </tr> <tr> <th>室名</th> <th>処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	アスベスト含有保温材等の処理を行う範囲は図示による。		室名	処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様																																																													
アスベスト含有保温材等の処理を行う範囲は図示による。																																																																		
室名	処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様																																																																	

2. 封じ込め処理工事は、「センター指針」の「吹付けアスベスト処理工事マニュアル」の「II 封じ込め処理工事」に定める「5.封じ込め処理作業手順」に基づいて行う。							
3. 囲い込み処理工事は、「センター指針」の「吹付けアスベスト処理工事マニュアル」の「III 囲い込み処理工事」に定める「5.囲い込み処理作業手順」に基づいて行う。 なお、軽量鉄骨天井下地、つりボルト用彫込みアンカーの取付けは<6.6.1>~<6.6.4>によることとし、アスベスト粉じん飛散防止措置を講じたいうで行う。							
4. アスベスト含有成形板の撤去工事は、<9.1.5>によるほか、「非飛散性アスベスト廃棄物の適正処理について」(平成17年3月30日付環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課適正処理・不法投棄対策室長 環廃産発第050330010)別添の「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」(以下「技術指針」という。)の「第3章 撤去」及び次の事項に基づき実施する。							
5. 上記によるほか、処理作業に伴い発生する飛散性アスベストを含む廃棄物 (以下、「アスベスト廃棄物」という。)を作業当日に適切に処理可能となるよう作業手順を定める なお、一日の作業終了時には床等を高性能真空掃除機等により清掃する。							
材料 粉じん飛散防止処理剤、粉じん飛散抑制剤は散布特性、浸透湿潤性、耐久性、防・耐火性、防音性などを考慮して適切なものを選定し、関係資料を監督職員に提出する。							
アスベスト廃棄物の処理 1. 「アスベスト廃棄物」の処理に当たっては、関係法令、地方公共団体・特定行政庁の指導等によるほか、「建設廃棄物処理マニュアル ((財) 日本産業廃棄物処理振興センター-H13.7)」に基づいて実施する。							
2. アスベスト廃棄物をやむを得ず一時的に構内に保管する場合の保管場所等については、監督職員と協議する。							
3. アスベスト廃棄物の構外搬出作業に当たって、作業実施予定日時等を事前に監督職員と協議する。							
アスベスト含有建材飛散防止処理施工記録 1. 施工記録報告書を作成し、監督職員に提出する。							
2. 施工記録報告書は下記の事項により作成する。 1) 施工計画書 2) 工事記録及び工事写真 3) 産業廃棄物処理記録 4) 施工調査等記録 5) 作業者の作業記録 6) 建物の使用に当たっての注意事項 7) 異状があった場合の連絡先等 8) 処理工事期間 9) 処理工事業者名 10) 処理工事の場所・部位 11) 飛散防止処理剤の種類と使用量等 12) 囲い込み材料の使用量等 13) その他必要な事項							
<9.1.2> 除去工事共通事項	<p>工事管理者 1. 処理工事に係る総合的技術管理者を選任する。 なお、工事管理者は、アスベスト含有建材飛散防止処理施工等にかかわる指導、及び管理を行う能力を有し、建設業法で規定する主任技術者又は監理技術者の資格を有する者とする。</p> <p>2. 工事管理者と現場代理人及び石綿作業主任者はこれと兼ねることができる。</p>						
<9.1.3> アスベスト含有吹付け材の除去	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">アスベスト含有吹付け材の処理を行う範囲は図示による。</th> </tr> <tr> <th>室名</th> <th>処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト含有吹付け材の処理 ・密封処理 (二重袋梱包) ・セメント固化</p>	アスベスト含有吹付け材の処理を行う範囲は図示による。		室名	処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様		
アスベスト含有吹付け材の処理を行う範囲は図示による。							
室名	処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様						
<9.1.4> アスベスト含有保温材等の除去	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">アスベスト含有保温材等の処理を行う範囲は図示による。</th> </tr> <tr> <th>室名</th> <th>処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	アスベスト含有保温材等の処理を行う範囲は図示による。		室名	処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様		
アスベスト含有保温材等の処理を行う範囲は図示による。							
室名	処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様						

<9.1.5> アスベスト含有成形板の除去	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">アスベスト含有成形板の処理を行う範囲は図示による。</th> </tr> <tr> <th>室名</th> <th>処理を行うアスベスト含有成形板の仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト含有成形板の集積・運搬等は、<9.1.5>によるほか、「技術指針」の「第4章 収集運搬」及び次の事項に基づき実施する。</p> <p>アスベスト含有成形板の処分等 アスベスト含有成形板の処分等は、<9.1.5>によるほか、「技術指針」の「第5章 中間処理」、「第6章 最終処分」及び次の事項に基づき実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法^ホリソレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法^ホリソレンフォーム</td> <td>・保温板2種b</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・保温板3種b</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○硬質ウレタンフォーム</td> <td>熱伝導率 0.023W/(m・K)以下</td> <td>○30</td> <td>屋根</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。</p> <p>断熱材現場発泡工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法^ホリソレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法^ホリソレンフォーム</td> <td>・保温板2種b</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・保温板3種b</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○A種1</td> <td>○25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。</p>	アスベスト含有成形板の処理を行う範囲は図示による。		室名	処理を行うアスベスト含有成形板の仕様			種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法 ^ホ リソレンフォーム				・押出法 ^ホ リソレンフォーム	・保温板2種b	・25			・保温板3種b	・25		○硬質ウレタンフォーム	熱伝導率 0.023W/(m・K)以下	○30	屋根	種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法 ^ホ リソレンフォーム				・押出法 ^ホ リソレンフォーム	・保温板2種b	・25			・保温板3種b	・25		・硬質ウレタンフォーム				種類	厚さ (mm)	施工箇所	○A種1	○25		・A種2			・A種3		
アスベスト含有成形板の処理を行う範囲は図示による。																																																											
室名	処理を行うアスベスト含有成形板の仕様																																																										
種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所																																																								
・ビーズ法 ^ホ リソレンフォーム																																																											
・押出法 ^ホ リソレンフォーム	・保温板2種b	・25																																																									
	・保温板3種b	・25																																																									
○硬質ウレタンフォーム	熱伝導率 0.023W/(m・K)以下	○30	屋根																																																								
種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所																																																								
・ビーズ法 ^ホ リソレンフォーム																																																											
・押出法 ^ホ リソレンフォーム	・保温板2種b	・25																																																									
	・保温板3種b	・25																																																									
・硬質ウレタンフォーム																																																											
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																									
○A種1	○25																																																										
・A種2																																																											
・A種3																																																											
<9.3.2> 材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法^ホリソレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法^ホリソレンフォーム</td> <td>・保温板2種b</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・保温板3種b</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。</p> <p>断熱材現場発泡工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○A種1</td> <td>○25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。</p>	種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法 ^ホ リソレンフォーム				・押出法 ^ホ リソレンフォーム	・保温板2種b	・25			・保温板3種b	・25		・硬質ウレタンフォーム				種類	厚さ (mm)	施工箇所	○A種1	○25		・A種2			・A種3																												
種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所																																																								
・ビーズ法 ^ホ リソレンフォーム																																																											
・押出法 ^ホ リソレンフォーム	・保温板2種b	・25																																																									
	・保温板3種b	・25																																																									
・硬質ウレタンフォーム																																																											
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																									
○A種1	○25																																																										
・A種2																																																											
・A種3																																																											
<9.5.3> 断熱材現場発泡工法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○A種1</td> <td>○25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。</p>	種類	厚さ (mm)	施工箇所	○A種1	○25		・A種2			・A種3																																																
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																									
○A種1	○25																																																										
・A種2																																																											
・A種3																																																											

記事	仙石高等学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
												株式会社 綜企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	建築改修工事特記仕様書(4)	縮尺	番号
																—		特—04

※A3版の場合は50%縮尺とする

建築工事特記仕様書	
工事概要・一般事項	
	建築改修工事特記仕様書による。
1章 一般共通事項・2章 仮設工事	
	建築改修工事特記仕様書による。
3章 土工	
(3.2.3) 埋戻し及び盛土	種別 ○A種 ・B種 ・C種 ・D種 C種の場合 建設発生土受入量 発生場所 関連工事名称
(3.2.5) 建設発生土の処理	・構内指定場所に敷き均し ・構内指定場所にたい積 ・(1.3.8)による
4章 地業工事	
(4.2.2) 試験杭	試験杭 杭の本数 ・最初の一本 杭の種類 ・本杭と同じ 杭の寸法 長さ (m) 断面寸法 本杭と同じ
(4.2.3) 杭の載荷試験	・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験
(4.2.4) 地盤の載荷試験	・行う ○行わない
(4.3.1) 適用範囲	施工法 ・特定埋込杭工法 ・プレローリング根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・打込み工法 ・打込み工法(プレローリング併用) ・セメントミルク工法 ○深層混合処理工法
(4.3.2) 材料	種類 ・PHC杭 ・SC杭 ・PRC杭 先端部形状 ・開放型 ・閉そく平坦型
(4.3.3) 打込み工法	杭の設計支持力 試験杭の推定支持力の算定方法 杭の水平方向の位置ずれの精度 mm
(4.3.4) セメントミルク工法	杭の水平方向の位置ずれの精度 mm
(4.3.6) 継手	杭継手工法 ・アーク溶接継手 ・無溶接継ぎ手
(4.4.2) 材料	・鋼管ぐい ・SHK400 ・SHK490 ・H形鋼ぐい ・SHK400M ・SHK490M
(4.5.3) 材料その他	コンクリートの種別 ・A種 ・B種 設計基準強度 N/mm2 鉄筋の最小かぶり厚さ mm コンクリートの調合管理強度による構造体強度補正值(S) N/mm2 掘削工法 ・アースドリル工法(安定液 ・使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない)
(4.5.4) アースドリル工法、リバース工法、及びオールケーシング工法	孔壁測定 ・行う ・行わない 方法 ・超音波測定器 杭の水平方向の位置ずれの精度 mm

(4.5.5) 場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び拡底杭工法	孔壁測定 ・行う ・行わない 方法 ・超音波測定器 杭の水平方向の位置ずれの精度 mm																
(4.6.2) 材料	・再生クラッシュラン(RC-40) ・切込砂利及び切込砕石																
5章 鉄筋工事																	
(5.2.1) 鉄筋	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th colspan="2">径(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○SD295A</td> <td>D13</td> <td>D16</td> <td>地中梁・基礎</td> </tr> <tr> <td>○SD345</td> <td>D19</td> <td></td> <td>基礎</td> </tr> <tr> <td>・SR235</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	径(mm)		適用箇所	○SD295A	D13	D16	地中梁・基礎	○SD345	D19		基礎	・SR235			
種類の記号	径(mm)		適用箇所														
○SD295A	D13	D16	地中梁・基礎														
○SD345	D19		基礎														
・SR235																	
(5.2.2) 溶接金網	編目の形状、寸法 鉄線の径																
(5.3.4) 継手及び定着	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">継手方法等</th> <th>径(mm)</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>○ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td>D19以上</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>○重ね継手</td> <td>D16以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>主筋又は耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ○40d ・45d ・ 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ・ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ○40d ・45d ・ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋以外の鉄筋の定着長さ ・</p>	継手方法等		径(mm)	部位	継手方法		柱、梁の主筋	○ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	D19以上	その他	○重ね継手	D16以下				
継手方法等		径(mm)															
部位	継手方法																
柱、梁の主筋	○ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	D19以上															
その他	○重ね継手	D16以下															
(5.4.9) 圧接完了後の試験	○引張試験																
6章 コンクリート工事																	
コンクリートの品質	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th colspan="2">普通コンクリート</th> </tr> <tr> <th>適用箇所</th> <th>基礎(1F以下の部分)</th> <th>左記以外の部分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計基準強度(N/mm2)</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>スランプ(cm)</td> <td>1.8</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>気乾単位容積質量(kg/m3)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	普通コンクリート		適用箇所	基礎(1F以下の部分)	左記以外の部分	設計基準強度(N/mm2)	2.1	2.1	スランプ(cm)	1.8	1.8	気乾単位容積質量(kg/m3)			
種類	普通コンクリート																
適用箇所	基礎(1F以下の部分)	左記以外の部分															
設計基準強度(N/mm2)	2.1	2.1															
スランプ(cm)	1.8	1.8															
気乾単位容積質量(kg/m3)																	
(6.8.3) 材料	床型枠用鋼製デッキプレート 使用箇所 備考 2F~RF																
(6.11.1) 一般事項	寒中コンクリートの適用期間																
(6.11.3) 品質	コンクリートの強度管理の材齢 28日																
(6.14.1) 一般事項	無筋コンクリート 適用箇所 備考																

7章 鉄骨工事																													
(7.1.3) 鉄骨製作工場	工場性能評価グレード M 以上の工場																												
(7.1.4) 施工管理技術者	○適用する ・適用しない																												
(7.2.1) 鋼材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材質</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・棒鋼</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・平鋼</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○形鋼(H形)</td> <td>SS400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○形鋼(その他)</td> <td>SS400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○鋼板(中・厚)</td> <td>SN490C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼板(薄)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・軽量形鋼</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○角形鋼管</td> <td>BCR295</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	材質	備考	・棒鋼			・平鋼			○形鋼(H形)	SS400		○形鋼(その他)	SS400		○鋼板(中・厚)	SN490C		・鋼板(薄)			・軽量形鋼			○角形鋼管	BCR295		
種別	材質	備考																											
・棒鋼																													
・平鋼																													
○形鋼(H形)	SS400																												
○形鋼(その他)	SS400																												
○鋼板(中・厚)	SN490C																												
・鋼板(薄)																													
・軽量形鋼																													
○角形鋼管	BCR295																												
(7.9.2) 耐火被覆材の種類及び性能	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>所用性能</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロケット吹付</td> <td>1時間</td> <td>柱(EV内)・梁</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸カルシウム板</td> <td>1時間</td> <td>柱(EV内)・EPS内)</td> </tr> </tbody> </table>	種別	所用性能	適用箇所	ロケット吹付	1時間	柱(EV内)・梁	ケイ酸カルシウム板	1時間	柱(EV内)・EPS内)																			
種別	所用性能	適用箇所																											
ロケット吹付	1時間	柱(EV内)・梁																											
ケイ酸カルシウム板	1時間	柱(EV内)・EPS内)																											
(7.10.3) アンカーボルト等の設置	建方用 種別 ・A種 ・B種 ・C種 柱底均しモルタルの工法 種別 ・B種																												
8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事																													
(8.2.2) 材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">コンクリートブロック</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>化粧有りのブロックの適用箇所</th> <th>透水性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・空洞ブロック-16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・型枠状ブロック-20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	コンクリートブロック				種類	厚さ(mm)	化粧有りのブロックの適用箇所	透水性	・空洞ブロック-16				・型枠状ブロック-20															
コンクリートブロック																													
種類	厚さ(mm)	化粧有りのブロックの適用箇所	透水性																										
・空洞ブロック-16																													
・型枠状ブロック-20																													
(8.4.2) 材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">ALCパネル</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>単位荷重(N/m²)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>取付工法種別 適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○外壁パネル</td> <td>平成12年告示1458号基準による</td> <td>○100</td> <td>○A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル</td> <td>637</td> <td></td> <td>・C種 ・D種・E種 ・F種</td> </tr> <tr> <td>・屋根パネル</td> <td>981</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・床パネル</td> <td>2354</td> <td>3530</td> <td>100 150</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・床パネルの耐火性能 ・1時間 ・2時間</td> </tr> </tbody> </table>	ALCパネル				種類	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	取付工法種別 適用箇所	○外壁パネル	平成12年告示1458号基準による	○100	○A種・B種	・間仕切壁パネル	637		・C種 ・D種・E種 ・F種	・屋根パネル	981			・床パネル	2354	3530	100 150	・床パネルの耐火性能 ・1時間 ・2時間			
ALCパネル																													
種類	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	取付工法種別 適用箇所																										
○外壁パネル	平成12年告示1458号基準による	○100	○A種・B種																										
・間仕切壁パネル	637		・C種 ・D種・E種 ・F種																										
・屋根パネル	981																												
・床パネル	2354	3530	100 150																										
・床パネルの耐火性能 ・1時間 ・2時間																													
(8.5.2) 材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">押出成形セメント板</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>取付工法種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・外壁パネル</td> <td>・フラット 裨</td> <td>50・60</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・デザイン 裨</td> <td>50・60</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・ダイバース 裨</td> <td>60</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・間仕切壁パネル</td> <td>・フラット 裨</td> <td>50・60</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・デザイン 裨</td> <td>50・60</td> <td>・C種</td> </tr> <tr> <td>・ダイバース 裨</td> <td>60</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	押出成形セメント板				種類	表面形状	厚さ(mm)	取付工法種別	・外壁パネル	・フラット 裨	50・60	・A種	・デザイン 裨	50・60	・B種	・ダイバース 裨	60		・間仕切壁パネル	・フラット 裨	50・60	・B種	・デザイン 裨	50・60	・C種	・ダイバース 裨	60	
押出成形セメント板																													
種類	表面形状	厚さ(mm)	取付工法種別																										
・外壁パネル	・フラット 裨	50・60	・A種																										
	・デザイン 裨	50・60	・B種																										
	・ダイバース 裨	60																											
・間仕切壁パネル	・フラット 裨	50・60	・B種																										
	・デザイン 裨	50・60	・C種																										
	・ダイバース 裨	60																											

9章 防水工事	
(9-2-3) 防水層の種類種別及び工程	アスファルト防水層の種類 種別 施工箇所
(9-3-3) 防水層の種類種別及び工程	改質アスファルトシート防水層の種類 種別 施工箇所
(9-4-3) 防水層の種類種別及び工程	合成高分子系ルーフィングシート防水層の種類 種別 施工箇所
(9.5.3) 防水層の種類種別及び工程	塗膜防水の種類 種別 施工箇所 X-1 屋根平場 X-2 屋根立上り
(9-6-3) 防水層の種類種別及び工程	ケイ酸系塗布防水の種類 種別 施工箇所
(9-7-2) 材料	シーリング材の種類、施工箇所 ・被着体に応じたものとし、(表9.7.1)を標準とする。 ・下記による 種類(記号) 寸法 施工箇所
(9.7.5) シーリング材の試験	接着性試験 ・引張接着性試験 部位
(注) 寸法には、バックアップ材の寸法は含まない。	

記 事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	建築工事特記仕様書(1)	縮尺	番号
																	特-05

※A3版の場合は50%縮尺とする

10章 石工事					
(10.2.1) 石材	天然石	施工箇所	工法	種類(産地、名称)	表面仕上げの種類
	テラゾ				
	種類材料	形状による区分	寸法による区分	仕上げによる区分	表面仕上げ
	・テラゾ ・平もの ・ブロック ・役もの	・図示	・片面仕上げ ・両面仕上げ	・粗磨き ・水磨き ・本磨き ・粗磨き ・水磨き ・本磨き	
		・300型 ・400型			
(10.2.3) その他の材料	ドレンパイプの材質				
	・ステンレス(SUS304)				
(10.3.2) 材料	外壁湿式工法				
	石裏面処理	・行う	・行わない		
	裏打ち処理	・行う	・行わない		
(10.3.3) 施工	下地ごしらえ				
	・流し筋工法	・あと施工アンカー工法			
	・あと施工アンカー	・横筋流し工法			
	一般目地				
	シーリング材	・適用する	・適用しない		
(10.4.2) 材料	内壁空積工法				
	石裏面処理	・行う	・行わない		
	裏打ち処理	・行う	・行わない		
(10.4.3) 施工	下地ごしらえ				
	・あと施工アンカー工法	・あと施工アンカー	・横筋流し工法		
(10.5.2) 材料	乾式工法				
	・ロッキング工法	・スライド工法			
	裏打ち処理	・行う	・行わない		
	石裏面処理	・行う	・行わない		
(10.6.2) 床の石張り	石材の厚さ (mm)				
	石裏面処理	・行う	・行わない		
	一般目地				
	目地幅 (mm)				
	目地のシーリング材	・適用する			
	ワックス (屋内で本磨きの場合)	・使用する	・使用しない		
(10.6.3) 階段の石張り	石材の厚さ (mm)				
	石裏面処理	・行う	・行わない		
	一般目地				
	目地幅 (mm)				
	目地のシーリング材	・適用する			
	ワックス (屋内で本磨きの場合)	・使用する	・使用しない		
(10.7.2) アーチ、上げ裏等の石張り	石材の厚さ (mm)				
	石裏面処理	・行う	・行わない		
	石裏面処理	・行う	・行わない		
(10.7.3) 笠木、甲板等の石張り	石材の厚さ (mm)				
	石裏面処理	・行う	・行わない		
(10.7.4) 隔て板	石材の厚さ (mm)				

11章 タイル工事				
(11.2.2) 材料	タイルの形状、寸法、きじの質及び工法等			
(11.3.2) 材料	施工箇所	形状・寸法 (mm)	きじ	色
(11.4.2) 材料				
(11.2.7) 施工				
(11.3.7) 施工				
	※施工箇所の下線は、耐凍害性があるものを示す。 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない			
	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り 下地及びタイルごしらえ ・MCR工法 ・目荒し工法			
	有機系接着剤による陶磁器質タイル張り 下地及びタイルごしらえ ・MCR工法 ・目荒し工法			
12章 木工事				
(12.2.1) 木材	日本農林規格品 ・用いる ・用いない			
(12.2.2) 集成材等	製材			
	施工箇所			
	樹種名			
	寸法			
	材面の品質			
	含水率			
	代用樹種の使用	・禁止する	・禁止しない	
	造作用集成材			
	施工箇所			
	樹種名			
	寸法			
	見付け材面の品質			
	含水率			
	造作用単板積層材			
	施工箇所			
	寸法			
	表面処理			
	防虫処理			
(12.3.1) 防虫処理	防虫処理 ・行う 適用範囲			
防蟻処理	防蟻処理 ・行う 適用範囲 防蟻処理は、非有機リン系とする。			
	防蟻・防蟻処理の方法 工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。 ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて防蟻・防蟻を塗布することとする。			
(12.3.2) 防虫処理	防虫処理 ・行う 適用範囲			

13章 屋根及びとい工事				
(13.5.2) 材料	といの材質 ・配管用鋼管 ○硬質塩化ビニル管			
	ルーフドレン			
	種別	防水下地、寸法等		
	○陸屋根用 (・縦型 ・横型)			
	・バルコニー用			
	・バルコニー中継用			
	耐酸被覆鋼板、ガルバリウム鋼板の製造所			
	鋼管製といの防露 施工箇所			
14章 金属工事				
(14.2-1) ステンレスの表面仕上げ	種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)		
	・No. 2B程度			
	・鏡面			
(14.2.2) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	種別	種類	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	
	・A-1種 (無着色)	・AA15		
	・A-2種 (着色)	・AA15		
	○B-1種 (無着色)	○B (一般他)	EXP. J	
	・B-2種 (着色)	・B (一般他)		
	・C-1種 (無着色)	・AA6		
	・C-2種 (着色)	・AA6		
	・D種	—		
	陽極酸化皮膜の着色方法 ・二次電解着色 ・三次電解着色			
(14.2-3) 鉄鋼の垂鉛めっき	表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	
	溶融垂鉛めっき	・A種		
		・B種		
		・C種		
	電気垂鉛めっき	・D種		
		・E種		
		・F種		
(14.6-2) 材料	金属成形板張り			
	種別	形状	寸法 (mm)	表面処理
		板厚 板幅		
	・アルミニウム	・スパント形 ・パネル形		・B-1種 ・B-2種 ・ブラウン ・ブラック ・ステンカラー
(14.7.2) 材料	アルミニウム製笠木 表面処理 無着色陽極酸化塗装擦合皮膜 引下げ鋼線が付く役物 個			
(14.8-2) 手すり	手すり及びタラップ			
(14.8-3) タラップ	種類	種別	表面処理の種別	
	手すり	・ステンレス製 SUS304 ・アルミニウム製 ・鋼製	○HL程度 ・鏡面	
	タラップ	・ステンレス製 SUS304 ・鋼製	・研磨なし	

15章 左官工事				
(15.5.2) 材料	仕上塗材			
	種類	呼び名	仕上げの形状・工法等	
	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・京壁じゅらく	
			工法 ・吹付け ・ローラー塗 ・こて塗り	
	・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	仕上げの形状 ・平たん状 ・凹凸状 ・吹放し ・ひき起こし ・かき落とし	
			工法 ・吹付け ・ローラー塗 ・こて塗り	
	○複層仕上塗材	・複層塗材OE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材OE ・防水形複層塗材OE ○防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	仕上げの形状 ・ゆず肌状 ・凹凸処理 工法 ・吹付け ・ローラー塗 耐候性 ・耐候形1種 ・耐候形2種 上塗材の種類 樹脂 ・アクリル系 ・シリカ ○ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 外観 ○つやあり ・つやなし ・メタリック 触媒 ・溶剤系 ・親溶剤系 ・水系	
			○凹凸模様	
	・軽量骨材仕上塗材 (・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材)			
(15.5.5) 下地調整	コンクリートの下地調整で、タイル張り下地の場合は、下地調整塗材CM-2を全面に塗り付けて、平滑にする。			
16章 建具工事				
(16.2.2) 性能及び構造	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級			
(16.2.4) 形状及び仕上げ	性能等級	・A種	・B種	・C種
	耐風圧性	・S-4	○S-5	・S-6
	気密性	○A-3		・A-4
	水密性	・W-4		○W-5
	枠の見込み寸法 (mm)	○70	・100	・100
	表面処理			
	建具	種別	外部に面する建具 ○B-1種 ・B-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)	
	屋内の建具	・C-1種 ・C-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)		
(16.2.3) 材料	防虫網 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス(SUS316)製 線径 (mm) ○0.25以上 網目 (メッシュ) ・16~18 24			

記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 査	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	07/109	
														図面名称	建築工事特記仕様書(2)	縮尺	番号
															—	—	特—06

(16.3.2) 性能及び構造 (16.3.4) 形状及び仕上げ	外部に面する樹脂製建具の性能等級
	性能等級 ・ A種 ・ B種 ・ C種 耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 気密性 ・ A-4 水密性 ・ W-4 ・ W-5 枠の見込み寸法(mm) ・ 60 ・ 70 ・ 80
(16.2.3) 材料 (16.3.3) 材料	外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級
	種別 ・ T-A種 ・ T-B種 遮音性 ・ S-4 ・ S-5
(16.4.2) 性能及び構造	外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級
	種別 ・ H-A種 ・ H-B種 遮熱性 ・ H-4 ・ H-5
(16.6.3) 材料	防虫網
	・合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 線径(mm) ・ 0.25以上 網目(メッシュ) ・ 16~18
(16.6.4) 形状及び仕上げ	外部に面する鋼製建具の耐風圧性
	ステンレス鋼板 ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ SUS430
(16.6.5) 工法	表面仕上げ
	・ HL仕上げ
(16.8.2) 材質、形状及び寸法	曲げ加工
	・普通曲げ ・ 角出し曲げ(補強あり)
(16.8.4) 鍵	建具用金物
	スイングドア、スイングサッシの金物の種類 バックセット(mm) 製作所 ・モノロック ・本締り付モノロック ・シリンドー錠錠 (レバーハンドルを含む) ・シリンドー本締り錠 ・空錠 ・押棒、押板
(16.14.2) 材料	強化ガラス
	材料板ガラスの種類 材料板ガラス フロート強化ガラス ・ フロートガラス ・ 熱線吸収フロートガラス ・磨き板ガラス ・ 熱線吸収磨き板ガラス 板強化ガラス
(16.14.3) ガラス溝の寸法、形状等	熱線吸収板ガラス
	材料板ガラスの種類 厚さ(mm) 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ ・ グリーン
(16.14.3) ガラス溝の寸法、形状等	熱線反射板ガラス
	種類 材料板ガラスの種類の区分 日射熱遮へい率 反射皮膜の色調 映像調整 ・熱線反射ガラス ・ 70-115 1種 ・ 内面 ・ ブルー ・ 行う ・ 2種 ・ グレー ・ 3種 ・ 外面 ・ ブロンズ ・ シルバー ・高性能熱線反射ガラス
(16.14.3) ガラス溝の寸法、形状等	素材が強化又は倍強度ガラスの場合の製作所
	ガラス溝の寸法、形状等 種類 ガラス厚(mm) 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代 ・強化ガラス ・倍強度ガラス

(16.14.5) ガラスブロック積み	ガラスブロック 寸法及び厚さ(mm) 表面形状 色調 化粧目地の色 シーリングの種類
17章 カーテンウォール工事	
(17.1.3) 性能	性能値 ・耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ 耐温度差性(°C) ・ S-6 ・耐震性 ・ 遮音性 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 ・水密性 ・ W-4 ・ W-5 ・ 断熱性(mh°K/kcal) ・気密性 ・ A-3 ・ A-4 ・耐火性(時間)
18章 塗装工事	
(18.1.3) 材料	塗料は、ホルマリン不検出のものとし、有機溶剤の含有の少ないものとする。 防火材料の指定 ◎屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所は防火材料とする。
(18.2.5) モルタル及びプラスチック一面の素地ごしらえ	表18.2.4において、抗菌性塗料塗りを行う場合は、工程3の吸込止めを抗菌性塗料専用のシーラーとする。
(18.11.2) ウレタン樹脂ニス塗り	・A種 ・ B種 表18.11.1において、体育館の床等、面積の広い部位の研磨は、ポリッシャー等による。
床用塗料塗り	床用塗料塗り 材質 仕上塗材 塗布量
防塵塗料塗り	防塵塗料塗り 材質 仕上塗材 塗布量
菌塗料塗り	抗菌性塗料の製造所・製品名及びつやの程度
19章 内装工事	
(19.2.2) 材料	下記以外のビニル床シートは、種類FS、柄は無地、厚さ2.0mmとする。 種類 性能 厚さ(mm) 柄 施工箇所 工法 ◎織布積層ビニル床シートNC 抗菌性 2.0 有 EVF-ル 便所 2.0 無地 便所
下記以外のビニル床タイルは、厚さ2.0mmとする。 種類 厚さ(mm) 寸法(mm) 施工箇所 ・ホモニアスビニル床タイル ・コンポジションビニル床タイル(軟質)	
ビニル床シート及びビニル床タイル用接着剤は、ホルムアルデヒド不検出のもので、有機溶剤の含有の少ないものとする。	
誘導用、注意喚起用床材 視覚障害者用タイル (別途工事) 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) ◎塩化ビニル系 ◎300×300 ◎20 ・レジンコンクリート系 ・ 300×300 ・ 30	
ゴム床タイル 寸法(mm) 厚さ(mm) 色柄 製造所・製品名	

(19.3.3) 材料	織じゅうたん 種類 バイル形状 帯電性 製造所・製品名 ・A種 ・ カットバイル ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・B種 ・ ルーフバイル ・C種 ・ カット、ルーフ併用
(19.4.3) 工法	タフトッドカーペット バイル形状 バイル長さ(mm) 帯電性 工法 製造所・製品名 ・カットバイル ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ 全面接着工法 ・ルーフバイル ・ ケリッパ工法 ・カット、ルーフ併用
	抗菌加工の有無 ・ 有 ・ 無
(19.5.2) 材料	ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) 帯電性 製造所・製品名 ・人体帯電圧 3KV以下
	抗菌加工の有無 ・ 有 ・ 無
(19.6.2) 材料	タイルカーペット 種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 電気抵抗(Ω) 製造所・製品名 ・カットバイル ・ 500×500 6.5 ・ 適用しない ・ルーフバイル
	合成樹脂塗床材 種類 弾性ウレタン樹脂系 エポキシ樹脂系 工法・仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系 ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂系 ・ 薄膜流し展べ工法 (・平滑・防滑) ・厚膜流し展べ工法 (・平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法 (・平滑・防滑) ・薄膜型塗床材
(19.6.2) 材料	フローリングの種類 単層フローリング 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 工法 ・フローリングボード ・ なら ・ モルタル埋込工法 ・根張り工法 ・直張り工法 ・接着工法 ・フローリングブロック ・ なら ・ 15 ・ 303×303 ・接着工法 ・モザイクブロック
	複合フローリング 樹種 種類 防湿処理 工法 ・複合1種フローリング ・ なら ・ A種 ・ モルタル埋込工法 ・複合2種フローリング ・ B種 ・ 根張り工法 ・複合3種フローリング ・ C種 ・ 行う ・ 直張り工法 ・接着工法
(19.8.2) 材料	畳敷き 種類 ・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 D種の場合の畳床 ・KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N

(19.7.2) 材料	せっこうボード、その他ボード及び合板張り 名称 種類 規格、区別等 厚さ(mm) ◎せっこうボード(GB-R) ・ 9.5(準不燃) ◎12.5(不燃) ◎9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 15.0(不燃)
(19.8.2) 材料	セメントボード製品 ◎ゾウガせっこうボード(GB-S) ・ 12.5(不燃) ◎12.5(準不燃) ・せっこうラスボード(GB-L) ・ 9.5 ・強化せっこうボード(GB-F) ・ 12.5(不燃) ◎不燃積層せっこうボード(GB-NC) 覆板なし ・ 9.5(不燃) トラバーチン ◎9.5(不燃) ・化粧せっこうボード(GB-D) 普通・トラバーチン ・ 9.5(準不燃) ・木目覆板 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 特殊
	吸音材料 ・ロックウール吸音ボード(RW-B) 1号 ・ 25 ・グラスウール吸音ボード(GW-B) 2号 32K ・ 25(ガラスクロス包) ・ロックウール化粧吸音板(OR) 内部用 普通 ・ 9.0(不燃) 外部用 普通 立体模様 ・ 12.0(不燃) 特殊 普通 立体模様 ・ 9.0(不燃) 外部用 普通 立体模様 ・ 12.0(不燃)
(19.8.2) 材料	繊維強化プラスチック ・0.8けい酸カルシウム板(0.8FK) ・ 6.0
	合板 特殊合板 ・天然化粧合板 ・ なら ・ しおじ 化粧単板 ・ 0.3未満 ・ 4.2 ・特殊加工化粧合板 ・ メラミン化粧合板 ・ホリソ化粧合板 ・ 4.0
(19.8.2) 材料	セメント系 ・木毛セメント板 ・ 硬質木毛セメント板 ・ 15 ・ 20 ・普通木毛セメント板 ・ 25 ・ 30 ・木片セメント板 ・ 硬質木毛セメント板 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・普通木毛セメント板 ・ 30
	床材 ・スタンダードボード ・ 未研磨板 ・ 2.5 ・ 3.5 ・研磨板 ・ 5 ・ 7 ・テーパーボード ・ 未研磨板 ・ 2.5 ・ 3.5 ・研磨板 ・ 5 ・ 7 ・内装用化粧ハードボード ・ 2.5 - 3.5 ・ 5 - 7 ・外装用化粧ハードボード ・ 5 ・ 7
(19.8.2) 材料	イボンド ・A級インシュレーションボード ・ 素板 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材 ・シーリングボード ・ MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 24 ・ 30 ・単板張りパーティクルボード ・ 無研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 20 ・ 30 ・ 35 ・ 40 ・化粧パーティクルボード ・ 単板オーバレイ ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・ 15 (難燃) ・ 18 (難燃) ・ 20 (難燃) ・ 25 (難燃) ・ 30 (難燃) ・ 35 (難燃) ・ 40 (難燃)
	壁紙張り 施工箇所 製造所・製品名 防火性能の級別 ・ 1級 ・ 2級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 1級 ・ 2級 壁紙及び接着剤は、ホルムアルデヒド放出量の少ないものとする。
(19.9.2) 断熱材打込み工法	種類 種別 厚さ(mm) 施工箇所 ・ピース法 [®] リスレソフォーム ◎押出法 [®] リスレソフォーム ◎保温板2種b ◎25 土間下 ・保温板3種b ・ 25 接地部分 ・硬質ウレタンフォーム 上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。
(19.9.3) 断熱材現場発泡工法	断熱材現場発泡工法 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ◎A種 1 ◎25 ・A種 2 ・A種 3 上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。

記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 査	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
	仙石等専門学校										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	建築工事特記仕様書(3)	縮尺	番号
																—	特—07

※A3版の場合は50%縮尺とする

(2.2.1) フローリング張り	フローリングの種類			
	フローリング 樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	工法
20章 ユニット及びその他工事				

(20.2.2) 材料	フリーアクセスフロア			
	施工箇所			
	構成材			
	表面仕上げ材	一般床部	・タイルカーペット ・帯電防止ビニル床タイル	・タイルカーペット ・帯電防止ビニル床タイル
	ポーター部	一般部分の仕様に準ずる	一般部分の仕様に準ずる	
	スロープ	・図示	・図示	
	形状寸法(mm)	・500×500	・500×500	
	高さ(mm)			
	耐荷重(N)	・3000	・5000	・3000
	許容水平力(G)	・0.6	・1.0	・0.6
(20.2.3) 可動間仕切	構造形式	表面材質	仕上げ	不燃材料の認定
	・パネル式 ・スタッド式	・鋼板	・ポリウレタン樹脂塗料焼付け	・あり
(20.2.4) 移動間仕切	パネル圧接装置の操作方法	遮音性能	表面仕上げ	
	・プッシュ式 ・ハンドル回転式	・一級タイプ(36dB未満) ・遮音タイプ(36dB以上)	・焼付け塗装 ・壁紙張り	
(20.2.5) トイレブース	表面材の材質			
	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板			
(20.2.8) 黒板及びホワイトボード	黒板			
	種類	・焼付け		
	ホワイトボード			
	種類	・ほうろう		
	掲示板			
	JIS S 6007 (黒板)の地板に掲示板表面材を接着剤で完全接着したものと、枠の材質はアルミニウム製とする。			
(20.2.11) 煙突ライニング	適用安全温度	・400℃	・650℃	
	システム天井			
	・施工する			
	一般事項	システム天井を取り付けるためのインサートは、構造体の施工時に取り付ける。後付けとする場合は、十分な支持力のあるあと施工アンカー等とする。		

コンクリートよう壁	・施工する ・施工しない
材料	地業の材料 コンクリートは6章14節【無筋コンクリート】による。硬質塩化ビニル管は、表21.2.1【排水管用材料】のVP管とする。
施工	土工事は、3章【土工事】による。地業は、材料に応じて、(4.6.3)【砂利及び砂地業】または(4.6.4)【割り石地業】による。無筋コンクリートよう壁の場合伸縮目地の間隔は10m以下とし、ひび割れ誘発目地の間隔は5m以下を標準とする。水抜き穴は、(20.4.3)(g)(11)による。鉄筋コンクリートよう壁の場合伸縮目地の間隔は20m以下とし、鉄筋を切って設ける。ひび割れ誘発目地の間隔は10m以下とし、鉄筋を切らないで設ける。水抜き穴は、(20.4.3)(g)(11)による。

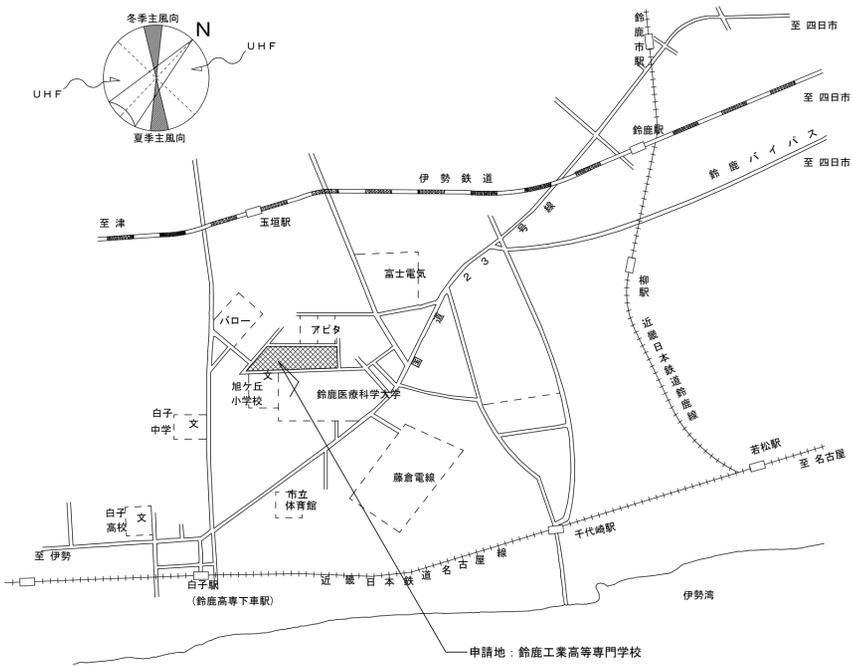
21章 排水工事				
(21.2.2) 側塊、排水樹等	排水樹ふた			
	種類	形式	適用荷重(安全荷重(kgf))	鍵の有無 施工箇所
	L型	250	T-6	
	グレーチング			
	種類	形式	用途	適用荷重
	鋼製	・受枠付	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用)	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用
	ステンレス製	・受枠付	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用)	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用

22章 舗装工事				
(22.2.3) 材料	路床			
	盛土用材料	・A種	・B種	・C種
(22.2.5) 試験	路床土の支持力比(CBR)試験	・行う		
	路床締固め度の試験	・行う		
(22.4.4) 配合その他	加熱アスファルト混合物の種類			
	表層	◎密粒度アスファルト混合物	◎(13)	・(13F)
(22.4.5) 工法	シールコート	・行う		
	アスファルト混合物の抽出試験	・行う		
(22.5.3) 材料	早強セメント	・使用する		
	コンクリート版厚さ試験	・行う		
(22.6.2) 舗装の構成及び仕上げ	カラー舗装の種類			
	・アスファルト混合物 ・樹脂系混合物 ・塗布工法	・石油樹脂系混合物 ・ニート工法		
(22.7.6) 試験	透水性アスファルト混合物の抽出試験	・行う		
	インターロッキングブロック舗装			
(22.9.3) 材料	材質、種類	形状、寸法	表面加工	

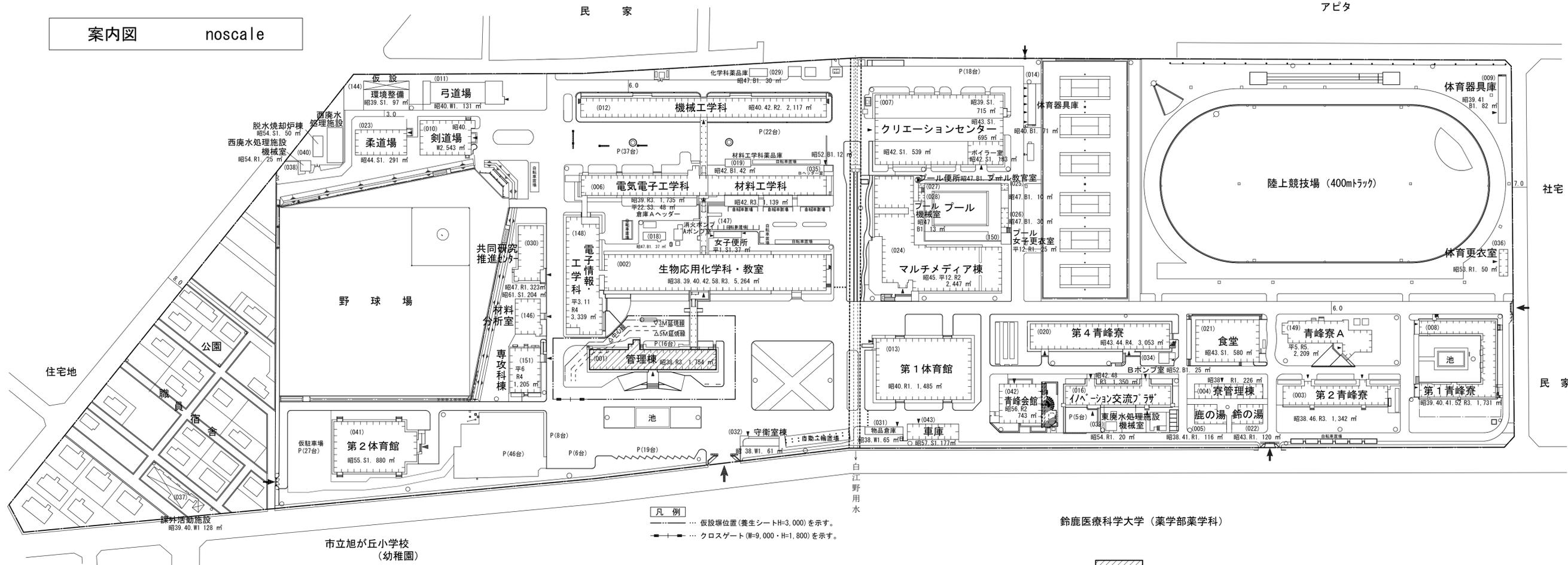
23章 植栽及び屋上緑化工事				
(23.2.2) 植栽基盤一般	芝・地被類の植栽部分	・行う	・行わない	
	上記以外	・行う	・行わない	
(23.4.2) 材料	土壌改良材	施工箇所		
	吹付けは種	種子の種類及び配合		
(23.4.3) 芝張りの工法	工法	・目地張り ・べた張り ・筋張り		
	植栽基盤	土壌層の厚さ _____ mm		
(24.5.3) 材料	保水・排水層			
	・適用 ・軽量骨材	層厚さ	軽量骨材	透水性排水管
(3.1.3) プールの種別及び給排水口	プールの種別等	種別	用途	基準
	・競技用プール	・競泳用 ・飛込用 ・水球用 ・シンクロナイズドスイミング用	・国内基準プール ・国際基準プール ・標準ゴール	
(3.7.1) 材料	付属品の材質	名称	材質	名称
	ラダー 背泳用具「リフ」			
(3.8.1) 材料 (3.8.2) 施工	鋼製プール、ステンレス製プールのタイル張りの工法			
	プール用塗装材料の品質及び工法			

記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 査	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣)第270315号 犬飼 和行			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	09/109	
														図面名称	建築工事特記仕様書(4)	縮尺	番号
																—	特—08

※A3版の場合は50%縮尺とする



案内図 noscale

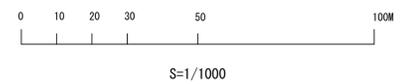


配置図 S=1/1000

- 凡例
- 仮設場所位置(養生シートH=3,000)を示す。
 - クロスゲート(W=9,000・H=1,800)を示す。

鈴鹿医療科学大学(薬学部薬学科)

- 本工事建物
- 既設建物



記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	校 園	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	10/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	縮尺	番号
													案内図・配置図	1/1,000	共-02

※A3版の場合は50%縮尺とする

外部仕上表														
名称	場所	区分	仕上				名称	場所	区分	仕上				
屋根	R階	改修前	アスファルト防水シンダーコンクリート押入の上合成高分子ルーフィングシート防水(断熱工法:t=30)				外壁	全面	改修前	防水形複層塗材E				
		改修後	平場:既設防水撤去 塩ビシート1.5防水機械的固定工法(断熱地盤:SI-M2) 断熱材:硬質ウレタンt=30 立上り:既設防水下地処理の上 塩ビシート1.5防水						改修後	既設配管等撤去部のみモルタル補修の上防水形複層塗材E(数量:W0.30m×100m,W0.50m×90m,W1.00×10m)				
	PH1階	改修前	アスファルト防水シンダーコンクリート押入の上合成高分子ルーフィングシート防水						EV棟 (増築部分)	改修前	---			
		改修後	既設防水下地処理の上ウレタン系塗膜防水 X-1工法								改修後	ALC板t=100シーラー処理の上防水形複層塗材E		
	PH3階 (時計塔)	改修前	アスファルト防水シンダーコンクリート押入の上合成高分子ルーフィングシート防水							改修前	---			
		改修後	既設防水下地処理の上ウレタン系塗膜防水 X-1工法								改修後	コンクリート打放し補修の上防水形複層塗材E		
	R:PH階パラベツト	改修前	立上り・天端:ウレタン系塗膜防水					改修前		---				
		改修後	立上り・天端:既設防水下地処理の上ウレタン系塗膜防水 X-2工法							改修後	---			
	EV棟 (増築部分)	改修前	---					巾木	全面	改修前	モルタル刷毛引き			
		改修後	平場:ウレタン系塗膜防水 X-1工法、立上り:ウレタン系塗膜防水 X-2工法、天端:アルミ製窓木(既製品)							改修後	既設のまま			
								改修前	---					
									改修後	モルタル金ゴテ仕上げ				

内部仕上表 ※ 内装仕上材・接着剤・塗材(基材含む)はF☆☆☆☆若しくは、規制対象外材を用いるものとする。

階	室名	区分	床			幅木			壁			梁型			天井		ブラインド 又カーテン BOX	備考
			レベル	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	天井高				
1階	総務課事務室	改修前	+50 ±0	M	塩ビ系94下地 0A707の上TC(一部壁廻り塩ビ系94張りのみ) 一部人研ぎ仕上げ	モルタル塗 VP	100	C	プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850)	C	プaster塗	W	GB-Dt=9.5張り	2,950	木製	面棧、流し台、吊戸棚		
	総務課前室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP	100	C	プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850) ボード張り VP	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3,000	木製	---		
	総務課	改修後	+50 ±0	M	既設撤去 0A707一部再利用及び新規0A707の上TC張り (一部壁廻り下地処理の上TC張り) 既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+t9.5 5GL張り EP-G 間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 50上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP	S	GB-D張り	2,850	---	0Aフロア		
	事務用電算機室	改修前	+190	M	塩ビ系94下地 0A707の上塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	9通り:プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850) その他:ボード張り VP	C	プaster塗	W	GB-Dt=9.5張り	2,610	木製	面棧、0Aフロア		
	書庫	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	S	間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 50の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	GB-D張り	2,850	---	書架レール(別途工事)		
	給湯室	改修後	+50	M	既設撤去 下地処理、軽量シタート=50の上 VS張り	VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+t9.5 5GL張り EP-G 間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 50上 EP-G	---	---	S	GB-D張り	2,500	---	流し台		
	教育研究支援室	改修前	+50	M	塩ビ系94下地 0Aフロアの上TC	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	9通り:プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850) その他:ボード及び合板張り VP	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2,950	木製	面棧、流し台、コンロ台、0Aフロア		
	ミーティングルーム	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	12通り:プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850) その他:ボード張り VP	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2,950	木製	---		
	放送室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	12-13通り:プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850) その他:ボード張り VP	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2,800	木製	面棧		
	男性更衣室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	12-13通り:プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850) その他:ボード張り VP	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2,800	木製	面棧		
	女性更衣室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	12-13通り:プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850) その他:ボード張り VP	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2,800	木製	面棧		
	学生課	改修後	+50	M	既設撤去 既設0Aフロア(一部0Aフロア新設)の上 TC張り	VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+t9.5 5GL張り EP-G 間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 50上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP	S	GB-D張り	2,850	---	面棧、流し台、0Aフロア		
物品庫	改修前	±0	M	塗床	モルタル塗 VP	100	C	モルタル塗	---	---	M	モルタル塗	---	---	木製	---		
倉庫①	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上防塵塗床	VH 新設	60	C	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-G 既設下地処理の上EP	M	---	M	既設下地処理の上EP	---	---	---	---		
前室①	改修前	±0	M	塗床	モルタル塗 VP	100	C	モルタル塗 VP	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3,000	木製	---			
廊下 (9通り~15通り間)	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-G 間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 50上 EP-G	M	---	S	GB-D張り	2,700	---	---			
書庫	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP	100	C	プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850)	C	プaster塗	W	GB-Dt=9.5張り	3,000	木製	---			
倉庫②	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上防塵塗床	VH 新設	60	S	間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 50の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP	S	GB-D張り	2,600	---	---			
内倉庫	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上防塵塗床	VH 新設	60	S	間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 50の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP	S	GB-D張り	2,600	---	---			
個室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS敷き	VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-G 間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 50上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	GB-D張り	2,700	---	---			
保健室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+t9.5 5GL張り EP-G 間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 50上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	GB-D張り	2,700	---	流し台			
当直室	改修前	±0	M	VS張り 縁甲板張り タタミ敷き	木製 VP	100	C	15-16通り:モルタル塗の上ビニルクロス貼 その他:ボード張りの上ビニルクロス貼	---	---	W	ボード張りの上ビニルクロス貼	2,350 2,800	木製	流し台、洗面台、UB			
保健室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-G 遮音耐火壁: LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 50上 EP-G	---	---	S	GB-D張り	2,700	---	流し台			
前室②	改修前	±0	M	塗床 人研ぎ仕上げ	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	16-18通り:プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850) その他:ボード張り VP	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3,000	木製	面棧			
学生相談室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS敷き	VH 新設	60	S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-G 遮音耐火壁: LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 50上 EP-G	---	---	S	GB-D張り	2,700	---	---			
ホール	改修前	±0	M	TC敷き	モルタル塗 VP	100	C	モルタル塗の上多彩模様塗料吹付け	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3,000	木製	---			
ホール	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+t9.5 5GL張り EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 50の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	GB-D張り	3,000	---	ビクチャーレール			
女子便所	改修前	±0	M	塩ビシート張り	VH	60	S	RC壁: GB-Rt12.5GL張り EP-G 間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+t12.5 EP-G その他: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 EP-G	---	---	S	GB-Dt=9.5張り	2,600	木製	---			
男子便所	改修前	±0	M	塩ビシート張り	VH	60	S	間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+t12.5 EP-G その他: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 EP-G	---	---	S	GB-Dt=9.5張り	2,600	木製	汚重石			
女子・男子便所	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り 既設撤去 磁器質100角タイル張り	VH 新設	60	S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+t9.5 5GL張り EP-G 間仕切壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 EP-G RC壁: LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 50上 EP-G	---	---	S	GB-D張り	2,600	---	化粧鏡、洗面カウンター(男子便所)、汚重石(男子便所)			
廊下 (6通り~9通り間)	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	8通り:プaster塗(鹽:モルタル塗 VP H=1,850) その他:ボード張り VP	C	プaster塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2,800	木製	---			
階段	改修前	±0	M	TC敷き	モルタル塗 VP	100	C	プaster塗(鹽:モルタル塗の上多彩模様塗料 H=1,850)	C	プaster塗	---	---	2,800	---	真鍮製ノンスリップ			
階段	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	既設下地処理の上 EP-G	---	M	既設下地処理の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP	M	既設下地処理の上 EP	2,500	---	アルミ製ノンスリップ			
多目的便所	増築部	±0	M	VS張り	VH	60	S	LGS下地GB-St12.5 EP-G	---	---	S	GB-D張り	2,500	---	SUS製L型固定手摺(700×800)、SUS製はね上げ式可動手摺、化粧鏡、背もたれ(SUS製手摺用)			
EVホール	増築部	±0	M	VS張り	VH	60	S	LGS下地GB-Rt12.5+t9.5 EP-G	---	---	S	GB-D張り	2,500	---	---			

特記事項	1. 改修にてウレタン防水を行う部分については断熱材を撤去し、下地処理のこと	7. 特記なき限りボード間は、ロックウール化粧石膏板 t9. 0B-5112.5. 0B-9. 19. 5とする	12. 既設天井、屋根石膏板・石膏ボードはアスベスト含有品とし、撤去し、石膏ボードはアスベスト含有品としない	18. 各室既設壁面は全て撤去し、各室平付け(断熱材:3K-PH)改修を新設とする。	凡例	C(原)	コンクリート打ち寄せ	GB-F	強化石膏ボード	FK	付い壁カラム版t6	SOP	合衆製鋼金ペイント塗	UC	ウレタン樹脂ウレタニス
	2. 既設天井はモルタル補修のこと	8. 既設天井撤去部は、全て下地処理とする	13. 水廻りに使用する石膏ボードは、シーリング石膏ボードとする	19. 既設天井は断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-Gとする。		C(壁・天)	コンクリート打放し	GB-R	石膏ボードt9.5	化研FK	化粧11壁カラム版t6	EP	合衆製鋼エマルジョンペイント塗(断熱材ニール)	CL	クレータッカー塗
3. 既設天井はモルタル補修のこと	9. 床材撤去に要する場合は、石膏板はモルタル補修を行うこと	14. 既設天井は断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-Gとする。	14. 既設天井は断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-Gとする。	20. 外壁断熱材は、硬質ウレタンフォーム(断熱材工法)とする。	M	モルタル	石膏ボードt12.5	DR	ロックウール化粧石膏板t9	AEP	合衆製鋼エマルジョンペイント塗(アクリル系)	FE	フタル酸樹脂エマルジョン塗		
4. 撤去、取付下地はコンクリート工法とし、その他は吹付けとする	10. モルタル、タイル等を撤去する場合は、既設部との取合いはカーター等により切断し、既設部は撤去をしないようにすること	15. 既設天井は断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-Gとする。	15. 既設天井は断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-Gとする。	21. 1-16通り外壁はLGS下地にボード張りとする。	S	縦貫壁下地	シーリング石膏ボード	VH	ビニルクロス	EP-G	既設り合衆製鋼エマルジョンペイント塗	DP	断熱性塗料		
5. 特記なき限り、天井断熱材はt12.5とする(口字型)	11. 既設天井は断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5GL張り EP-Gとする。	16. 既設人研ぎのシーリング方法は、機械研削の上研削機等とする	16. 既設人研ぎのシーリング方法は、機械研削の上研削機等とする	---	CB	コンクリートブロック	硬質ウレタンフォーム	VS	縦貫壁化粧石膏ボードt9.5	EP-T	合衆製鋼エマルジョン塗	OSCL	オーストリアインクレーサーコート塗		
6. 特記なき限り、改修室内の木部・鉄部はSP塗料とする	---	17. 既設ボードはフレキシブルボード。化粧石膏板は合衆製とする	17. 既設ボードはフレキシブルボード。化粧石膏板は合衆製とする	---	W	木下地	---	GB-D	化粧石膏ボードt9.5	---	---	SUS	ステンレス		

記事	仙石等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務		検 図	担 当	工事名称	日付	総数								
		鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事																								
		図面名称																								
		外部・内部仕上表(1)																								
株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行																										
縮尺																										
1/100																										
A-01																										

※A3版の場合は50%縮尺とする

内部仕上表 ※ 内装仕上材・接着剤・塗材（基材含む）はF☆☆☆☆若しくは、規制対象外材を用いるものとする。																			
階	室名	区分	床				幅木			壁			梁型			天井		ブラインド 又カーテン BOX	備考
			レベル	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	天井高			
2階	校長室	改修前	±0	M	T C敷き(塩ビ系タイル下地)	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M	ブラスター塗の上ビニルクロス貼り 壁:化粧合板張り(H=1.850)	C	ブラスター塗の上ビニルクロス貼り	S	G B-Rt=9.5の上ビニルクロス貼り	2.800	木製	暖炉,洗面台,囲い			
	校長室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 TC	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張りの上ビニルクロス貼り 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上ビニルクロス貼り RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上ビニルクロス貼り ブラスター塗の上ビニルクロス貼り 壁:化粧合板張り(H=1.850)	M	既設下地処理の上 EP-G	S	D R張り(GB-Rt=9.5捨張り)	2.700	---	洗面化粧台囲い			
	秘書室・応接室	改修前	±0	M	T C敷き(塩ビ系タイル下地)	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M	ブラスター塗の上ビニルクロス貼り 壁:化粧合板張り(H=1.850)	C	ブラスター塗	S	G B-Rt=9.5の上ビニルクロス貼り	2.800	木製	ビクチャーレール			
	事務部長室	改修前	±0	M	T C敷き	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M W	ブラスター塗(モルタル塗 H=1.850)の上ビニルクロス貼り ボード張りの上ビニルクロス貼り	C	ブラスター塗	W	G B-Rt=9.5の上ビニルクロス貼り	2.800	木製	面鏡,洗面台			
	事務部長室前廊下	改修前	±0	M	T C敷き	モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(モルタル塗 VP H=1.850)	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	---			
	秘書室控室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 TC	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G ブラスター塗の上ビニルクロス貼り 壁:化粧合板張り(H=1.850)	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	ビクチャーレール			
	秘書室・応接室	改修前	±0	M	T C敷き	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M	ブラスター塗の上ビニルクロス貼り 壁:化粧合板張り(H=1.850)	C	ブラスター塗	S	G B-Rt=9.5の上ビニルクロス貼り	2.800	木製	ビクチャーレール			
	事務部長室	改修前	±0	M	T C敷き	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M W	ブラスター塗(モルタル塗 H=1.850)の上ビニルクロス貼り ボード張りの上ビニルクロス貼り	C	ブラスター塗	W	G B-Rt=9.5の上ビニルクロス貼り	2.800	木製	面鏡,洗面台			
	事務部長室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 TC	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G ブラスター塗の上ビニルクロス貼り 壁:化粧合板張り(H=1.850)	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---			
	給湯室	改修前	±0	M	T C敷き	モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(モルタル塗の上多彩模様塗料 H=1.850) パーティション	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	面鏡,流し台			
	給湯室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	---	---	S	G B-D張り	2.600	---	流し台			
	外国語第7教員研究室	改修前	±0	M	T C敷き	モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(モルタル塗の上多彩模様塗料 H=1.850) パーティション	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	面鏡,手洗器			
	共用室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	ビクチャーレール			
	保健第2教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M W	ブラスター塗(モルタル塗 VP H=1.850) ボード張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	面鏡,手洗器			
	会議準備室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---			
	数学第2教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M W	ブラスター塗(モルタル塗 VP H=1.850) ボード張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	面鏡,手洗器			
	数学第1教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M W	ブラスター塗(モルタル塗 VP H=1.850) ボード張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	面鏡,手洗器			
	外国語第2教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M W	ブラスター塗(モルタル塗 VP H=1.850) ボード張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	面鏡,手洗器			
	外国語第1教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M W	ブラスター塗(モルタル塗 VP H=1.850) ボード張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	面鏡,手洗器			
	第1会議室				既設撤去 下地処理の上 TC	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	D R張り(GB-Rt=9.5捨張り)	2.800	---	スクリーン・暗幕ボックス,移動間仕切			
	保健第1教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	M W	ブラスター塗(モルタル塗 VP H=1.850) ボード張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	流し台			
	印刷室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	S	間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	---	---	S	G B-D張り	2.700	---	---			
	男子更衣室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	---	---	S	G B-D張り	2.700	---	---			
	講師連絡室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP	100	M	ブラスター塗(モルタル塗 VP H=1.850)	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	面鏡,流し台			
	女子更衣室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	---	---	S	G B-D張り	2.700	---	---			
	便所	改修前	±0	M	塩ビシート張り	VH	60	C CB	GB-Rt12.5GL張り EP-G	---	---	S	G B-Dt=9.5張り	2.400	---	---			
	女子便所	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り 既設撤去 磁器質100角タイル張り	VH 新設	60	C CB S	GB-Rt12.5GL張り EP-G LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G	---	---	S	G B-D張り	2.600	---	化粧鏡,全身鏡,化粧棚			
	便所	改修前	±0	M	塩ビシート張り	VH	60	C CB	GB-Rt12.5GL張り EP-G	---	---	S	G B-Dt=9.5張り	2.400	---	---			
	主事室	改修前	±0	M	T C敷き	VH	60	C	ブラスター塗 EP-G(モルタル塗 EP-G H=1.850)	C	ブラスター塗	---	G B-Dt=9.5張り	2.600	木製	---			
	男子便所	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り 既設撤去 磁器質100角タイル張り	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	---	---	S	G B-D張り	2.600	---	化粧鏡,汚垂石			
	廊下・前室	改修前	±0	M	T C敷き 塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C W	ブラスター塗(モルタル塗 VP H=1.850) ボード張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	---			
	廊下 (※()は廊下4〜7通り間)	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面:断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G (EP-T) 間仕切壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G (EP-T) RC壁:LSG下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G (EP-T)	M	---	S	G B-D張り	2.500	---	---			
	階段	改修前	±0	M	T C敷き 塩ビシート張り	モルタル塗 VP	100	C	ブラスター塗(モルタル塗の上多彩模様塗料 H=1.850)	C	ブラスター塗	C	ブラスター塗	2.800	---	真鍮製ノンスリップ			
	階段	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	既設下地処理の上 EP-G	100	M	既設下地処理の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP	M	既設下地処理の上 EP	2.500	---	アルミ製ノンスリップ			
	E Vホール	増築部	±0	M	VS張り	VH	60	S	LSG下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G	---	---	S	G B-D張り	2.500	---	---			

特記事項	1. 改修にてウレタン防水を行う部分については断熱モルタルにて下地処理のこと	7. 特記なき張りボードは、ロックウール化粧合板 19 (60×112.5、60×119.5)とする	12. 既設柱上、縦横合板・石膏ボードはアスベスト含有品としない	19. 各室既設壁名は全て撤去し、各室平付新設(断熱材 3K・9K・15K)を新設とする。	凡例	C(床)	コンクリート全面張り	GB-F	強化石膏ボード	FK	付い壁カラム版16	SOP	合衆鋼製金ペイント塗	UC	ウレタン樹脂ワニス
	2. 既設撤去はモルタル・石膏ボードは、シーリング石膏ボードとする	8. 既設天井撤去部は、全て下地撤去とする	13. 水廻りに使用する石膏ボードは、シーリング石膏ボードとする	20. 内外壁断熱材は、硬質ウレタンフォーム(環境配慮型)とする。		C(壁・天井)	コンクリート打ちし	GB-R	石膏ボード19.5	化転FK	化粧付い壁カラム版16	EP	合衆鋼製エマルジョンペイント塗(耐熱ビニル系)	CL	クレーラック塗
3. 縦横合板は断熱材のボード張りし、塗下及びスラブ下までとする	9. 断熱材張りに支障となる床クック・穴開等はモルタル修繕を行うこと	14. 既設壁を撤去する時は、全て下地撤去すること	21. 1.6mm厚外装壁はLS7地にボード張りとする。	M	モルタル	S	縦横合板下地	GB-S	シーリング石膏ボード	VH	ビニルクロス	EP-G	既張り合衆鋼製エマルジョンペイント塗	DP	耐熱性塗料
4. 塗装、吹付下地等にはジョイント工法とし、その際は吹付とする	10. モルタル・タイル等を撤去する場合は、既設部との取合いはカッター等により切断し、既設部に支障を及ぼさないようにすること	15. 既設木製カーテン・ブラインドボックスは、全て撤去とする	16. 既設石材のクリーニング方法は、機械研磨の上右磨き処理とする	CB	コンクリートブロック	GB-R-H	縦横合板下地	GB-D	化粧石膏ボード19.5	VS	縦横合板ビニルシートFS32.0	EP-T	合衆鋼製エマルジョン樹脂塗	OSCL	オイルスチンクリヤーラッカー塗
5. 特記なき張り、天井断熱材はビニル系とする(□の字印)	11. 既設柱上が塗膜の場合は補修工法にて処理する	17. 既設カーテンはフレキシブルボード 既設合板は合板1.5とする		W	木下地	GB-D	化粧石膏ボード19.5	TC	タイルカーペット		塗料	エポキシ樹脂接着剤、薄層流し厚み調整土11.0	SUS	ステンレス	
6. 特記なき張り、改修室内の木部・鉄部はSP塗料とする															

記事	仙台高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務		検 図	担 当	工事名称	日付	総数
		鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事		平成26年7月	12 / 109													
												株式会社 綜企画設計	管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	縮尺	番号
																内部仕上表(2)	1 / 100	A-02

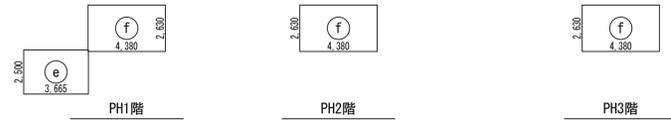
※A3版の場合は50%縮尺とする

内部仕上表														※ 内装仕上材・接着剤・塗材（基材含む）はF☆☆☆☆若しくは、規制対象外材を用いるものとする。													
階	室名	区分	床			幅木			壁			梁型			天井			ブラインド 又カーテン BOX	備考								
			レベル	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	天井高													
3階	第1会議室	改修前	±0	M	T C敷き(塩ビ系タイル下地)	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 1.5通り・ブラスター塗の上にてM2X1(鹽・敷目板張り OP(H=1,850))	C	ブラスター塗	S	D R張り(GB-Rt=9.5捨張り)	3.150	木製	ステージ,黒板											
	教員研究室1・2・3	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---											
	非常動講師室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850)	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	2.800	木製	黒板,人研ぎ作業台											
	非常動講師室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 間仕切壁：LGS下地GB-Rt12.5+19.5EP-G RC壁：LGS下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	ホワイトボード											
	控室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	外国語第4教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	給湯室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁：LGS下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	流し台,洗面カウンター,化粧鏡											
	外国語第4教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	外国語第3教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	教員研究室2・5	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---											
	外国語第3教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	保健第3教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	教員研究室2・5	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---											
	保健第3教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	廊下	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	教員研究室5	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---											
	外国語第5教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	黒板,流し台											
	教員研究室4	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---											
	数学第6教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	教員研究室2	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---											
	数学第5教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	教員研究室2	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---											
	数学第4教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---											
	教員研究室2	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---											
	数学第3教員研究室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	黒板											
	教員研究室4	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	---											
	第2会議室	改修前	±0	M	T C敷き(塩ビ系タイル下地)	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗の上にてM2X1 H=1,850)	C	ブラスター塗	S	D R張り(GB-R t=9.5捨張り)	2.800	木製	黒板											
	教養教育科・セミナー室 講師連絡室	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G 間仕切壁：LGS下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.700	---	移動間仕切											
	女子便所	改修前	±0	M	塩ビシート張り	VH	60	C	GB-Rt12.5GL張り EP-G	---	---	S	G B-Dt=9.5張り	2.570	木製	---											
	女子便所	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り 既設撤去 磁器質100角タイル張り	VH 新設	60	C	既設のまま	---	---	S	既設のまま	2.570	---	---											
	男子便所	改修前	±0	M	塩ビシート張り CP敷き 磁器質100角タイル張り	VH	60	C	遮音RC壁：GB-Rt12.5GL張り EP-G その他：LGS下地+耐水合板t12+GB-St12.5の上EP-G	---	---	S	G B-Dt=9.5張り	2.570	木製	汚重石											
	男子便所	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り 既設撤去 磁器質100角タイル張り	VH 新設	60	C	既設のまま	---	---	S	既設のまま	2.570	---	汚重石既設クリーニング											
第1会議室	改修前	±0	M	T C敷き(塩ビ系タイル下地)	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 壁：敷目板張り OP(H=1,850)	C	ブラスター塗	S	D R張り(GB-R t=9.5捨張り)	3.000	木製	ステージ												
控室	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---												
廊下	改修前	±0	M	塩ビ系タイル張り	モルタル塗 VP 木製 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗 VP H=1,850) 合板張り VP	C	ブラスター塗	W	300×300有孔ボード張り VP	3.150	木製	---												
廊下	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	VH 新設	60	M S	外壁面：断熱材吹付t25の上GB-Rt12.5+19.5GL張り EP-G 遮音耐火壁：LGS下地GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5の上 EP-G RC壁：LGS下地GB-Rt12.5+19.5の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.500	---	---												
階段	改修前	±0	M	T C敷き	モルタル塗 VP	100	C	ブラスター塗(鹽・モルタル塗の上多彩模様塗料 H=1,850)	C	ブラスター塗	C	ブラスター塗	3.150	---	真鍮製ノンスリップ												
階段	改修後	±0	M	既設撤去 下地処理の上 VS張り	既設下地処理の上 EP-G	60	M	既設下地処理の上 EP-G	M	既設下地処理の上 EP-G	S	G B-D張り	2.500	---	アルミ製ノンスリップ												
E V ホール	増築部	±0	M	VS張り	VH	60	S	LGS下地GB-Rt12.5+19.5 EP-G	---	---	S	G B-D張り	2.500	---	---												
PH階	改修前	±0	C	モルタル金ゴテ	モルタル塗	100	C	モルタル塗	C	モルタル塗	C	モルタル塗	---	---	鉄骨階段・手摺：スチール OP												
PH階	改修前	±0	C	既設のまま	既設のまま	100	C	既設のまま	C	既設のまま	C	既設のまま	---	---	鉄骨階段・手摺：既設スチールケレンの上 SDP												

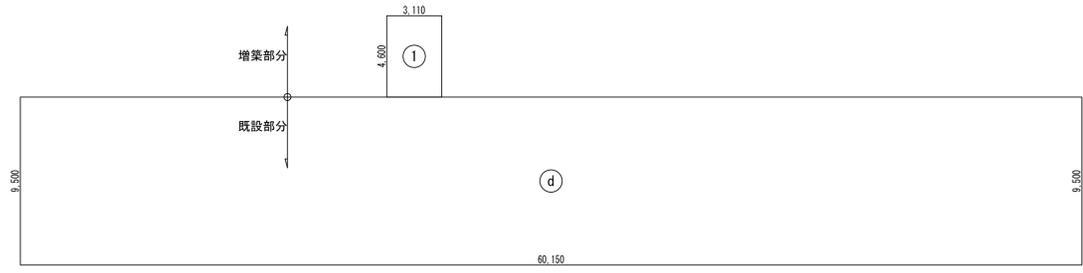
特記事項	1. 改修にてウレタン防水を行う部分については断熱モルタルにて下地処理のこと	7. 特記なき限りボード厚は、ロックウール化粧石膏板 19 (60×112.5 (60×119.5)とする	12. 既設柱上、壁脚巻留板・石膏ボードはアスベスト含有品としない	18. 各室既設壁紙は全て剥離し、各室平付型(断熱材)3K-19(20)を新設とする。	凡例	C(原)	コンクリート金付押入	GB-F	強化石膏ボード	FK	付い壁カラムシム版t6	SOP	合衆製鋼金ペイント塗	UC	ウレタン樹脂ウレニス
	2. 壁脚巻留板はモルタル補修のこと	8. 既設天井巻留板は、全て下地共撤去とする	13. 水廻りに使用する石膏ボードは、シーリング石膏ボードとする	19. 壁脚巻留板は全て撤去し、各室平付型(断熱材)3K-19(20)を新設とする。		C(壁・天井)	コンクリート打直し	GB-R	石膏ボードt9.5	化製FK	化粧付い壁カラムシム版t6	EP	合衆製鋼エマルジョンペイント塗(耐熱ビニル系)	CL	クワケラッカー塗
	3. 壁脚巻留板はモルタル補修のこと	9. 床材巻留板は、全て下地共撤去とする	14. 既設壁巻留板は、全て下地共撤去とする	20. 内外壁断熱材は、硬質ウレタンフォーム(断熱材)とする。		M	モルタル	GB-S	シーリング石膏ボード	S	軽量巻留下地	VH	ビニル系	EP-G	既設り合衆製鋼エマルジョンペイント塗
4. 巻留板、吹付下地部はジョイント工法とし、その他は吹付とする	10. モルタル・タイル等を撤去する場合は、既設壁との取合い部はカッター等により切断し、既設壁に支保を打ちしないようにすること	15. 既設断熱材は、硬質ウレタンフォーム(断熱材)とする	16. 既設人研石のクリーニング方法は、機械研磨の上右取扱いとする	21. 1-16(16)外壁巻留板はLGS下地にボードとする。	S	軽量巻留下地	GB-S	シーリング石膏ボード	VS	縦巻巻留下地	EP-T	合衆製鋼エマルジョン樹脂塗	OSCL	オスチンクイラーラッカー塗	
5. 特記なき限り、天井巻留板はt12とする(○の字型)	11. 既設仕上材が撤去の場合は補修工法にて処理する	17. 既設ボードはフレキシブルボード・既設巻留板は合板t5とする			W	木下地	GB-D	化粧石膏ボードt9.5	TC	タイルカーペット	塗床	エポキシ樹脂系塗料 薄層流し厚4平滑仕上t1.0	SUS	ステンレス	

記事	仙臺等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務		検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	平成26年7月	総数	13 / 109
												株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				図面名称	内部仕上表(3)	縮尺	1 / 100	番号	A-03

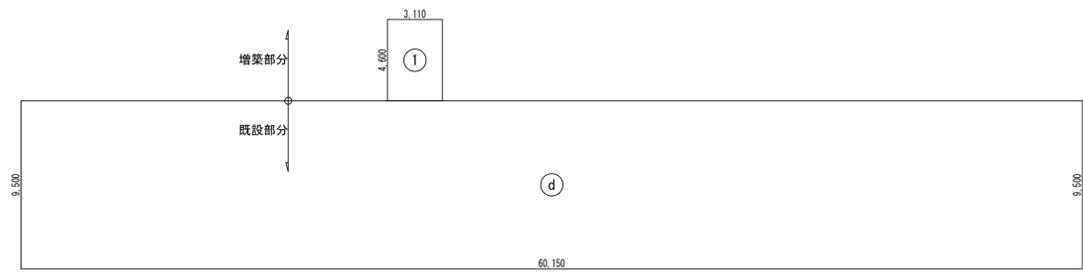
※A3版の場合は50%縮尺とする



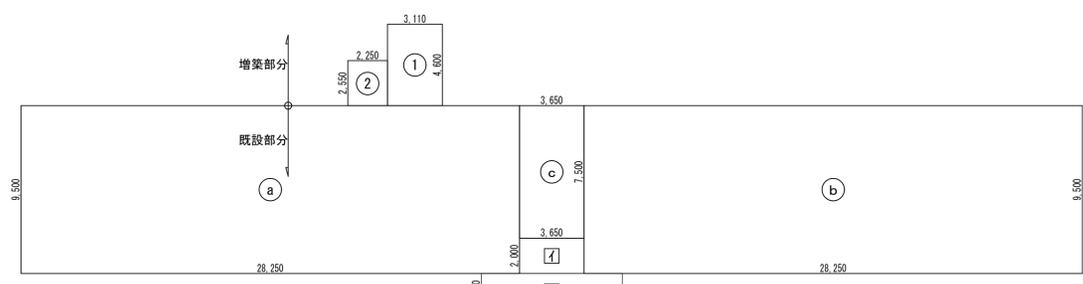
PH階求積図 1/200



3階求積図 1/200



2階求積図 1/200

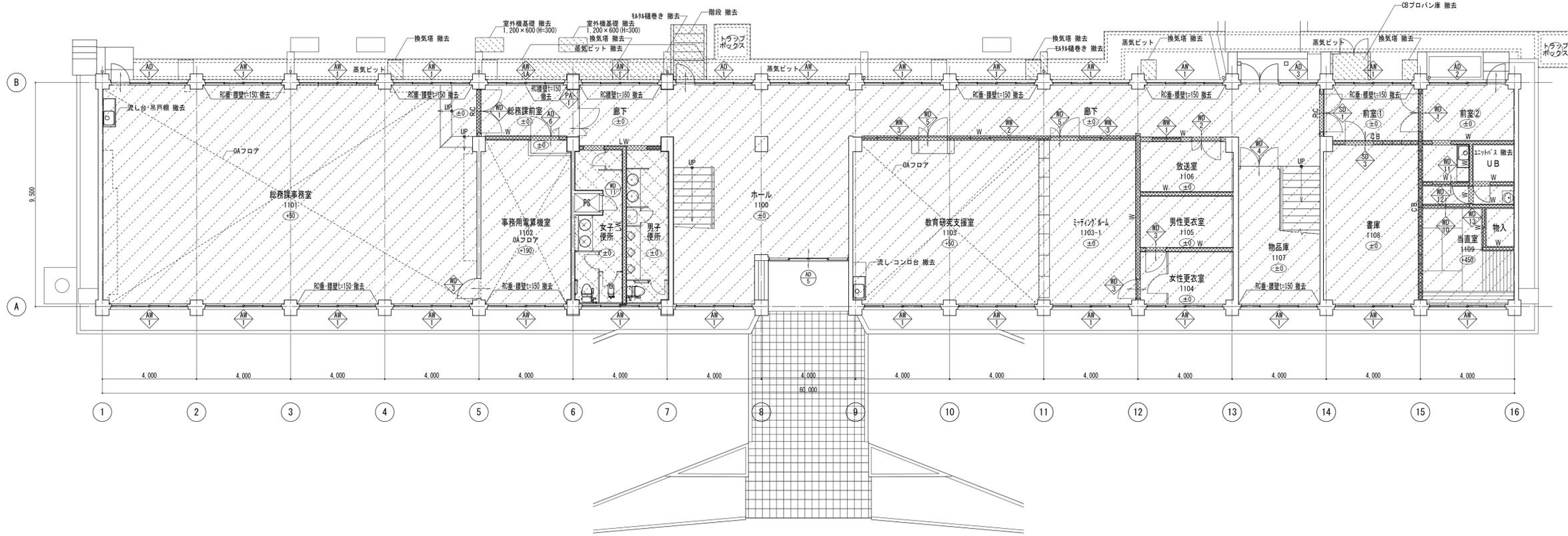


1階求積図 1/200

求積表				
1 既設部分	(a)	28.250 × 9.500	=	268.375 m ²
	(b)	28.250 × 9.500	=	268.375 m ²
	(c)	3.650 × 7.500	=	27.375 m ²
	(d)	60.150 × 9.500	=	571.425 m ²
	(e)	3.665 × 2.500	=	9.162 m ²
	(f)	4.380 × 2.630	=	11.519 m ²
	[1]	3.650 × 2.000	=	7.300 m ²
	[2]	8.000 × 2.000	=	16.000 m ²
2 増築部分	PH3階	(f)	=	11.52 m ² (A6)
	PH2階	(f)	=	11.52 m ² (A5)
	PH1階	(e)+(f)	=	20.68 m ² (A4)
	3階	(d)	=	571.43 m ² (A3)
	2階	(d)	=	571.43 m ² (A2)
	1階	(a)~(c)	=	564.13 m ² (A1)
	床面積計		=	1,750.71 m ²
	建築面積(A)	(a)~(c)+[1]+[2]	=	587.43 m ²
3 全体	(1)	3.110 × 4.600	=	14.306 m ²
	(2)	2.250 × 2.550	=	5.737 m ²
	3階	(1)	=	14.31 m ² (B3)
	2階	(1)	=	14.31 m ² (B2)
	1階	(1)+(2)	=	20.04 m ² (B1)
床面積計		=	48.66 m ²	
建築面積(B)	(1)+(2)	=	20.04 m ²	
PH3階	(A6)	=	11.52 m ²	
PH2階	(A5)	=	11.52 m ²	
PH1階	(A4)	=	20.68 m ²	
3階	(A3)+(B3)	=	585.74 m ²	
2階	(A2)+(B2)	=	585.74 m ²	
1階	(A1)+(B1)	=	584.17 m ²	
床面積計		=	1,799.37 m ²	
建築面積	(A)+(B)	=	607.47 m ²	

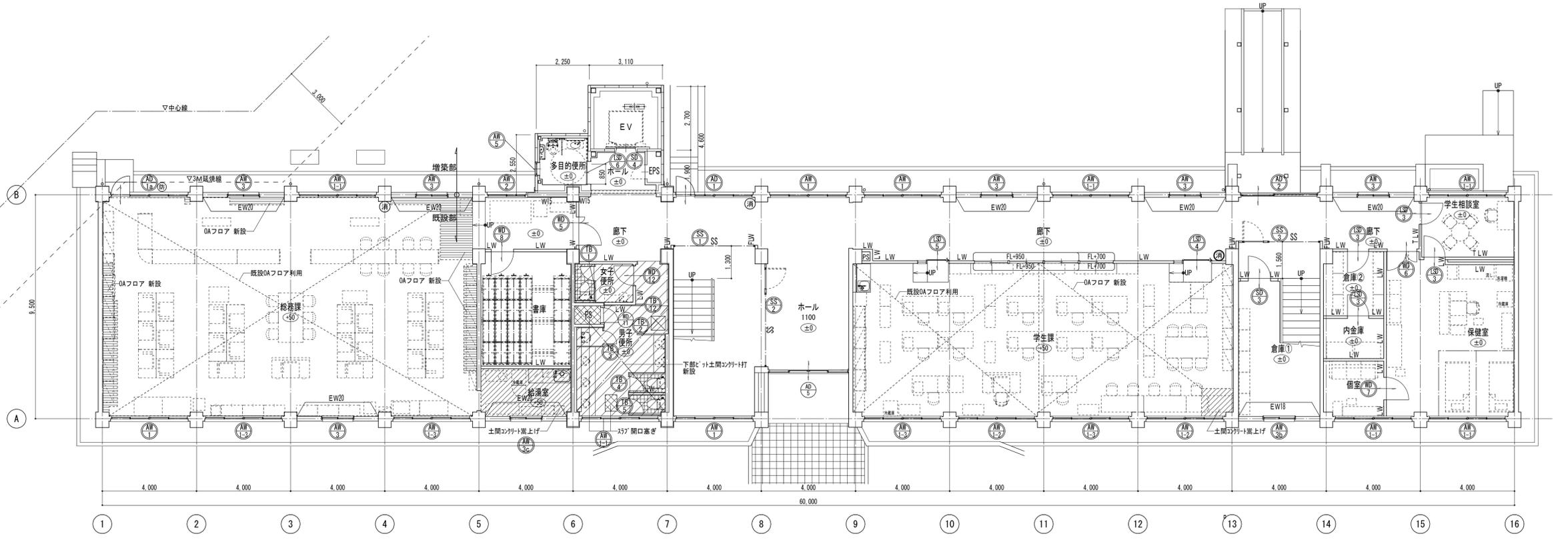
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	平成26年7月	総数	14/109
	仙石高等専門学校									株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	求積図	縮尺	1/200	番号	A-04

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 1階平面図 1/100

凡例	
	床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地(CB-LGS・木)撤去
	女子・男子便所・床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地(LGS)撤去 トイレ・スライニング、汚重石、洗面台・化粧鏡、補助手摺 撤去 別途工事：大小便器、ペーパーホルダー
	撤去建具符号を示す
	改修建具符号を示す
	コンクリート壁撤去範囲(梁下まで)を示す
	CB壁撤去範囲(梁下まで)を示す
	軽量鉄骨(LGS)壁撤去範囲を示す
	木下地壁撤去範囲を示す
	FLからのレベルを示す

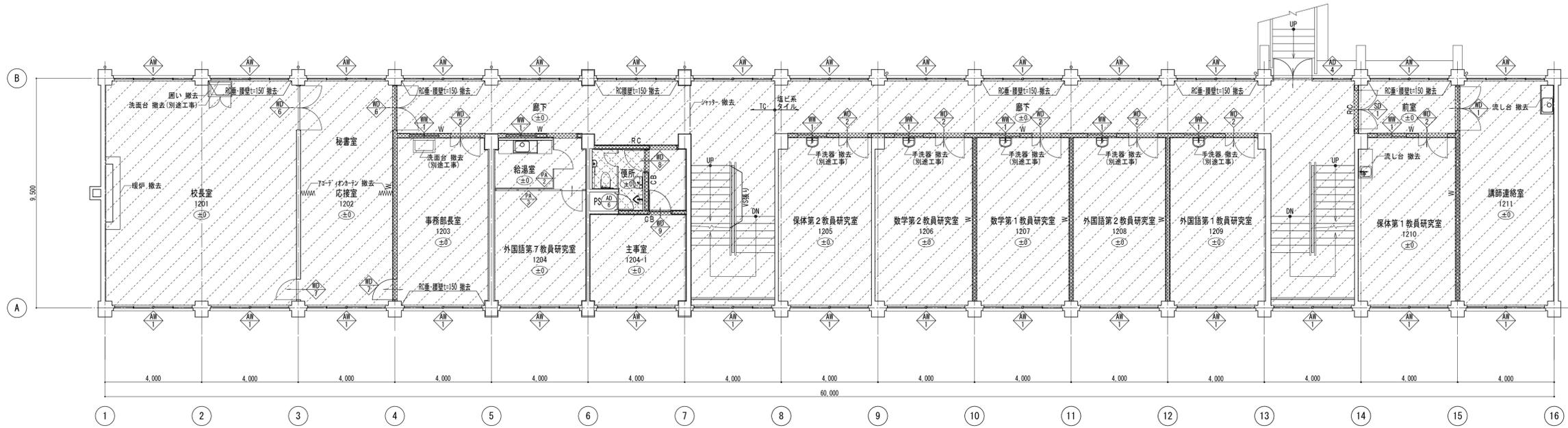


改修後 1階平面図 1/100

■改修内容：床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地新設	
	女子・男子便所・床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地(LGS)・トイレ・スライニング、汚重石、洗面台・化粧鏡 新設 別途工事：大小便器、洗面器、ペーパーホルダー
	新設建具符号を示す
	改修建具符号を示す
	新設RC耐震壁W=180・200
	新設RC壁W=150
	新設軽量鉄骨(LGS W65)間仕切壁
	新設耐火1時間+適音性能軽量鉄骨(LGS)間仕切壁
	新設耐火1時間軽量鉄骨(LGS)間仕切壁
	消火器BOX(露出) 新設(別途工事)
	防火設備を示す
	FLからのレベルを示す

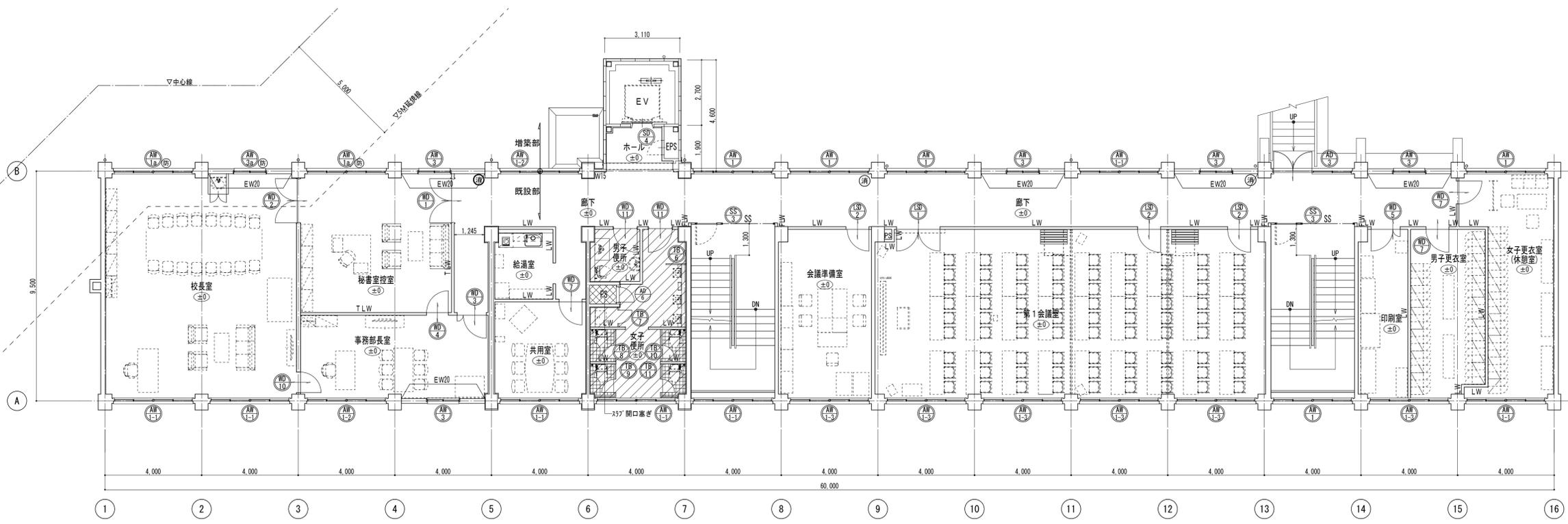
記事	仙臺工業専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣)第270315号 犬飼 和行				鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	15/109	
															改修前後 1階平面図	縮尺	番号	
															1/100	A-05		

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 2階平面図 1/100

凡例	
	床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地(CB-LGS・木)撤去
	女子・男子便所:床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地(LGS)撤去 トイレ・スラッシング、汚雑石、洗面カウンター、化粧鏡、補助手摺 撤去 別途工事:大小便器、ペーパーホルダー
	撤去建具符号を示す
	コンクリート壁撤去範囲(梁下まで)を示す
	CB壁撤去範囲(梁下まで)を示す
	軽量鉄骨(LGS)壁撤去範囲を示す
	木下地壁撤去範囲を示す
	FLからのレベルを示す

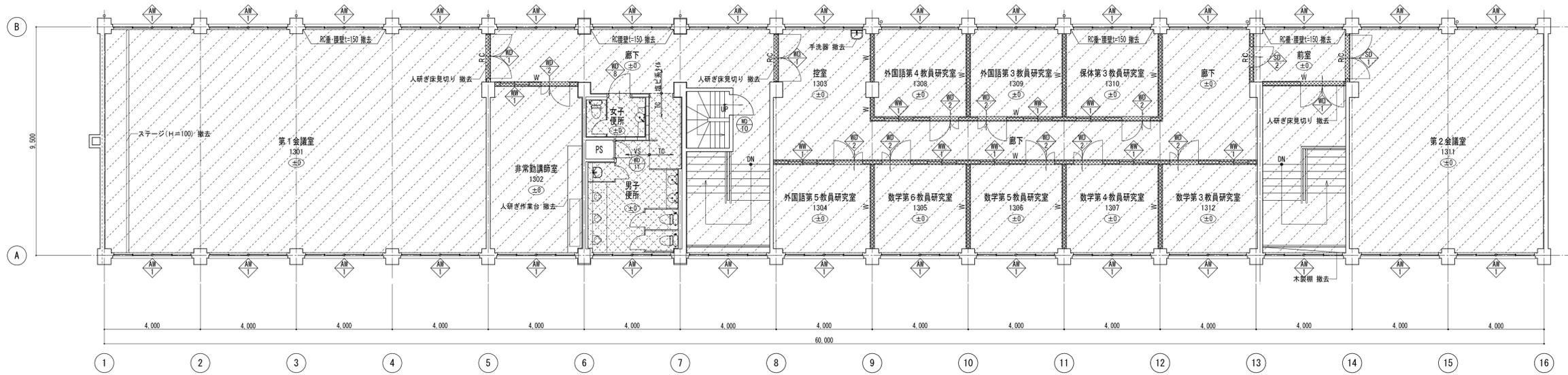
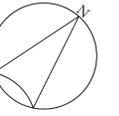


改修後 2階平面図 1/100

■改修内容: 床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地新設	
	女子・男子便所:床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地(LGS)、トイレ・スラッシング、汚雑石、洗面カウンター、化粧鏡、補助手摺 新設 別途工事:大小便器、洗面器、ペーパーホルダー
	新設建具符号を示す
	新設RC耐震壁W=200
	新設RC壁W=150
	新設軽量鉄骨(LGS W65)間仕切壁
	新設耐火1時間+遮音性能軽量鉄骨(LGS)間仕切壁
	新設耐火1時間軽量鉄骨(LGS)間仕切壁
	消火器BOX(露出) 新設(別途工事)
	防火設備を示す
	FLからのレベルを示す

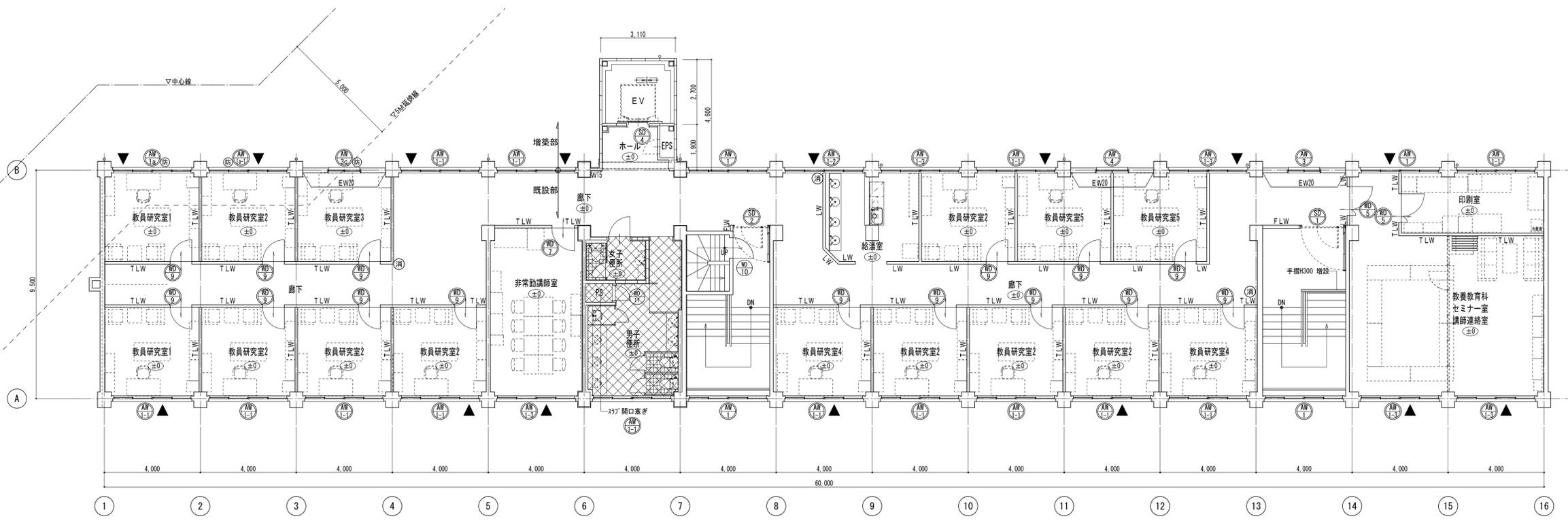
記事	仙石高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
												株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	16 / 109	
															改修前後 2階平面図	縮尺	番号	
															1 / 100	A-06		

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 3階平面図 1/100

凡例	
	床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地(CB-LGS・木)撤去
	女子・男子便所: 床仕上げ撤去
	撤去建具符号を示す
	改修建具符号を示す
	コンクリート壁撤去範囲(梁下まで)を示す
	CB壁撤去範囲(梁下まで)を示す
	軽量鉄骨(LGS)壁撤去範囲を示す
	木下地壁撤去範囲を示す
	FLからのレベルを示す

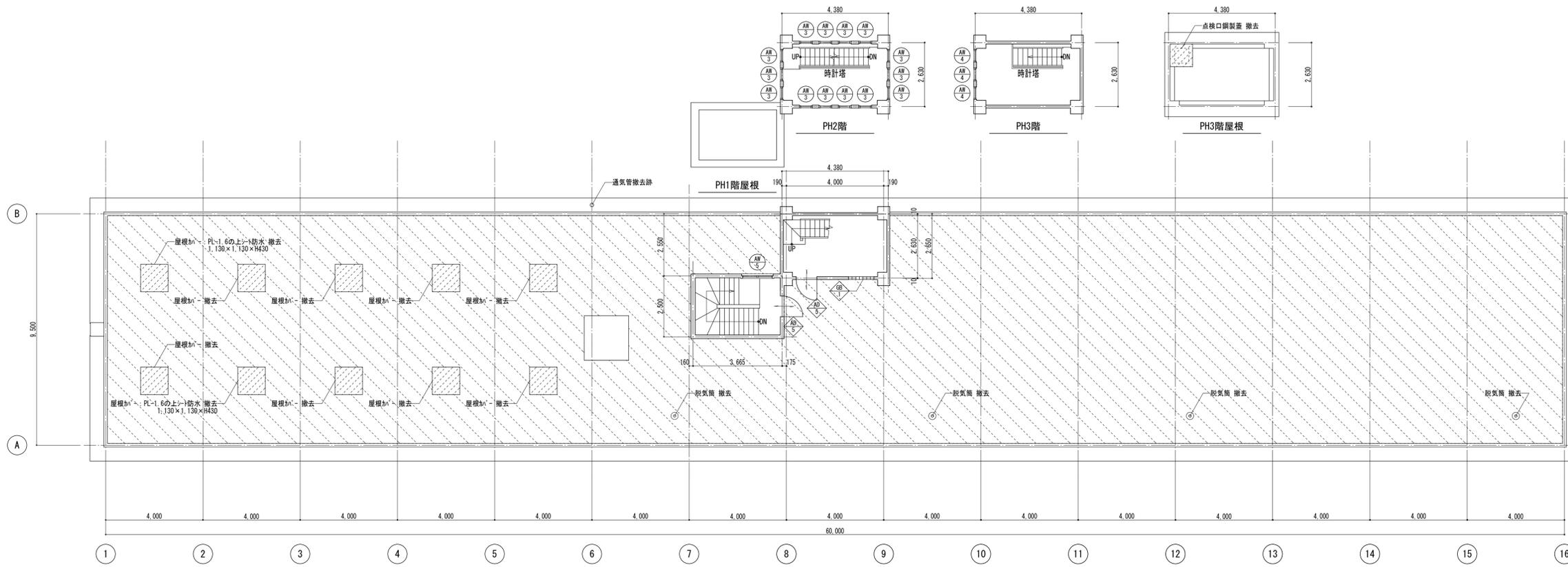
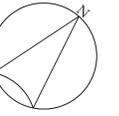


改修後 3階平面図 1/100

■改修内容: 床仕上げ、壁・天井仕上げ及び下地新設	
	女子・男子便所: 床仕上げ 新設(TC張り又はVSに張替え) 1417-ス、洗面タコ、汚濁石、タココ
	新設建具符号を示す
	改修建具符号を示す
	新設RC耐震壁W=200
	新設RC壁W=150
	新設軽量鉄骨(LGS W65)間仕切壁
	新設耐火1時間+適音性能軽量鉄骨(LGS)間仕切壁
	新設耐火1時間軽量鉄骨(LGS)間仕切壁
	消火器BOX(露出) 新設(別途工事)
	防火設備を示す
	代用出入口を示す
	FLからのレベルを示す

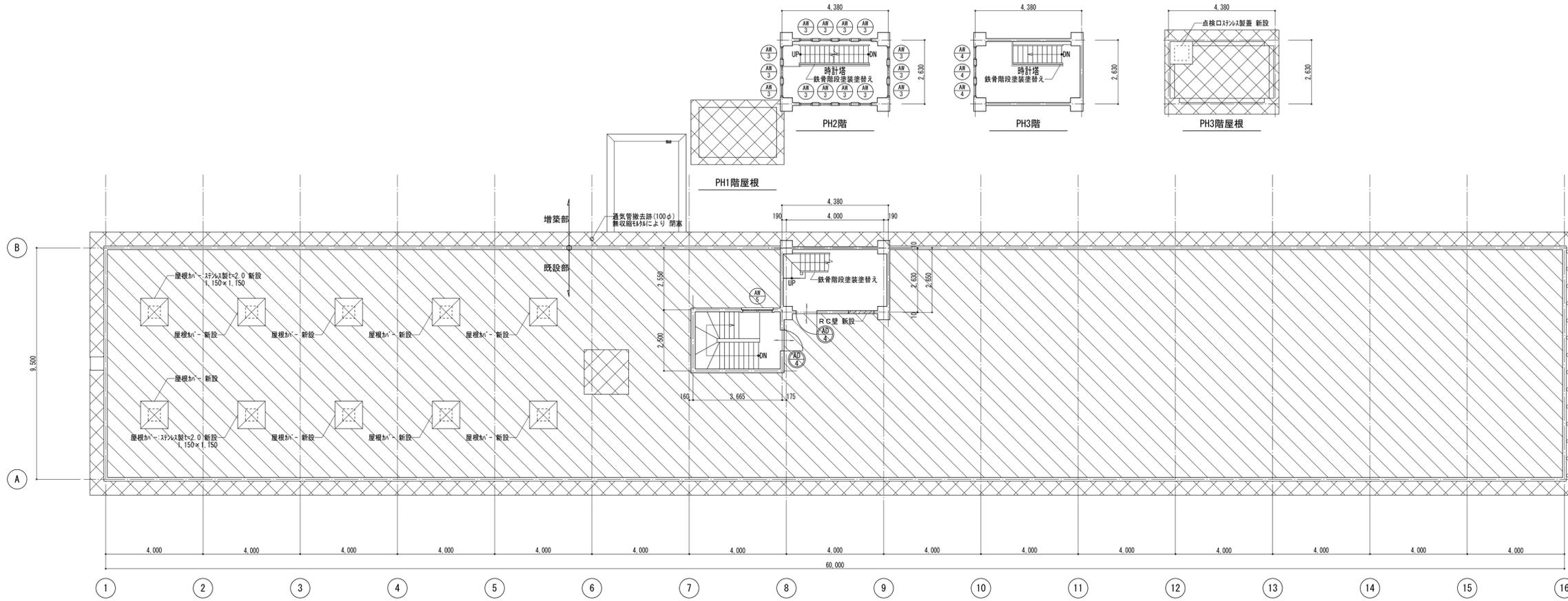
記事	仙石高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	17 / 109	
															改修前後 3階平面図	縮尺	番号	
															1 / 100	A-07		

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 R階平面図 1/100

凡例	
	撤去建具符号を示す
	ガラス取替え建具符号を示す
	合成高分子ルーフシート防水(断熱工法:t=30)撤去



改修後 R階平面図 1/100

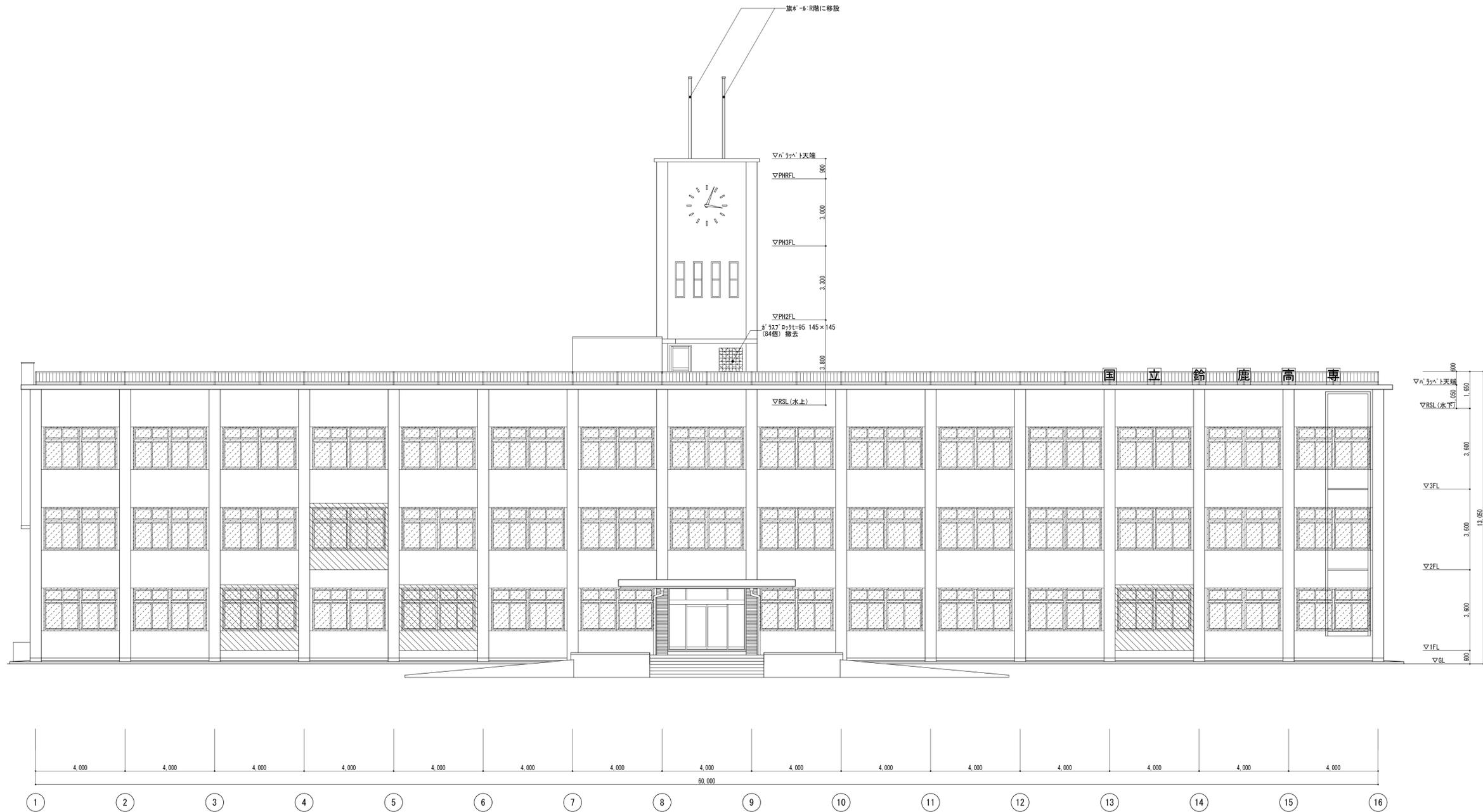
凡例	
	塩ビシート=1.5防水機械的固定工法(断熱絶縁:S1-M2)脱気筒(樹脂製)0箇所新設
	既設防水下地処理の上ウレタン系塗膜防水 X-1工法がパット天端立上りウレタン系塗膜防水 X-2工法
	新設建具符号を示す
	ガラス取替え建具符号を示す

記事	仙臺高等専門学校の	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 R階平面図	平成26年7月	18/109	
															縮尺	番号	1/100	A-08

※A3版の場合は50%縮尺とする

外部仕上表	
部位	仕上
外壁	防水形複層塗材E
柱型	防水形複層塗材E
巾木	モルタル刷毛引き撥水塗装
上げ裏	外装薄塗材E
屋上手摺	スチール DP
窓枠	複質珪花ビニルパイプφ100(OP) 摺り金物(亜鉛メッキ)

凡例	
	アルミ建具撤去部分を示す
	RC壁撤去部分を示す

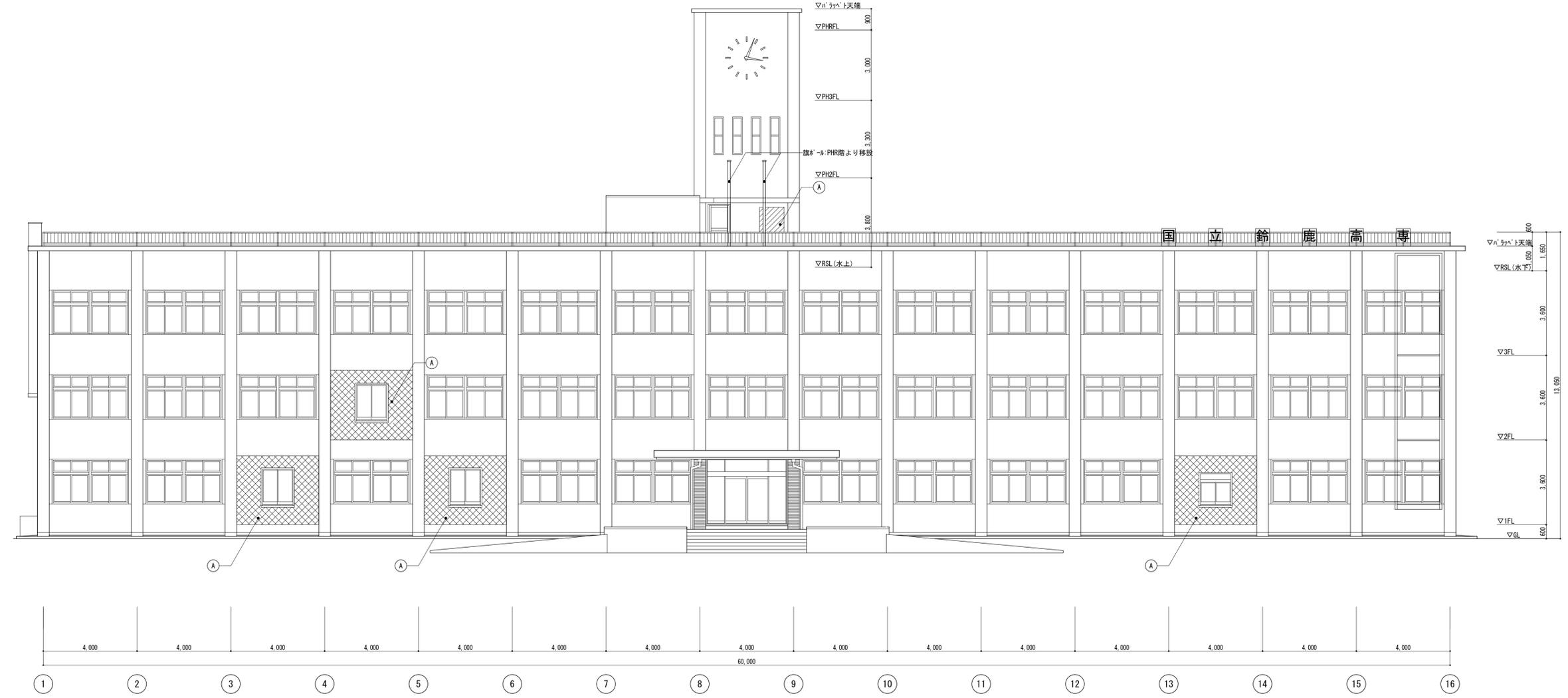


改修前 南側立面図 1/100

記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	校 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	19/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	縮尺	番号
													改修前 南側立面図	1/100	A-09

※A3版の場合は50%縮尺とする

凡例	
(A)	新設 RC壁：コンクリート打放し補修の上防水形複層塗材E
(B)	EV棟 外壁：ALC板t=100mm処理の上防水形複層塗材E
(C)	EV棟 巾木：モルタル金ゴテ
(D)	EV棟 パナソニック天端：7mm製水切り
(E)	EV棟 縦樋：硬質塩化ビニルφ100 DP 摺り金物(亜鉛メッキ)
既設外壁・柱型：既設配管等撤去部のみモルタル補修の上防水形複層塗材E	
	新設 RC耐力壁を示す
	新設 RC壁 (W150) を示す



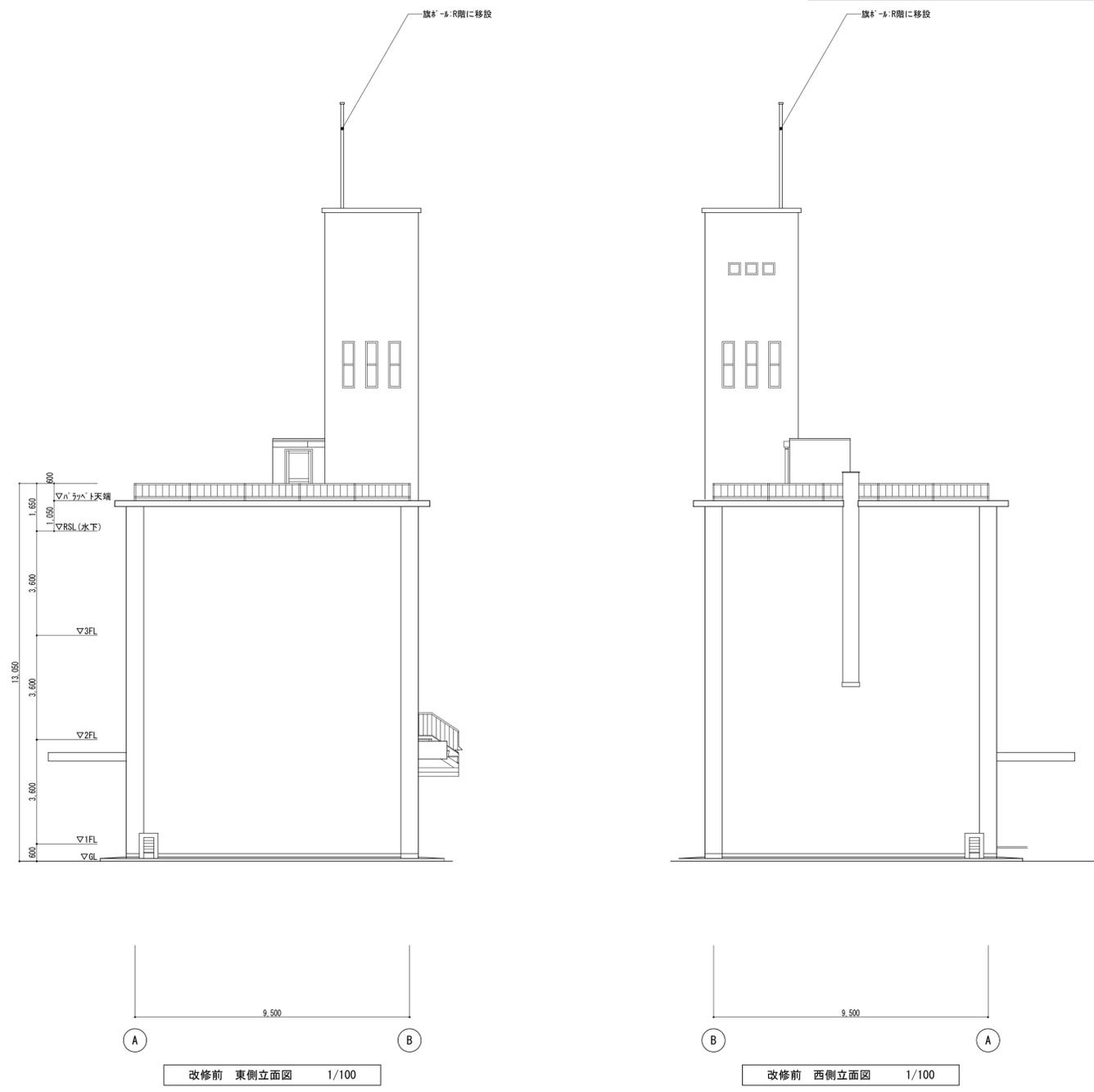
改修後 南側立面図 1/100

記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数	
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	20/109	
	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行										図面名称	改修後 南側立面図	縮尺	1/100	番号	A-10

※A3版の場合は50%縮尺とする

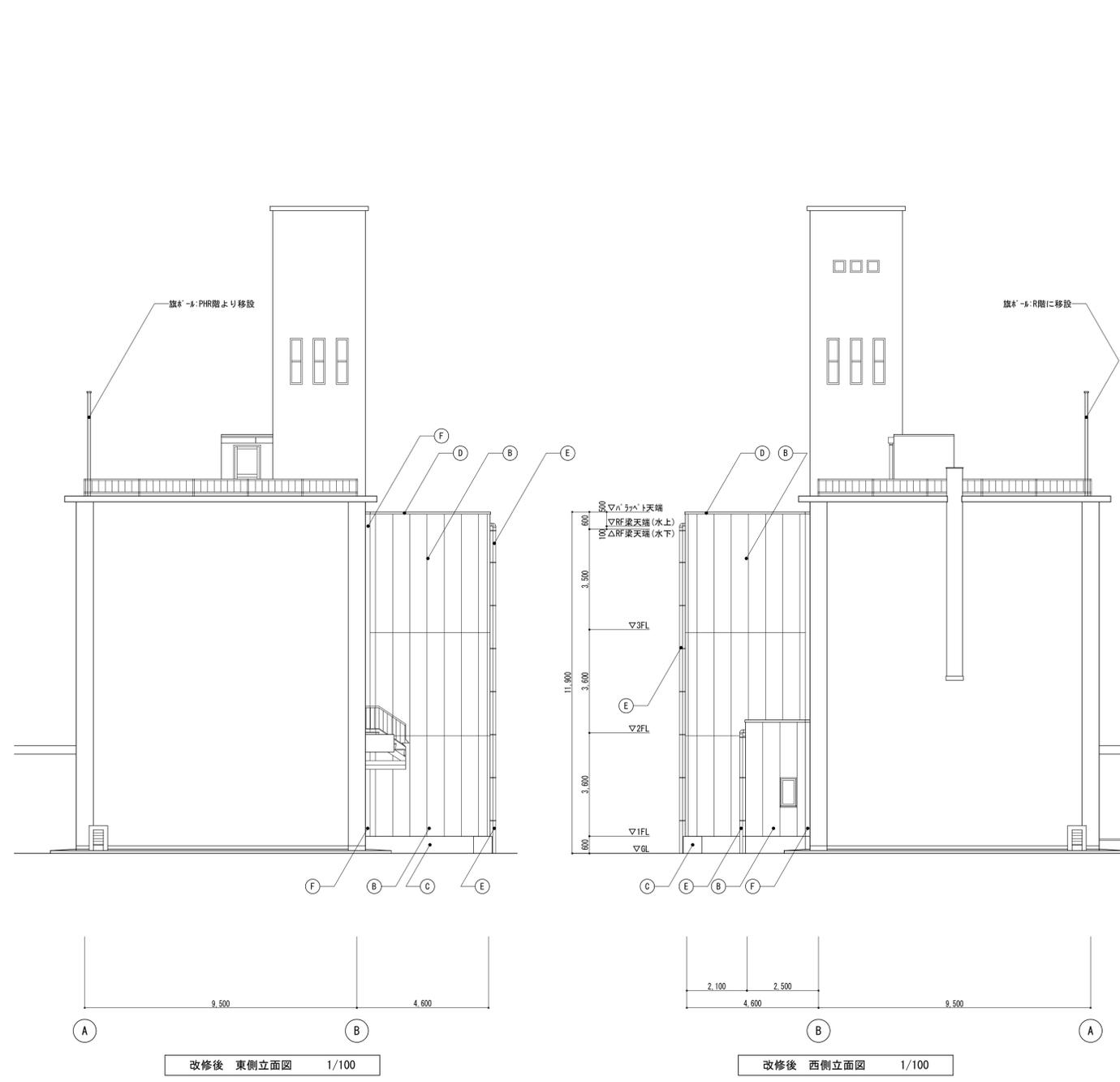
外部仕上表	
部位	仕上
外壁	防水形複層塗材E
柱型	防水形複層塗材E
巾木	モルタル剛毛引き 撥水塗装
上げ裏	外装薄塗材E
屋上屋根	スチール DP
壁種	硬質塩化ビニルパイプφ100(OP) 掘み金物(重給メッキ)

凡例	
	アルミ建具撤去部分を示す
	RC壁撤去部分を示す



凡例	
(A)	新設 RC壁：コンクリート打放し補修の上防水形複層塗材E
(B)	EV棟 外壁：ALC板t=100シラ-処理の上防水形複層塗材E
(C)	EV棟 巾木：モルタル金ゴテ
(D)	EV棟 パナソニック天端：7x3並木#300 (既製品)
(E)	EV棟 縦樋：硬質塩化ビニルパイプφ100 DP 掘み金物(重給メッキ)
(F)	EXP. J：7x3型外壁コーナ (W250)

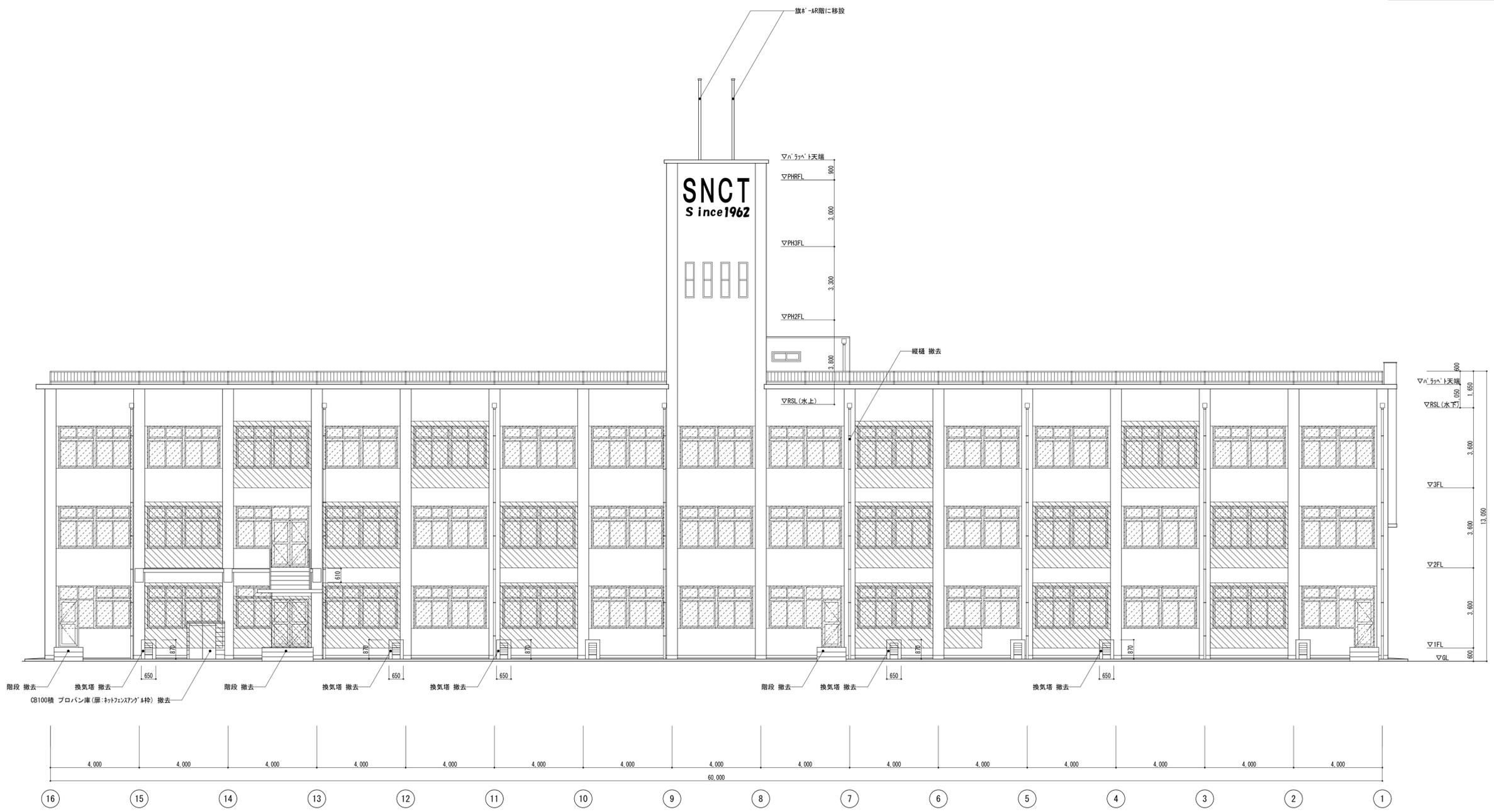
	既設外壁・柱型 既設配管等撤去部のみモルタル補修の上 防水形複層塗材E
	新設 RC耐力壁を示す
	新設 RC壁 (W150) を示す



記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数	
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	21 / 109	
	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行										図面名称	改修前後 東・西側立面図	縮尺	1 / 100	番号	A-11

※A3版の場合は50%縮尺とする

外部仕上表	
部位	仕上
外壁	防水形複層塗材E
柱型	防水形複層塗材E
巾木	モルタル刷毛引き撥水塗装
上げ裏	外装薄塗材E
屋上手摺	スチール DP
窓枠	複質強化ビニルパイプφ100(OP) 摺り金物(亜鉛メッキ)
凡例	
	アルミ建具撤去部分を示す
	RC壁撤去部分を示す

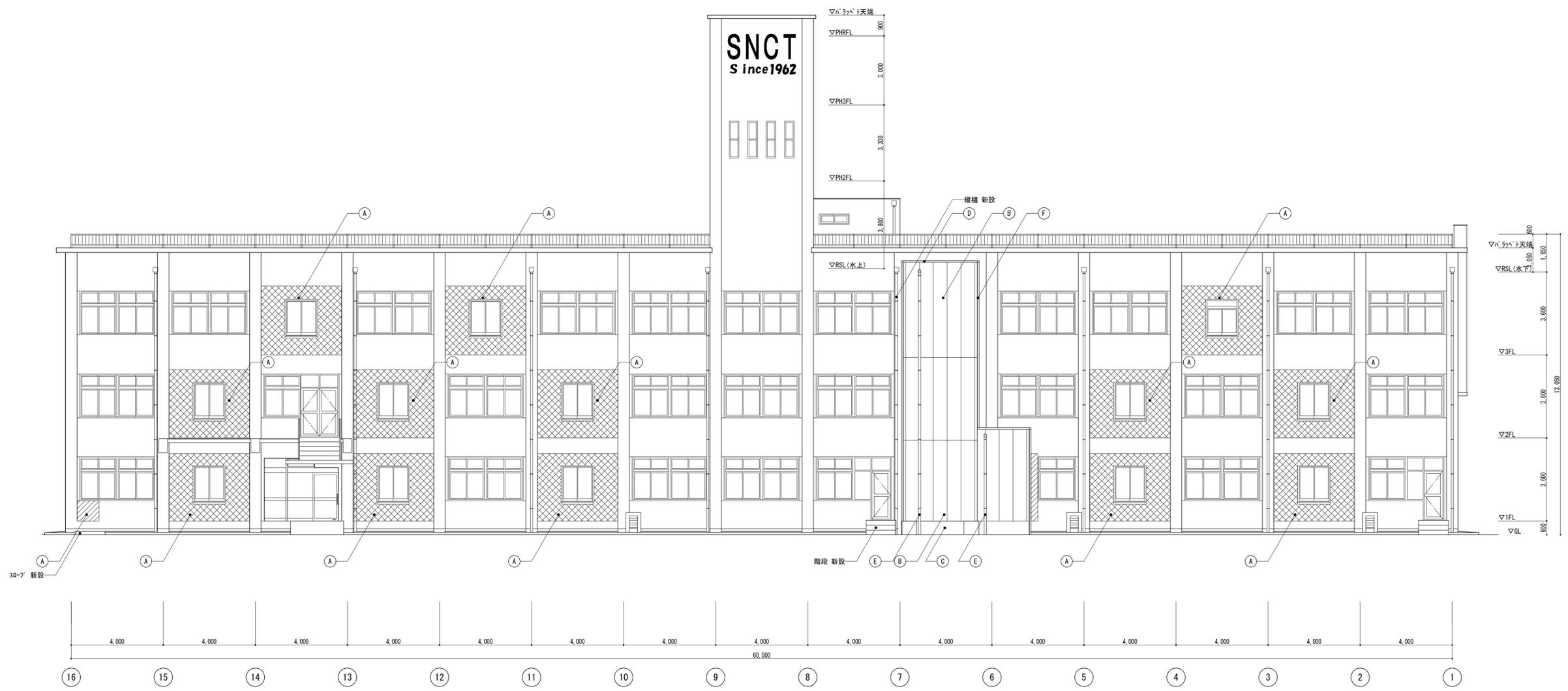


改修前 北側立面図 1/100

記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 閲	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	22/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 (大匠) 第270315号 犬飼 和行			改修前 北側立面図	縮尺	番号
														1/100	A-12

※A3版の場合は50%縮尺とする

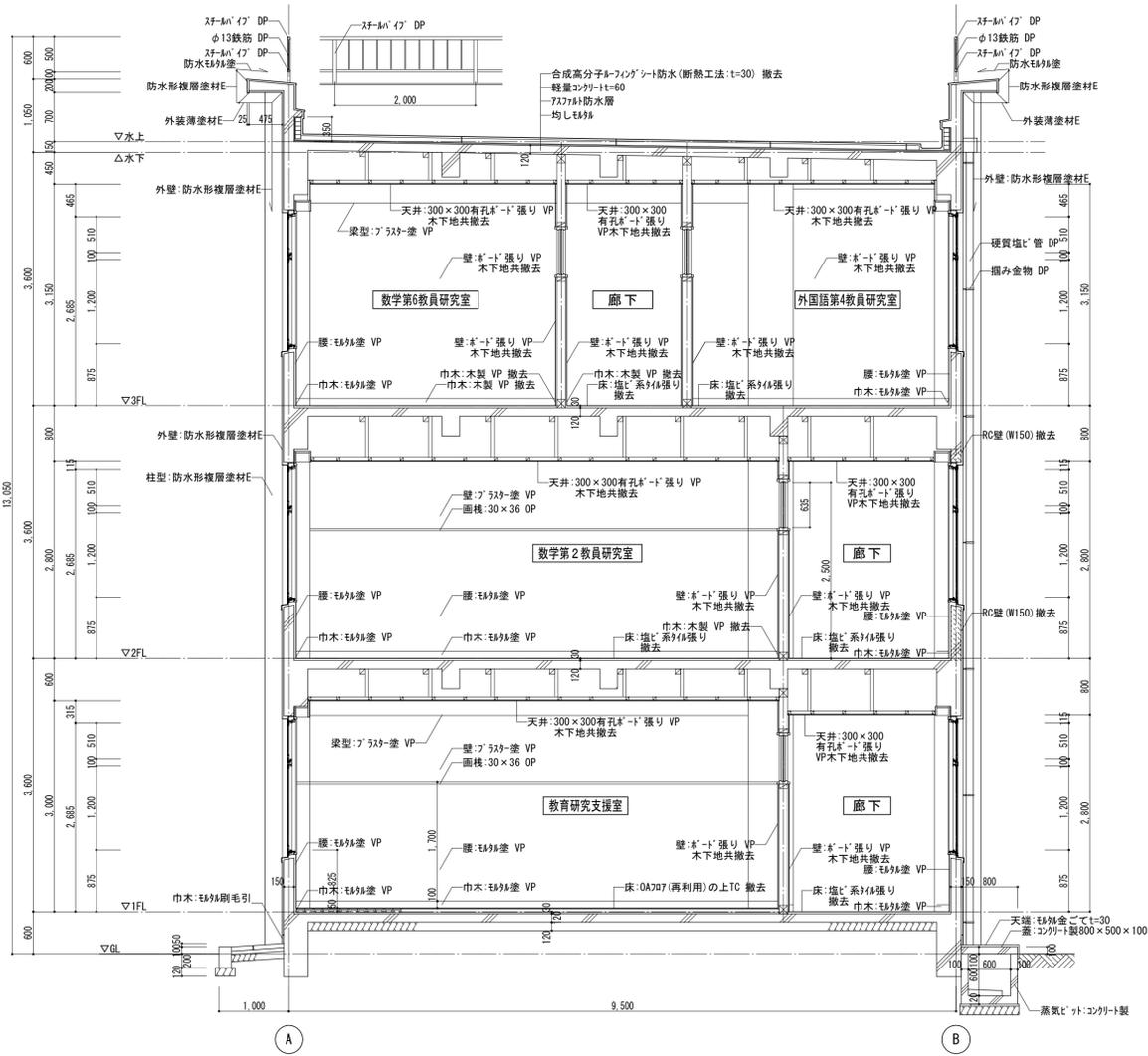
凡例	
(A)	新設 RC壁：コンクリート打ち出し補修の上防水形複層塗材E
(B)	EV棟 外壁：ALC板t=100シーラ処理の上防水形複層塗材E
(C)	EV棟 巾木：モルタル金ゴテ
(D)	EV棟 木下：モルタル金ゴテ
(E)	EV棟 縦樋：硬質塩化ビニルφ100 DP. 摺り金物(亜鉛メッキ)
(F)	EXP. J：7ö製外壁コーナ(W250)
既設外壁・柱型：既設配管等撤去部のみモルタル補修の上防水形複層塗材E	
	新設 RC耐力壁を示す
	新設 RC壁(W150)を示す



改修後 北側立面図 1/100

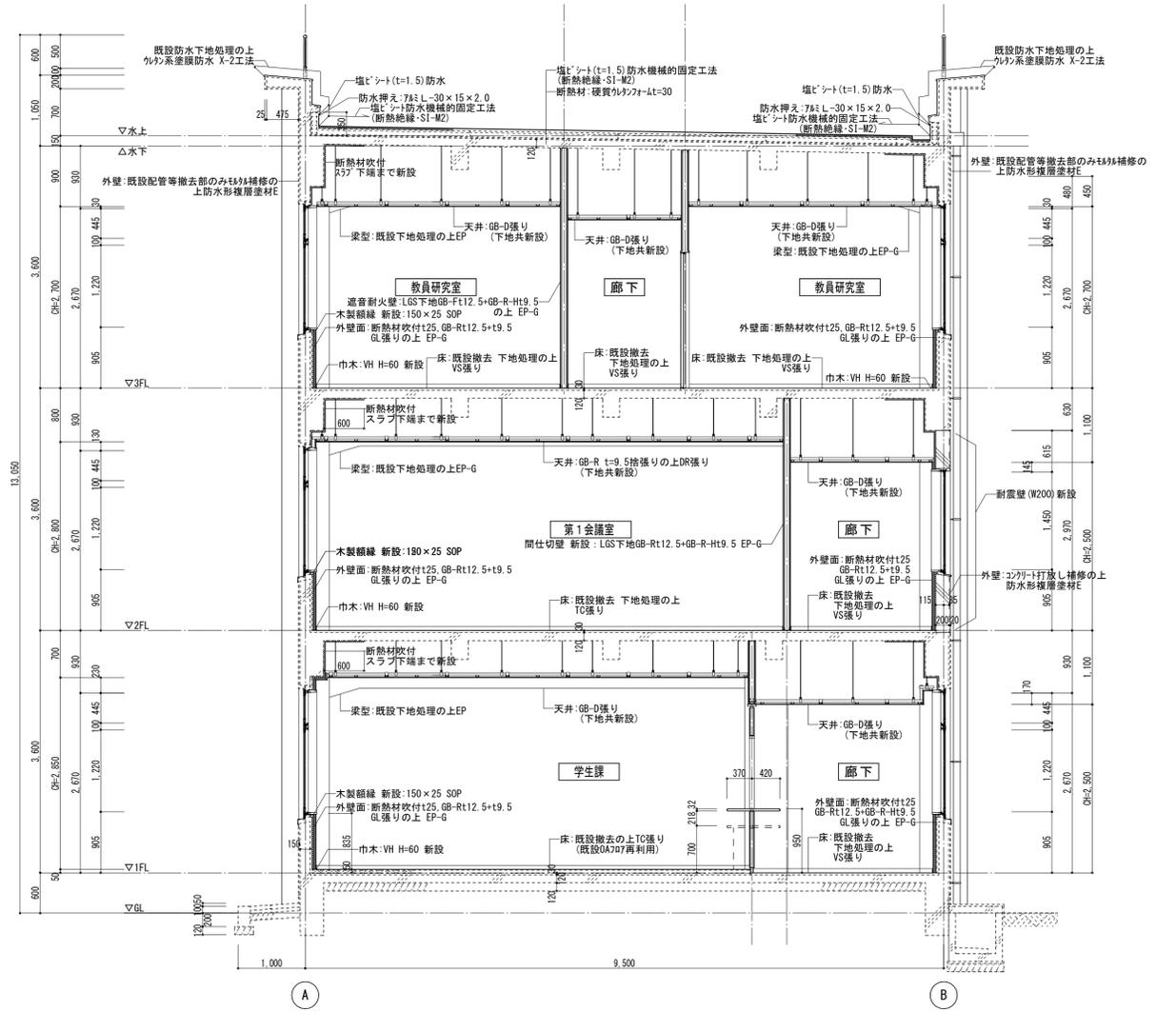
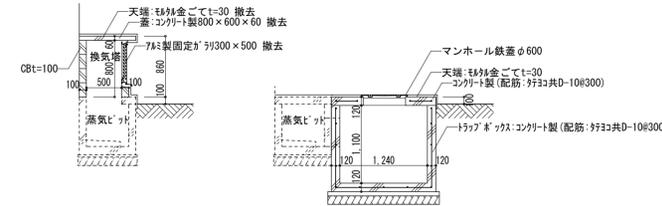
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	23/109
	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行										図面名称		縮尺	番 号	
													改修後 北側立面図	1/100	A-13

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 矩計図 1/50

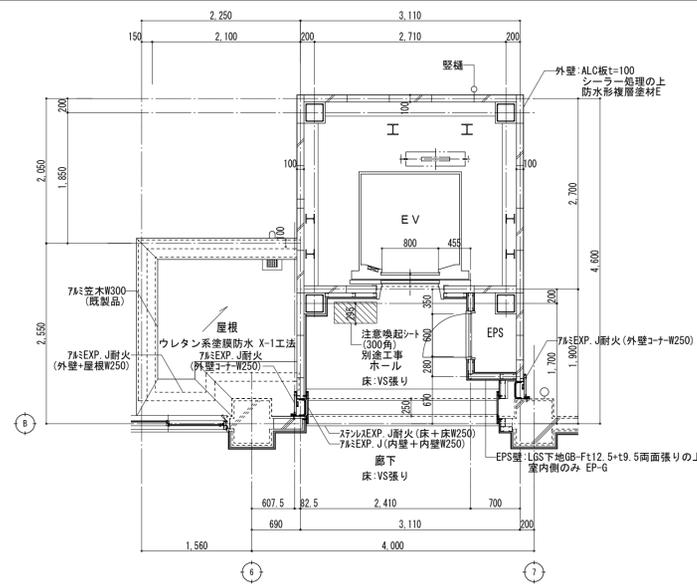
天井木下地: 用木...45×308900
 : 野線受け...45×308900
 : 野線受け...45×308450
 壁 木下地: 柱...120×12081800
 : 間柱...120×308450
 : 野線受け...45×308450



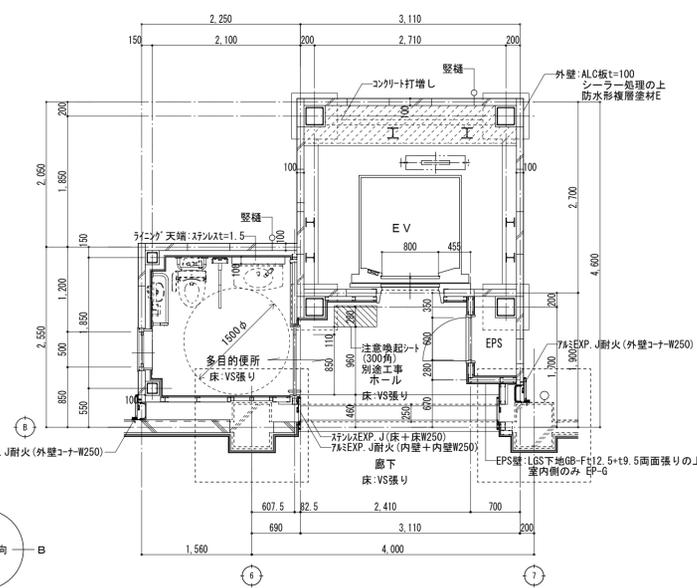
改修後 矩計図 1/50

記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	24/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 矩計図	縮尺	番号
														1/50	A-14

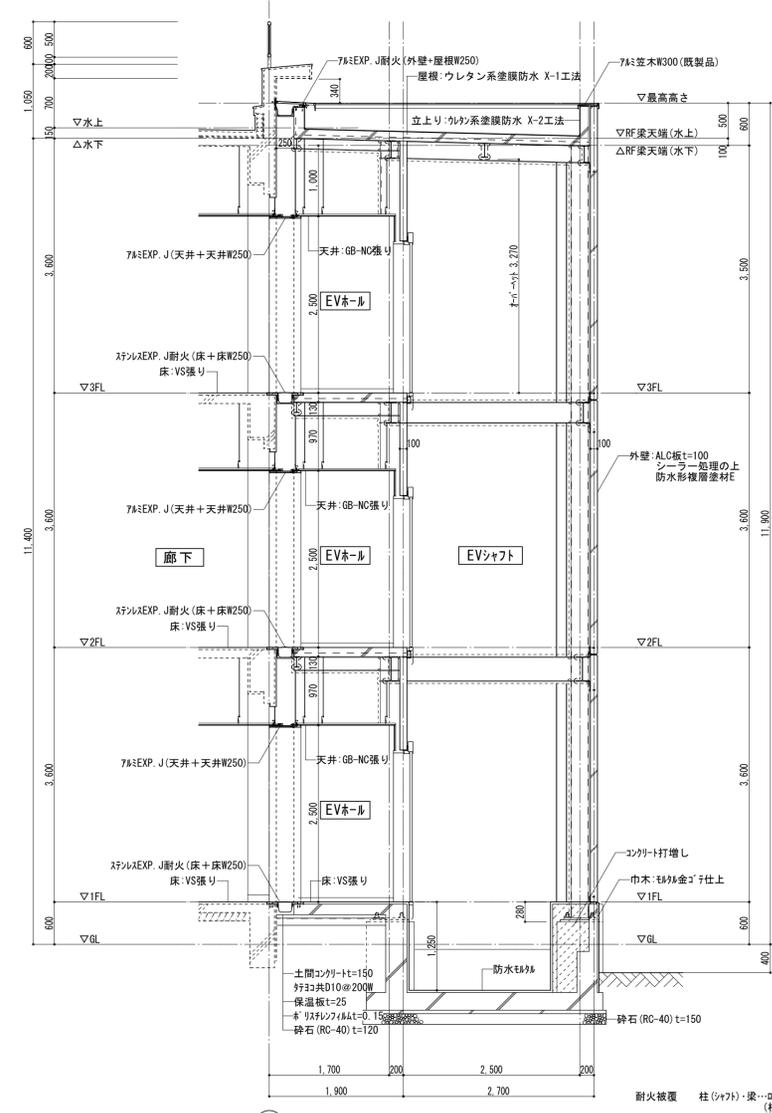
※A3版の場合は50%縮尺とする



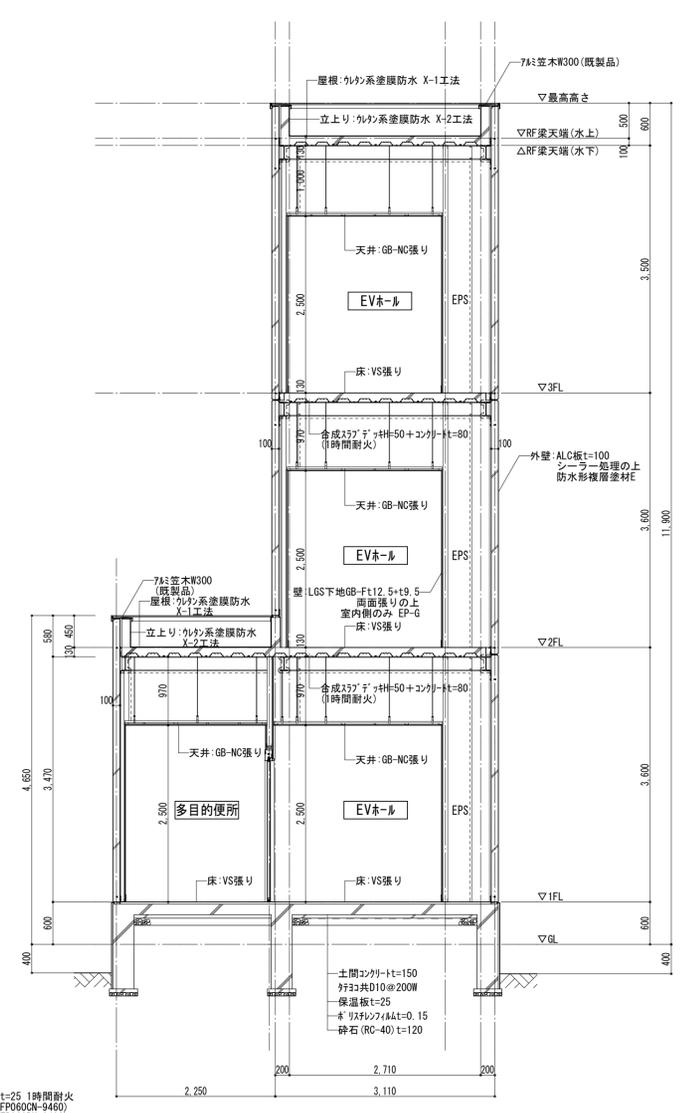
EV棟 2階平面詳細図 1/50



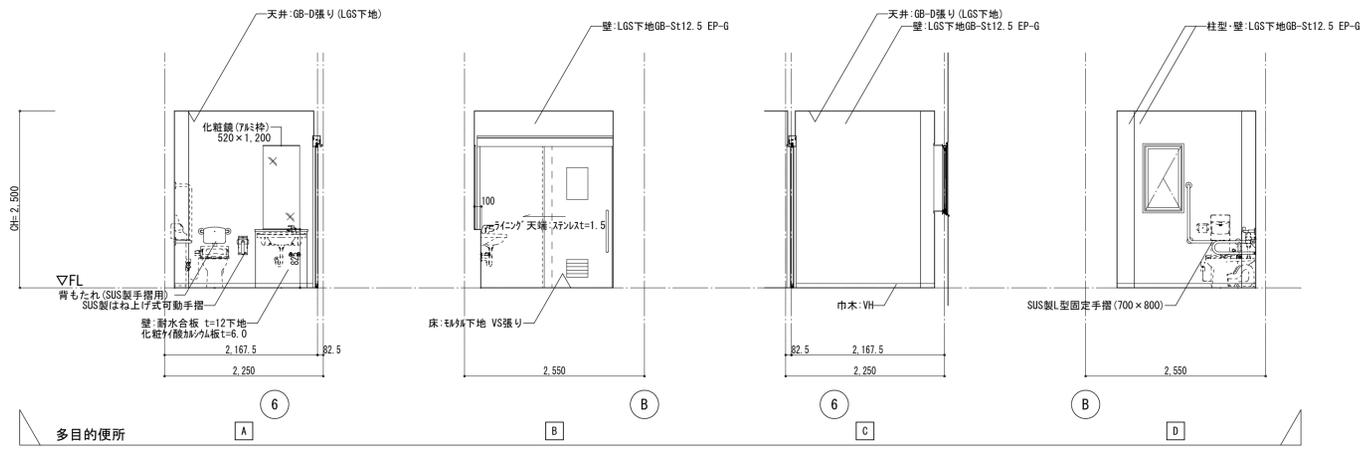
EV棟 1階平面詳細図 1/50



EV棟 断面詳細図(1) 1/50

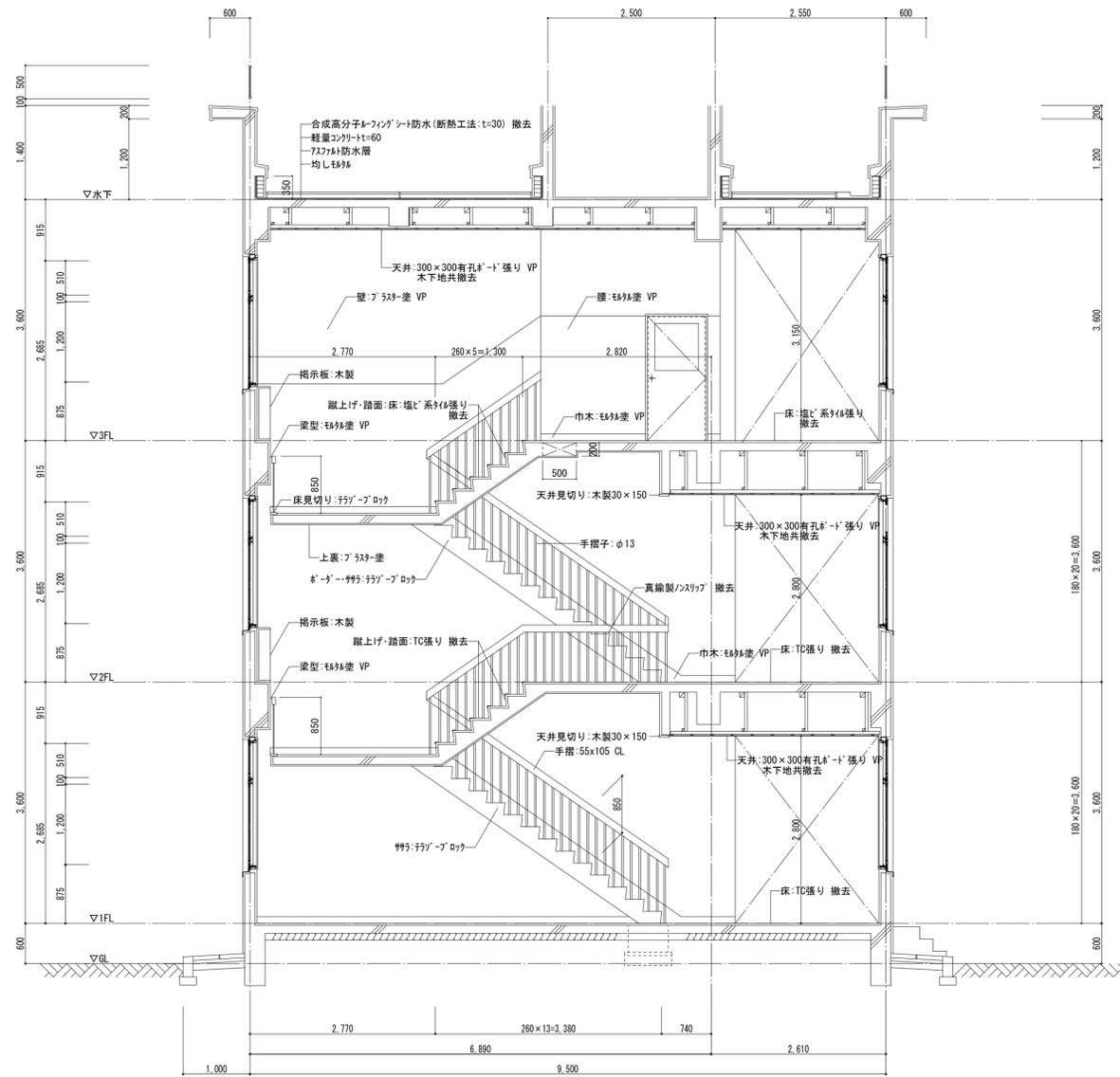


EV棟 断面詳細図(2) 1/50

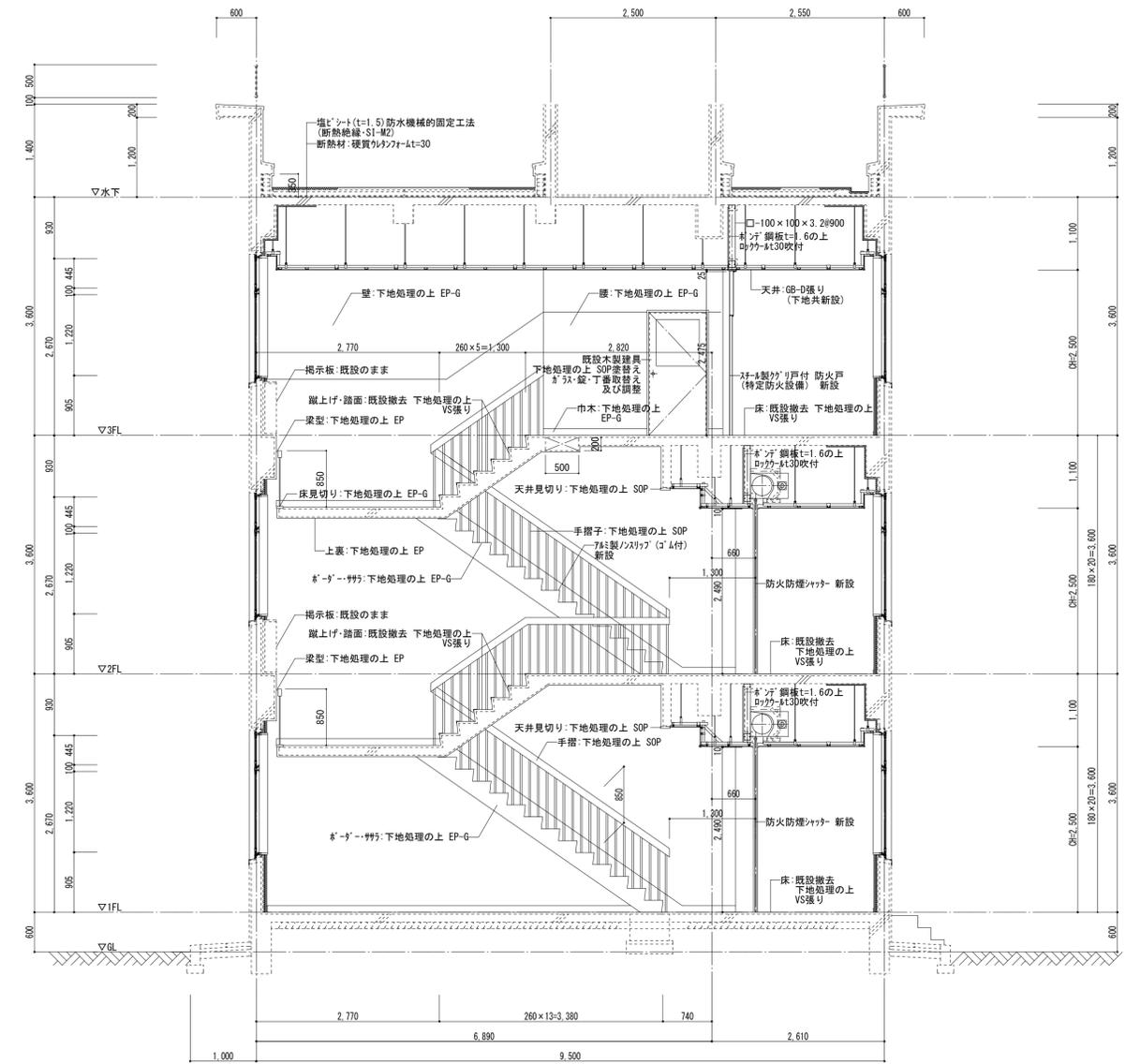


記事	仙石高等学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数	
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	EV棟 平面・断面詳細図, 展開図	縮尺	番号		
																1/50	A-15		

※A3版の場合は50%縮尺とする



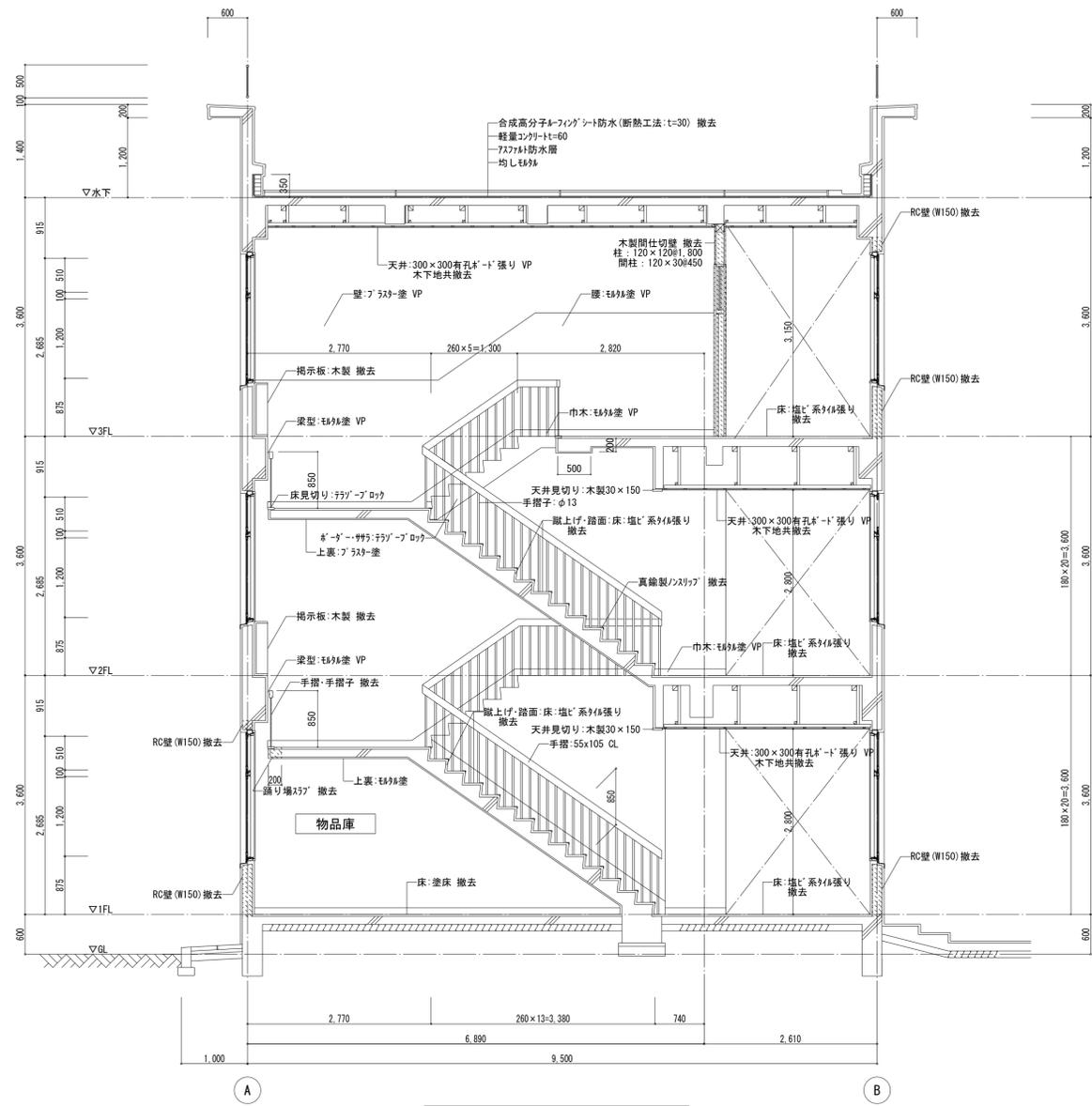
改修前 西階段断面詳細図 S=1:50



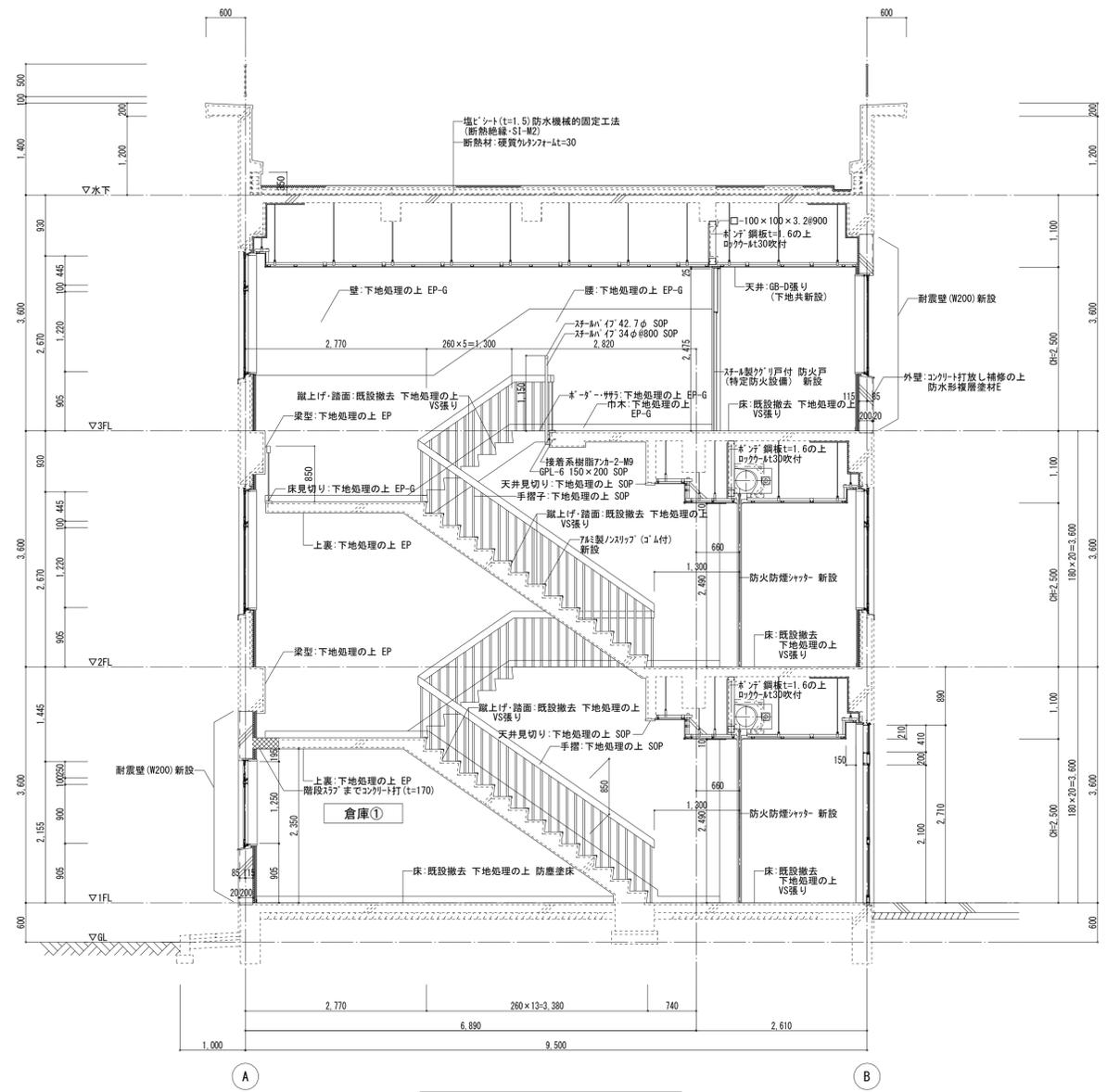
改修後 西階段断面詳細図 S=1:50

記事	仙臺工業高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士（大臣）第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 西階段断面詳細図	縮尺	1/50	番号

※A3版の場合は50%縮尺とする



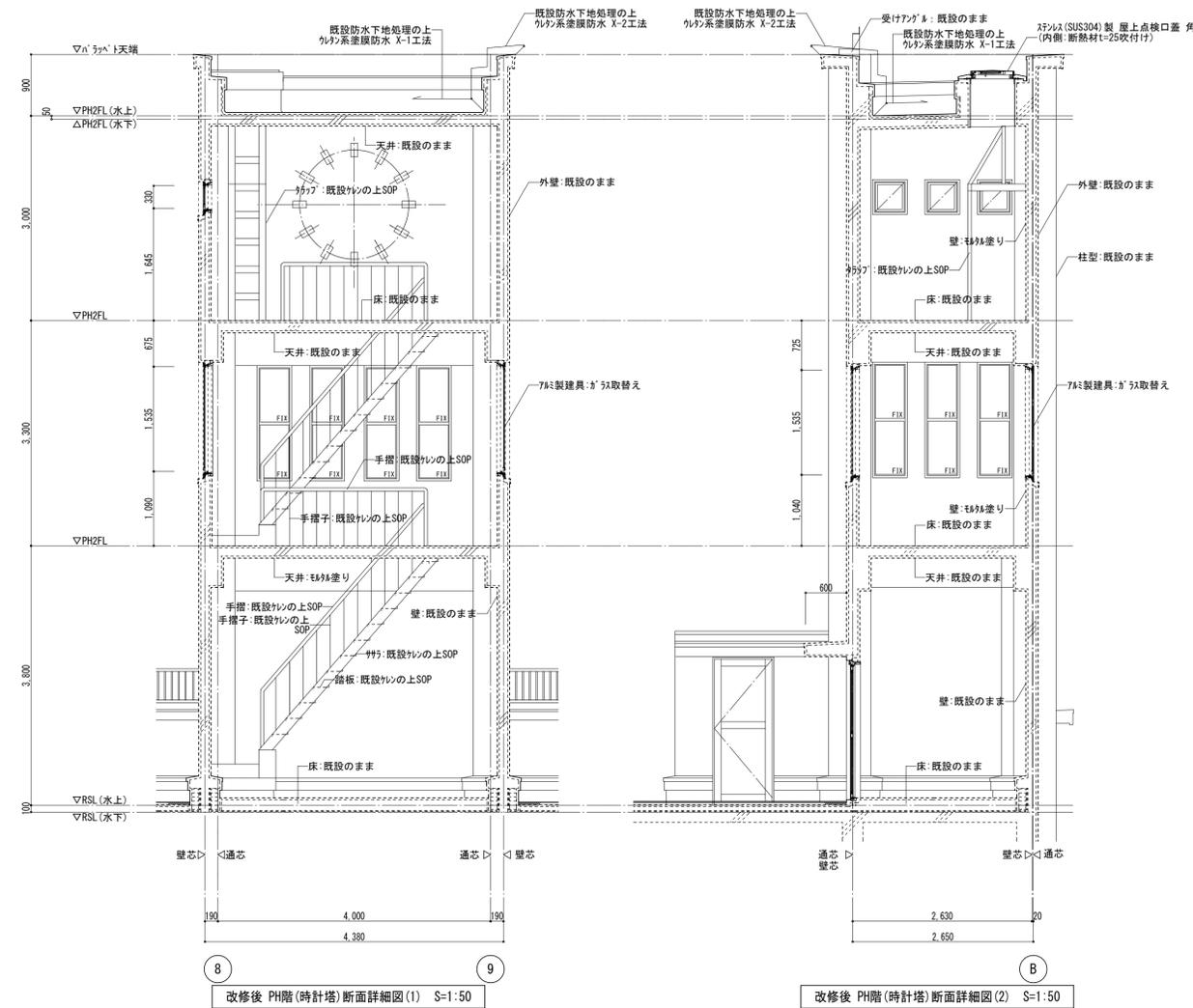
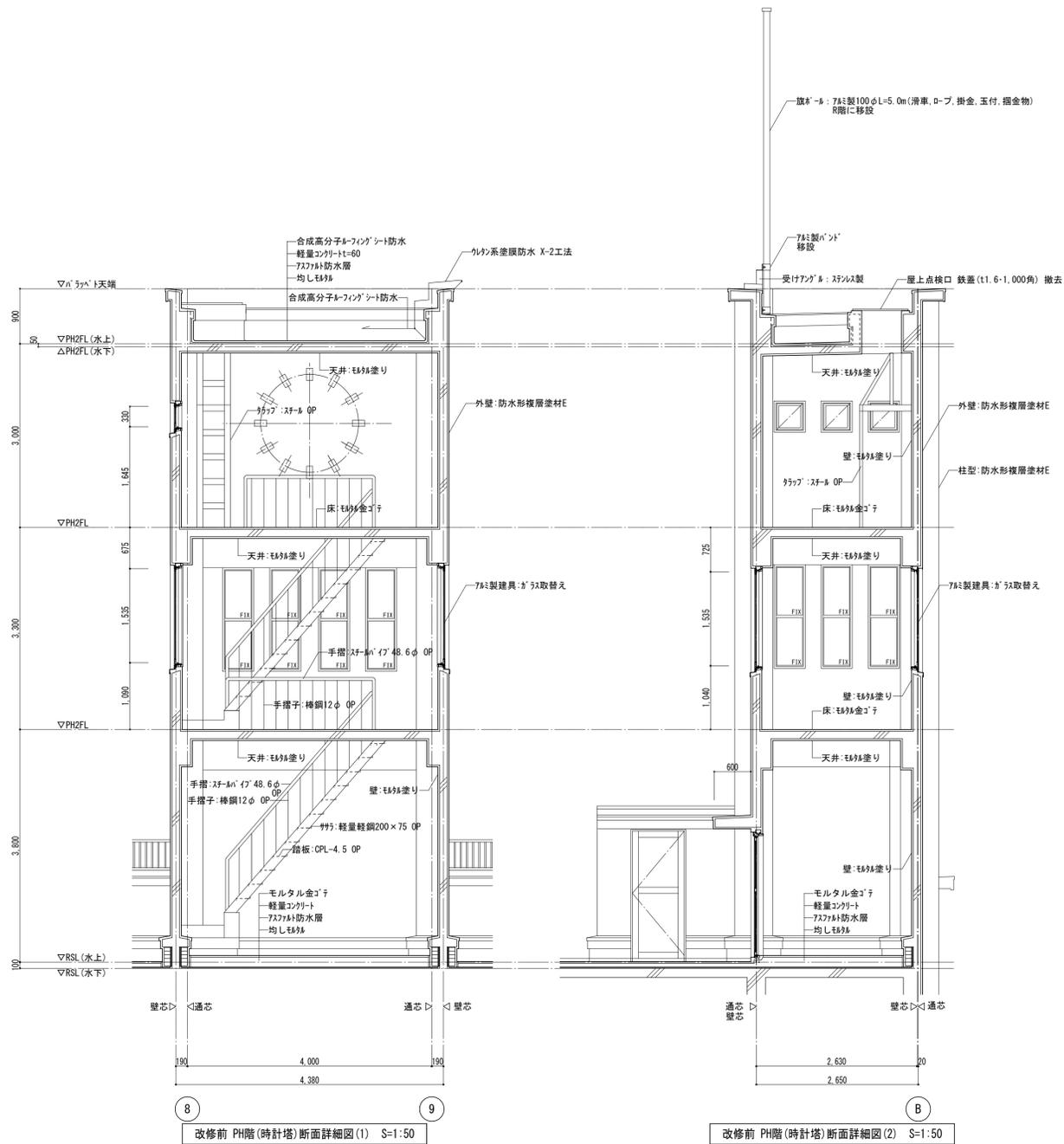
改修前 東階段断面詳細図 S=1:50



改修後 東階段断面詳細図 S=1:50

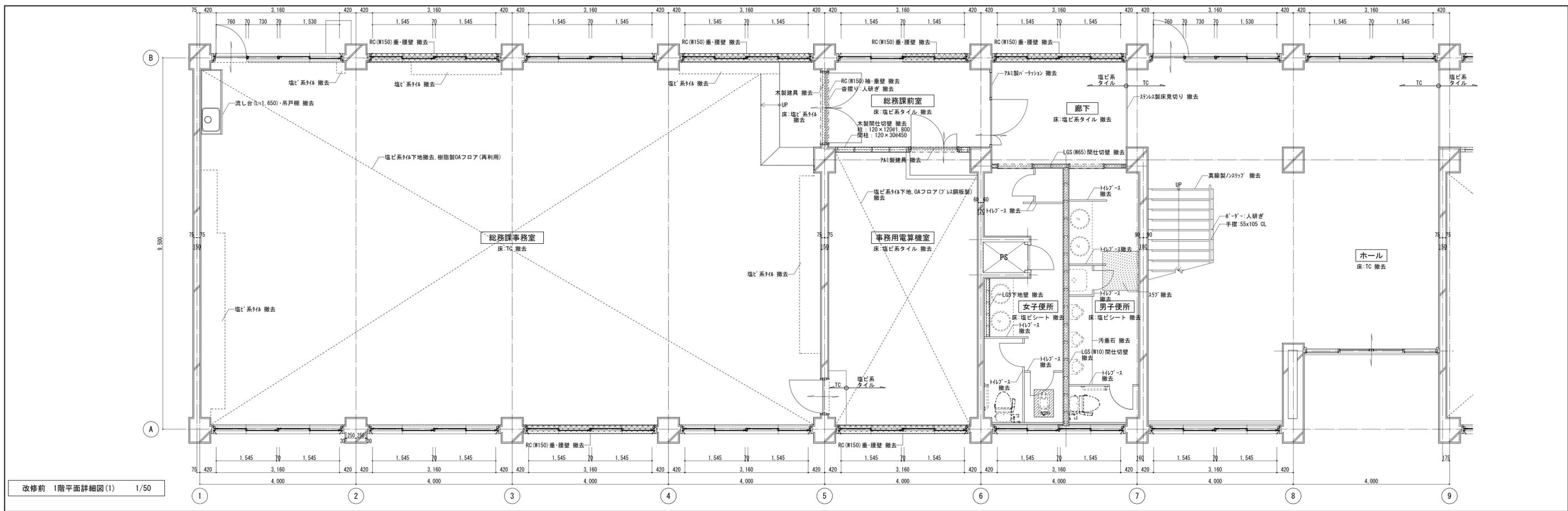
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	27/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 東階段断面詳細図	縮尺	番号
														1/50	A-17

※A3版の場合は50%縮尺とする

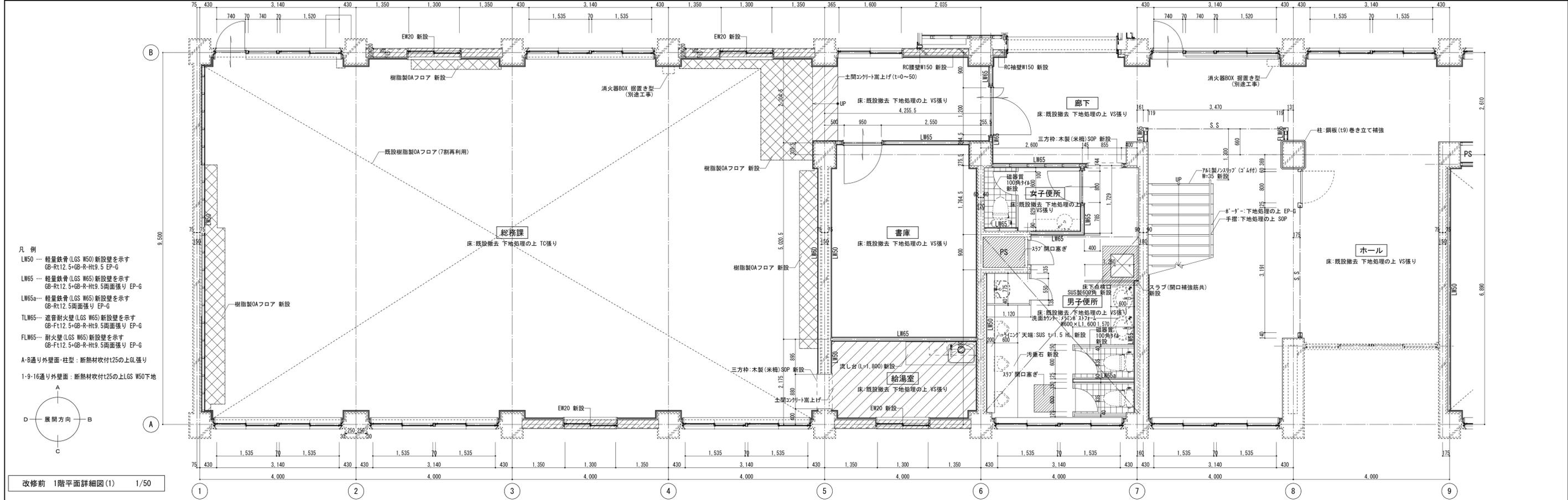


記 事	仙 台 工 業 高 専 管 理 棟 改 修 工 事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	28/109
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 PH階(時計塔)断面詳細図	縮尺	番号
															1/50	A-18

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 1階平面詳細図(1) 1/50



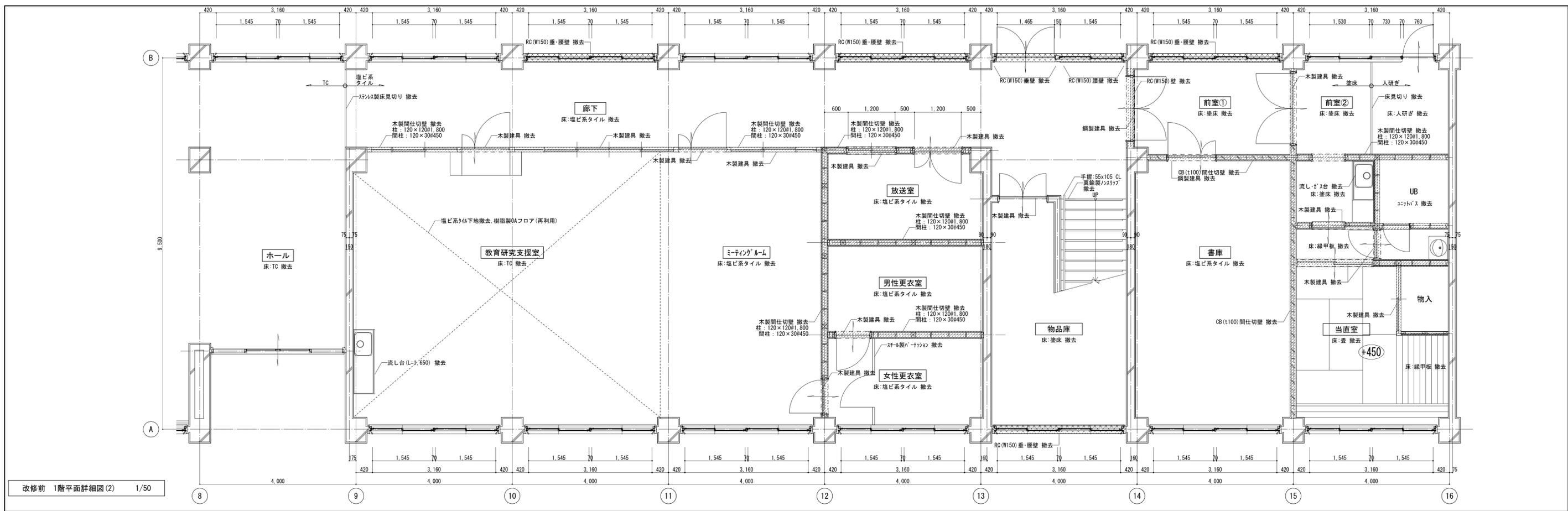
改修後 1階平面詳細図(1) 1/50

凡例
 LW50… 軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す
 GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G
 LW65… 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 LW65a… 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Rt12.5両面張り EP-G
 TLW65… 遮音耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 FLW65… 耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 A-B通り外壁面・柱型: 断熱材吹付t25の上GL張り
 1-9-16通り外壁面: 断熱材吹付t25の上LGS W50下地

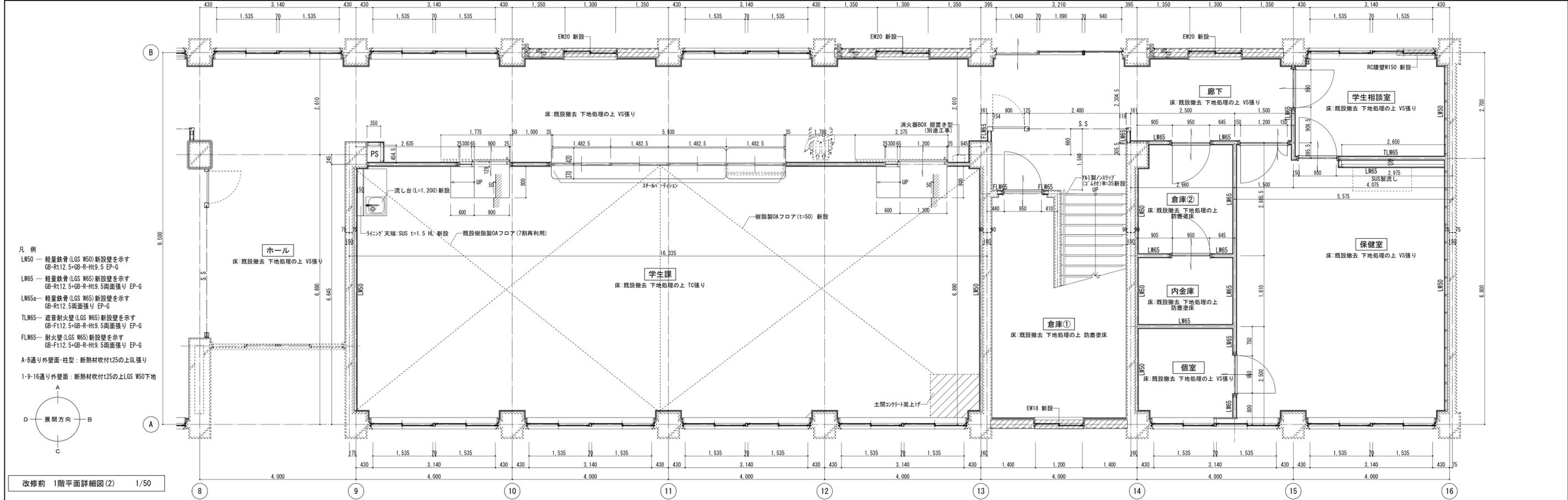
展開方向

記事	仙台高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数	
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	29/109		
															改修前後 1階平面詳細図(1)	縮尺	番号		
															1/50	A-19			

※A3版の場合は50%縮尺とする



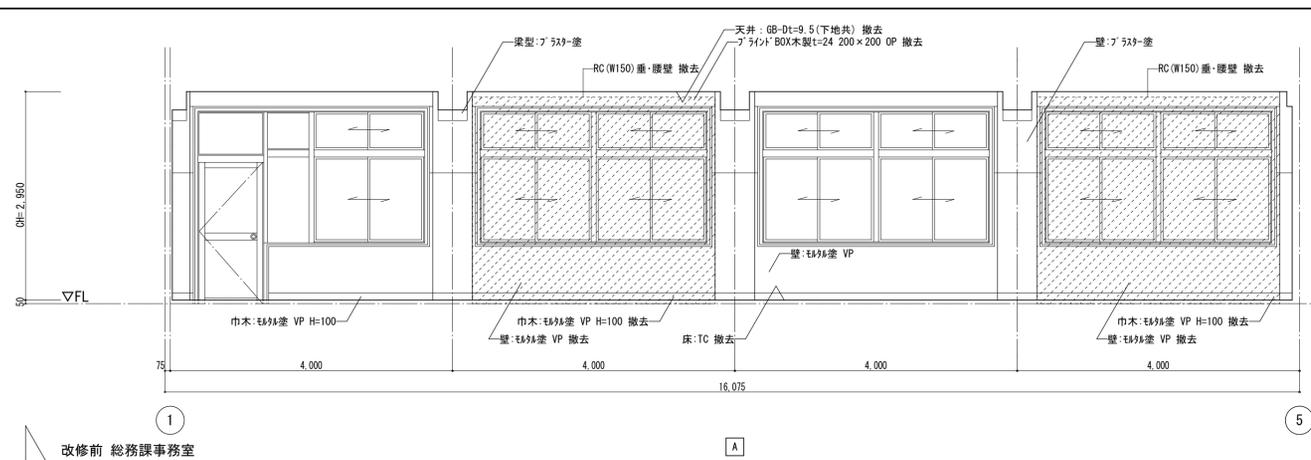
改修前 1階平面詳細図(2) 1/50



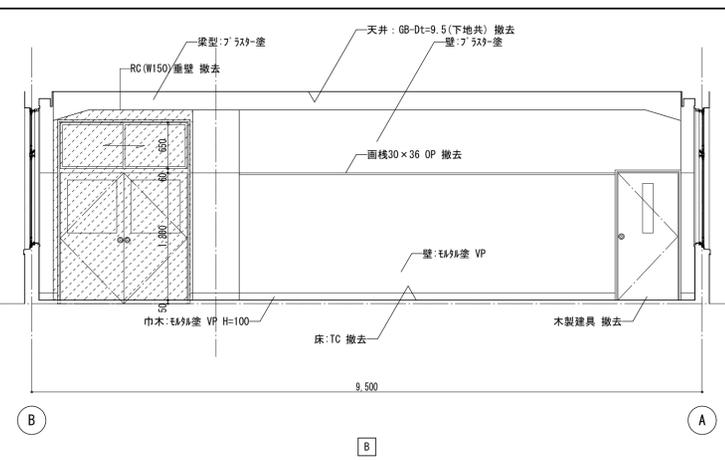
改修前 1階平面詳細図(2) 1/50

記事	仙石高等学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	30/109	
															図面名称	改修前 1階平面詳細図(2)	縮尺	番号
																1/50		A-20

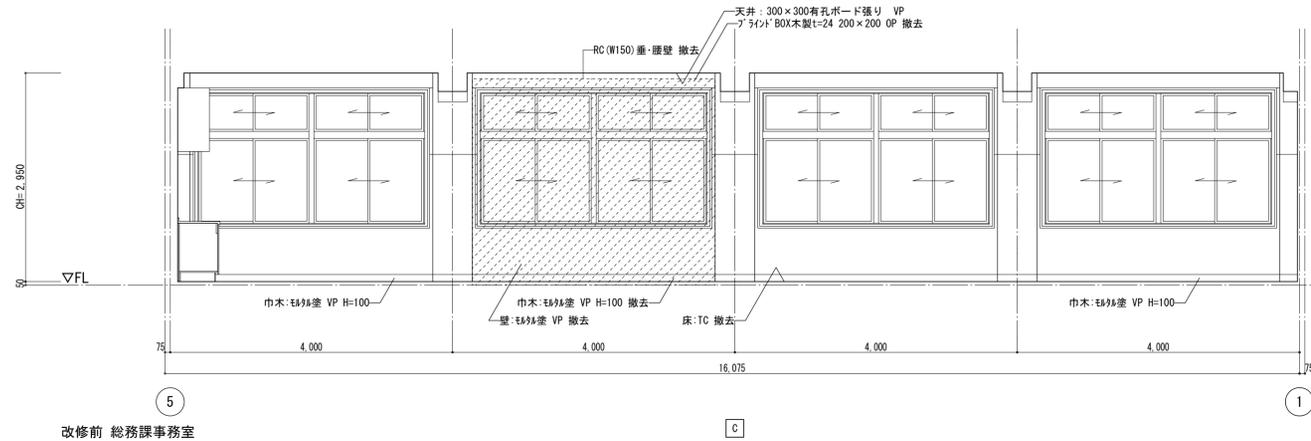
※A3版の場合は50%縮尺とする



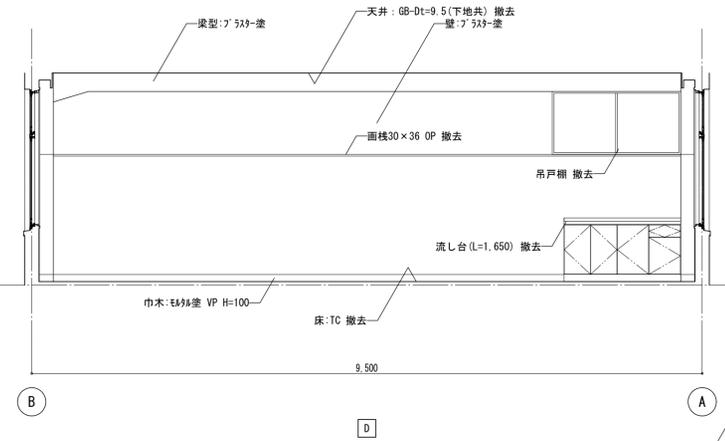
改修前 総務課事務室



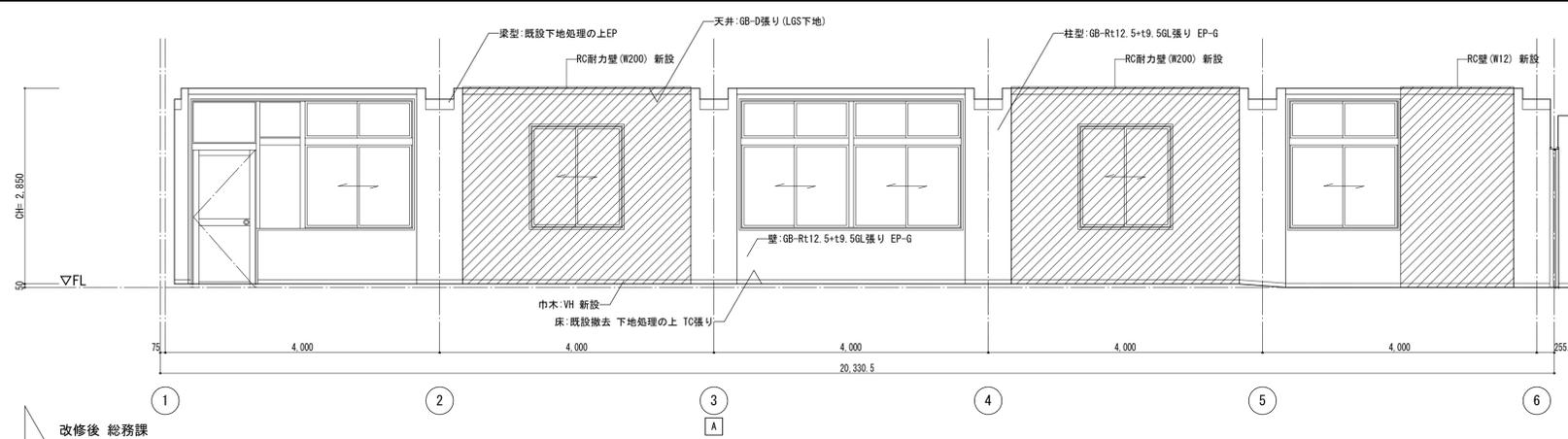
改修前 総務課事務室



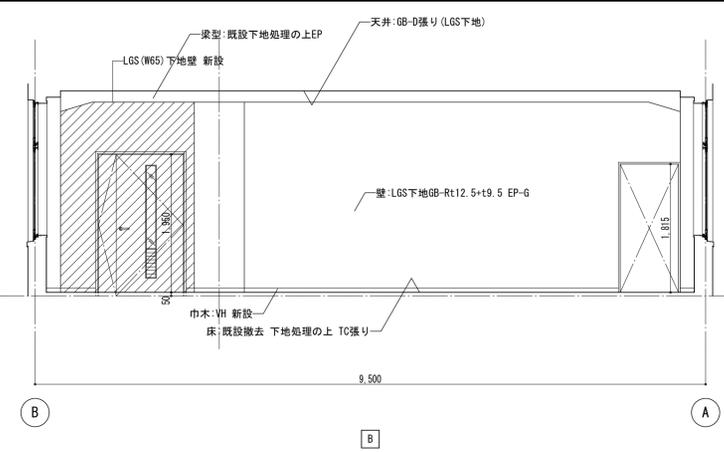
改修前 総務課事務室



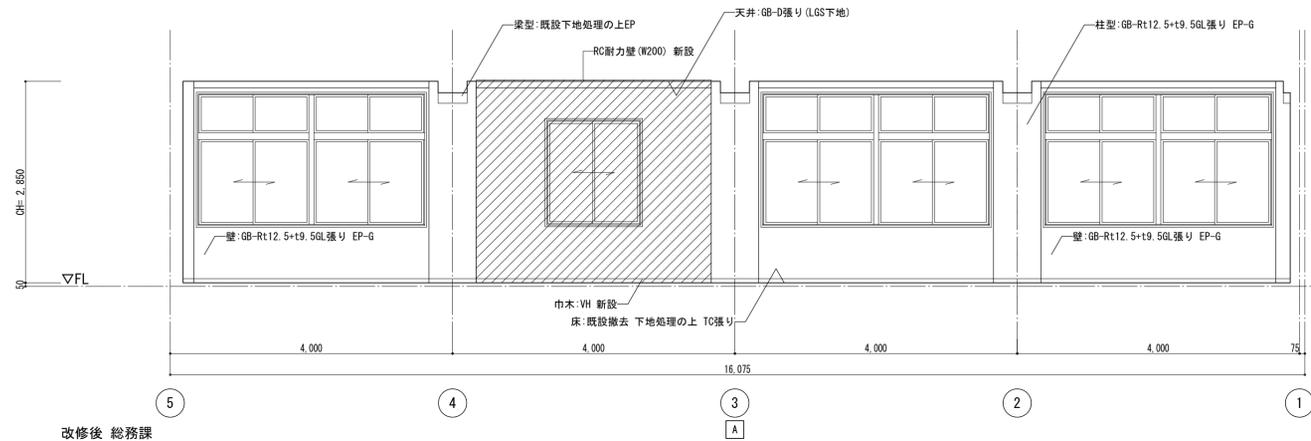
改修前 総務課事務室



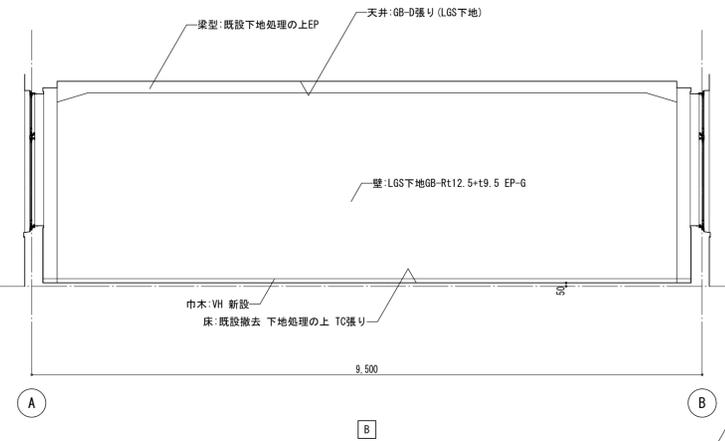
改修後 総務課



改修後 総務課



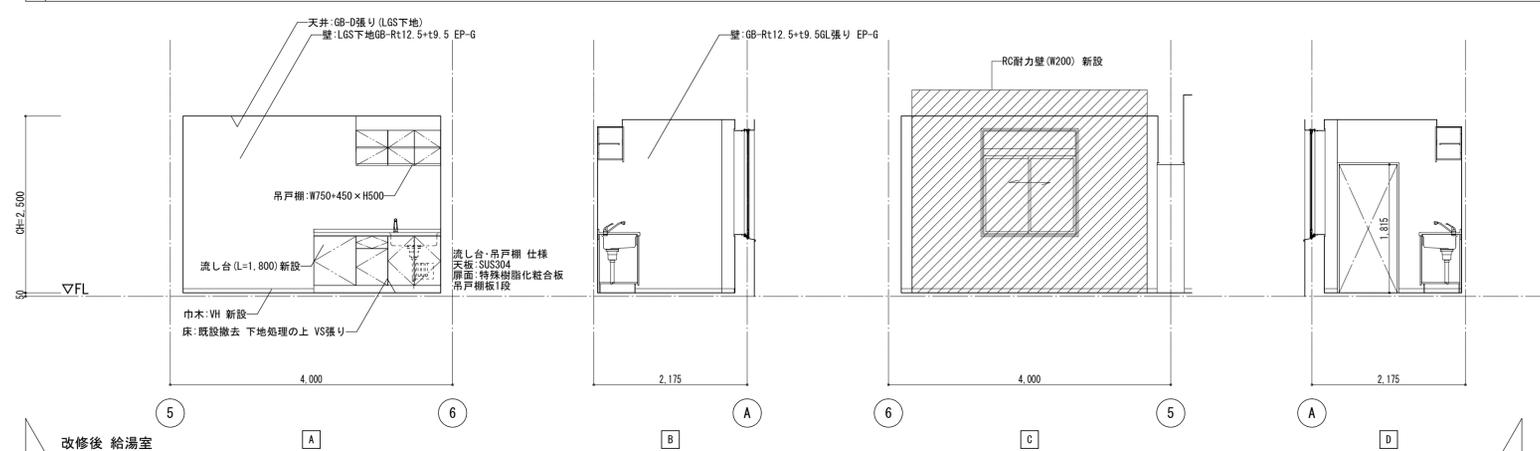
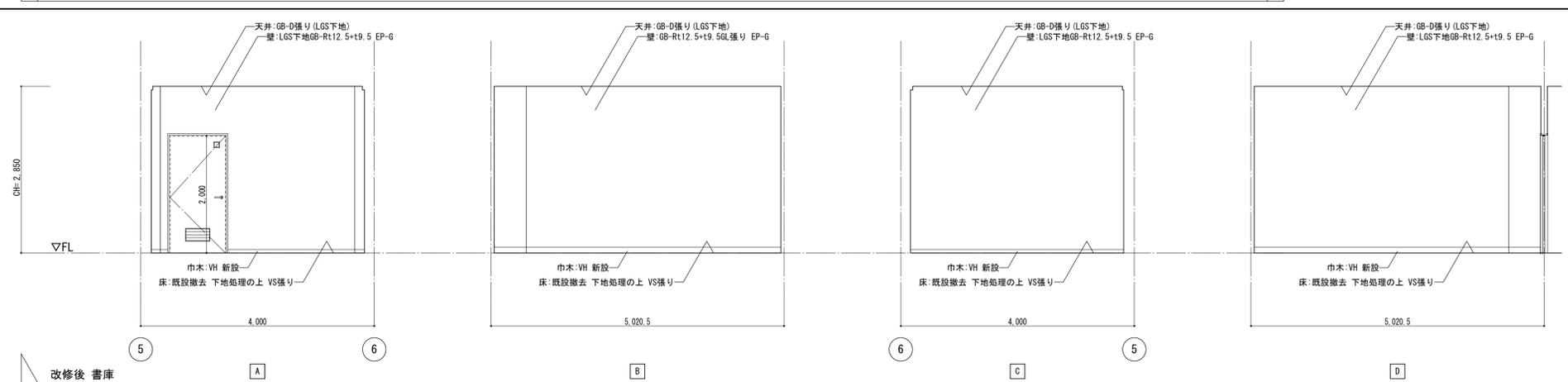
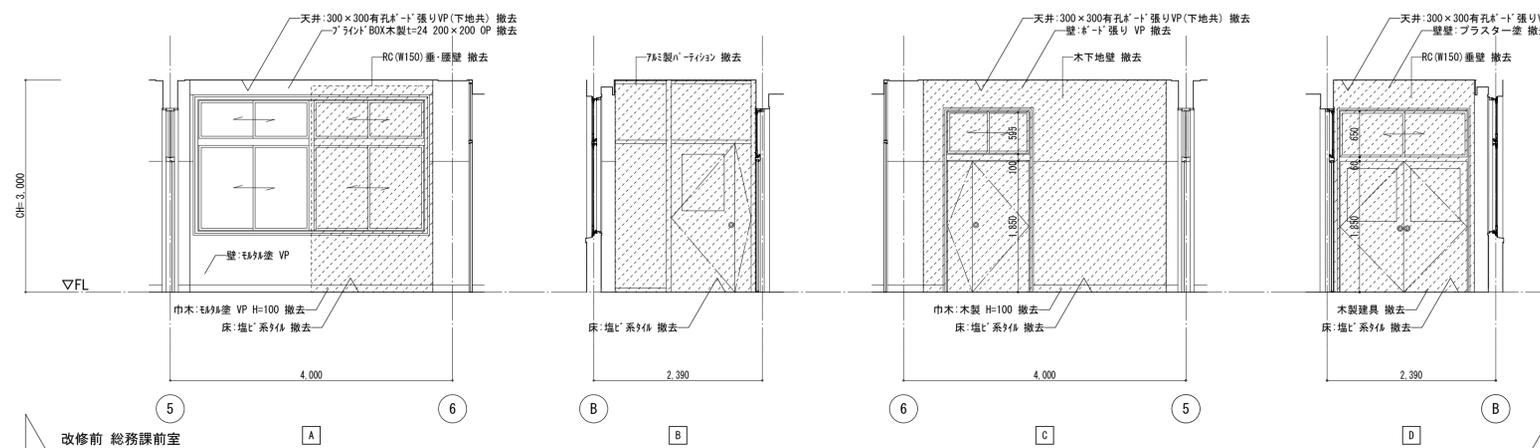
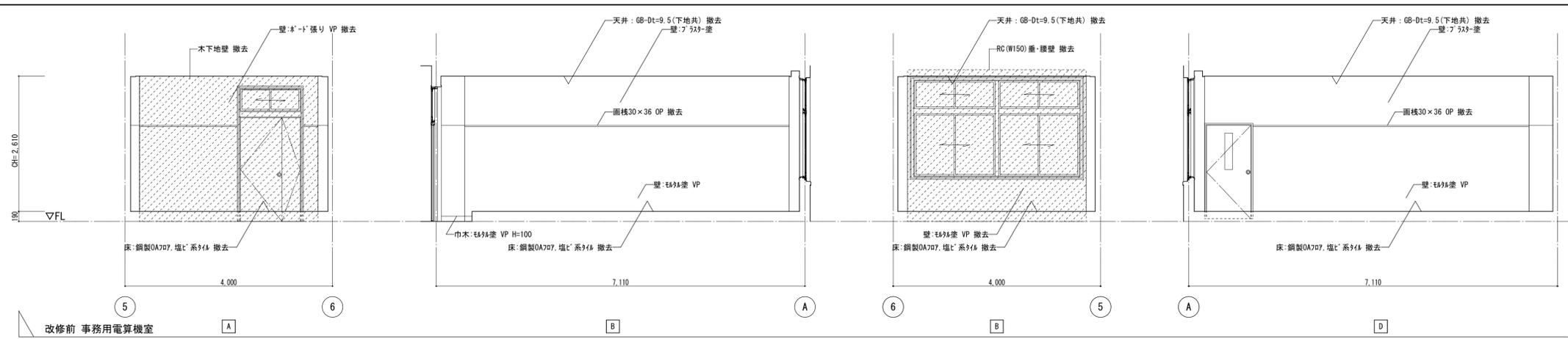
改修後 総務課



改修後 総務課

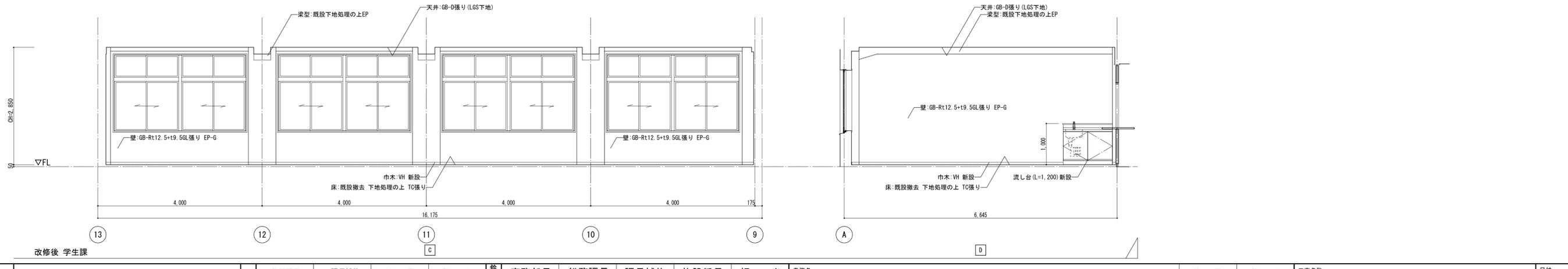
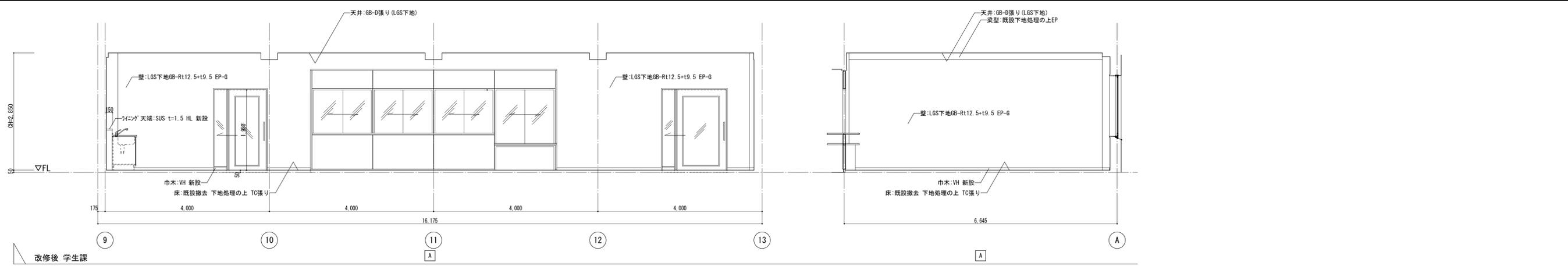
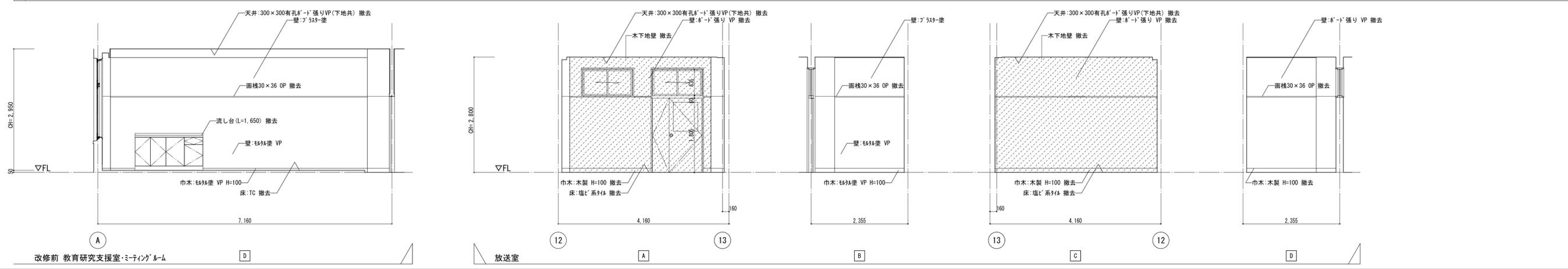
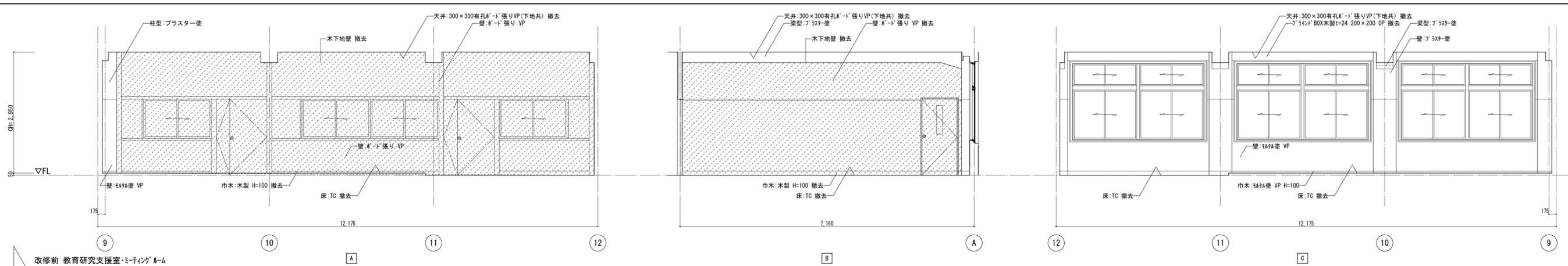
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	平成26年7月	総数	31/109
	仙石高等専門学校									株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 1階展開図 (1)	縮尺	1/50	番号	A-21

※A3版の場合は50%縮尺とする



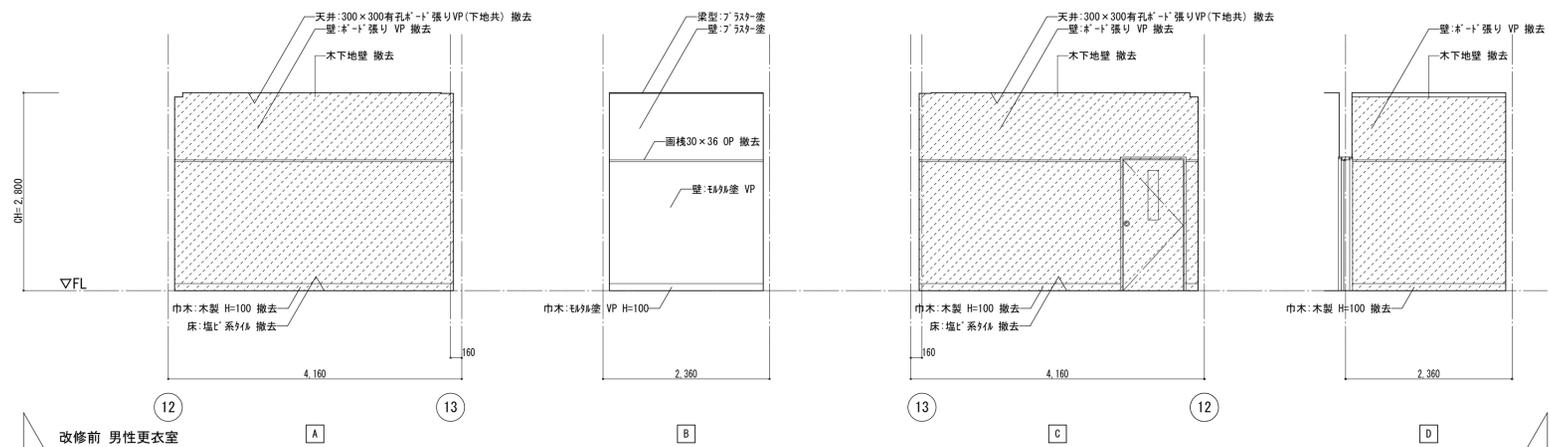
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	32/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 1階展開図(2)	縮尺	番号
														1/50	A-22

※A3版の場合は50%縮尺とする

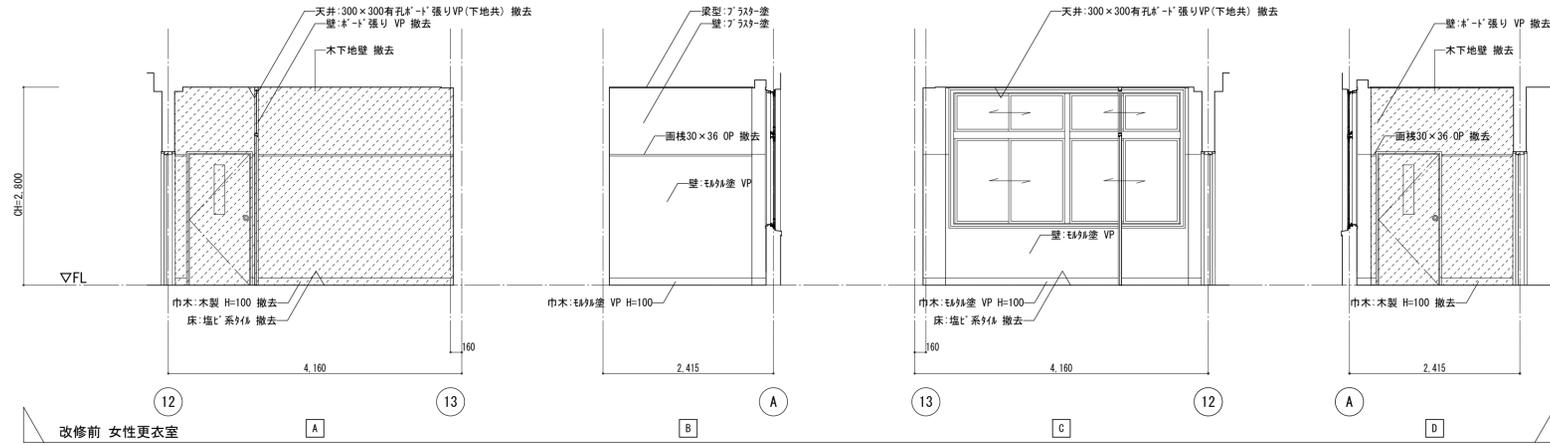


記事	仙石高等学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	平成26年7月	総数	33/109
												株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 1階展開図(3)	縮尺	1/50	番号	A-23

※A3版の場合は50%縮尺とする



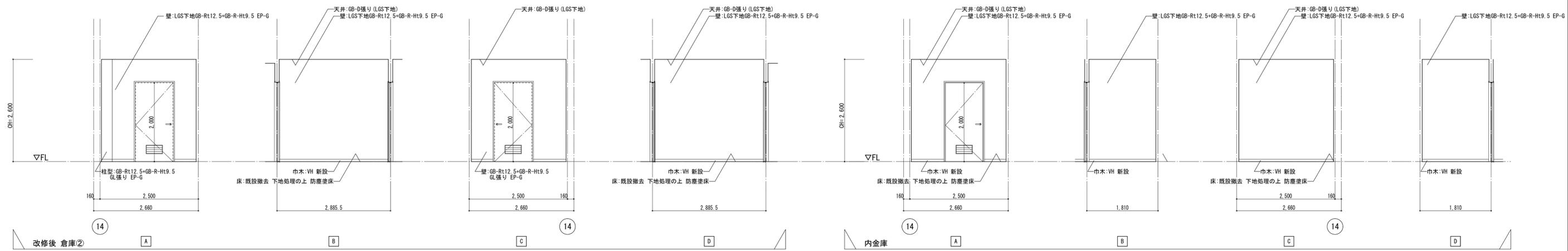
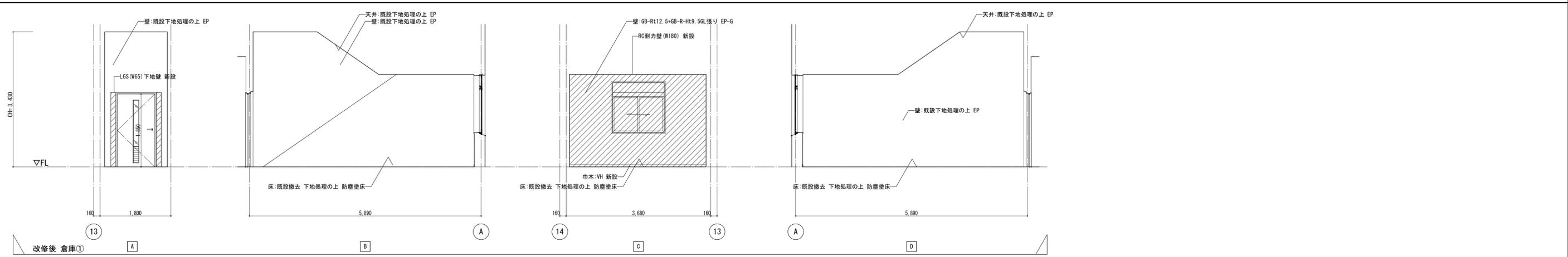
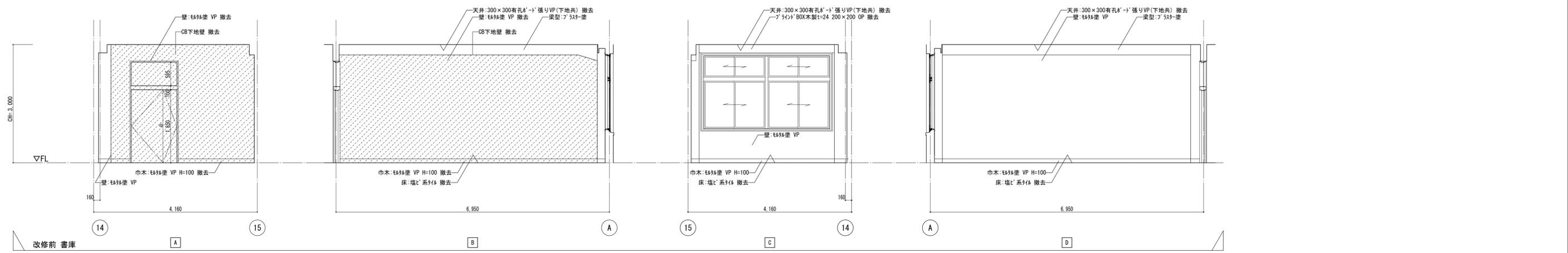
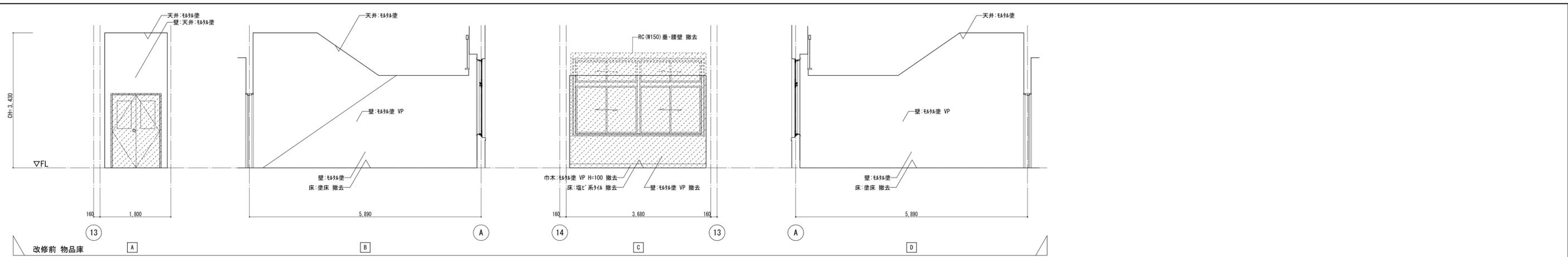
改修前 男性更衣室



改修前 女性更衣室

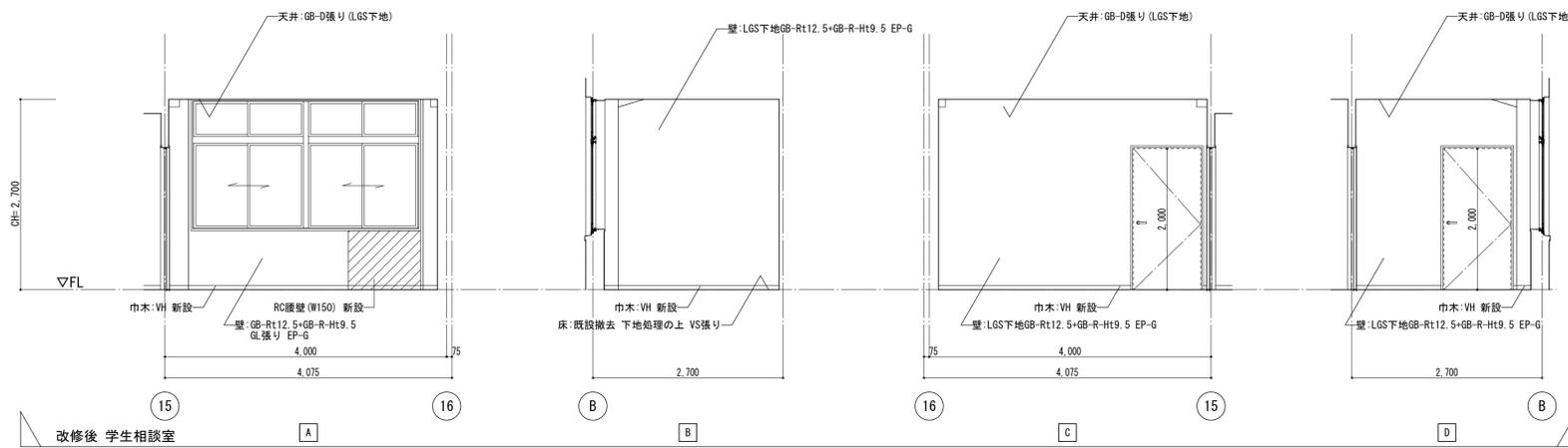
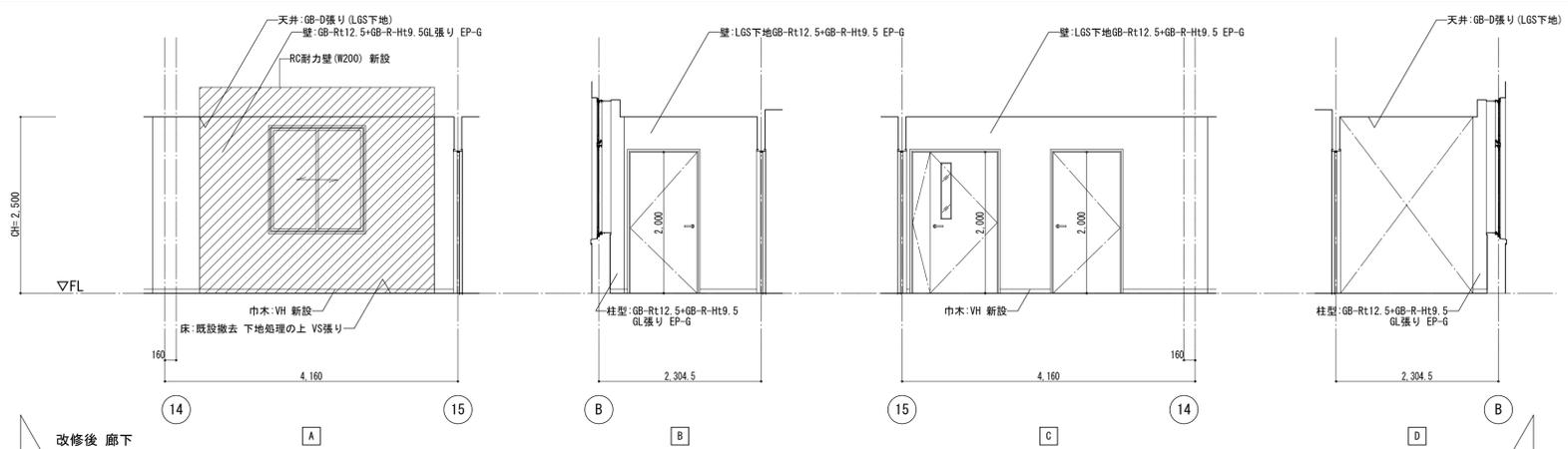
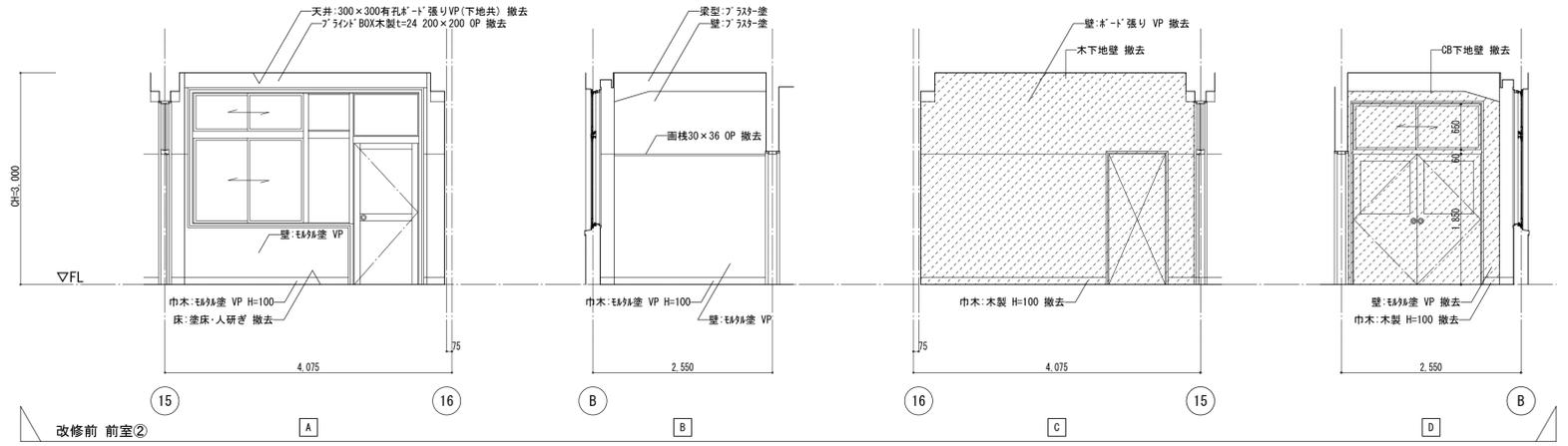
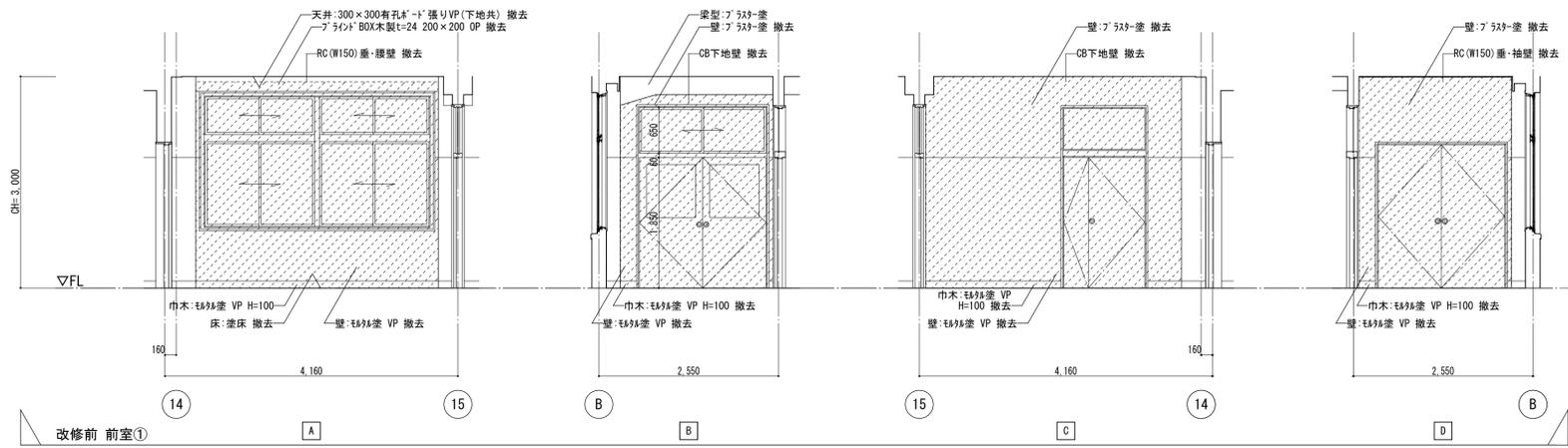
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	校 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	34/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 1階展開図(4)	縮尺	番号
														1/50	A-24

※A3版の場合は50%縮尺とする



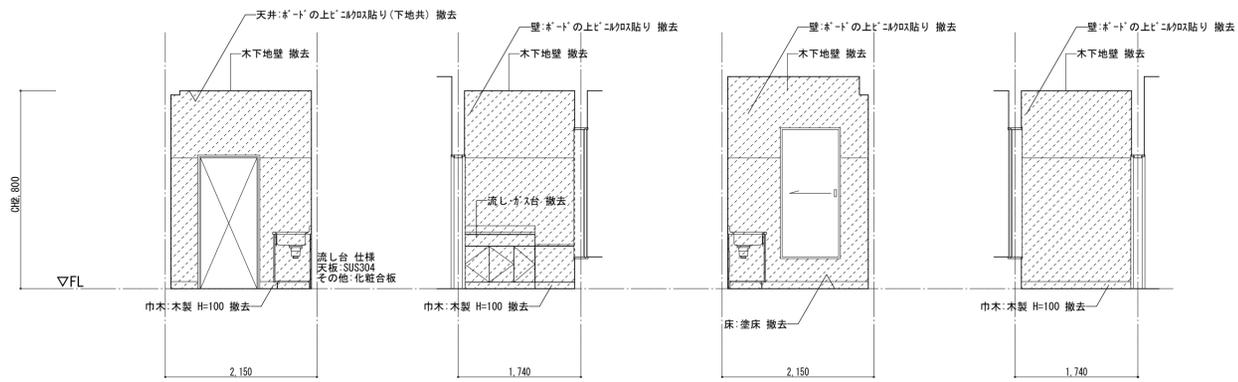
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	35/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 1階展開図 (5)	縮尺	番号
														1/50	A-25

※A3版の場合は50%縮尺とする

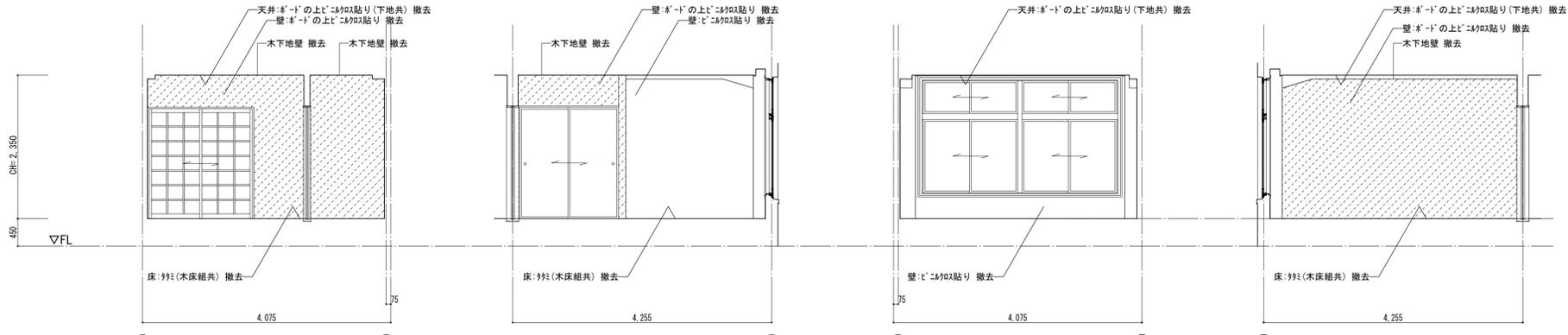


記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	平成26年7月	総数	36/109
	仙臺高等専門学校									株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 1階展開図(6)	縮尺	1/50	番号	A-26

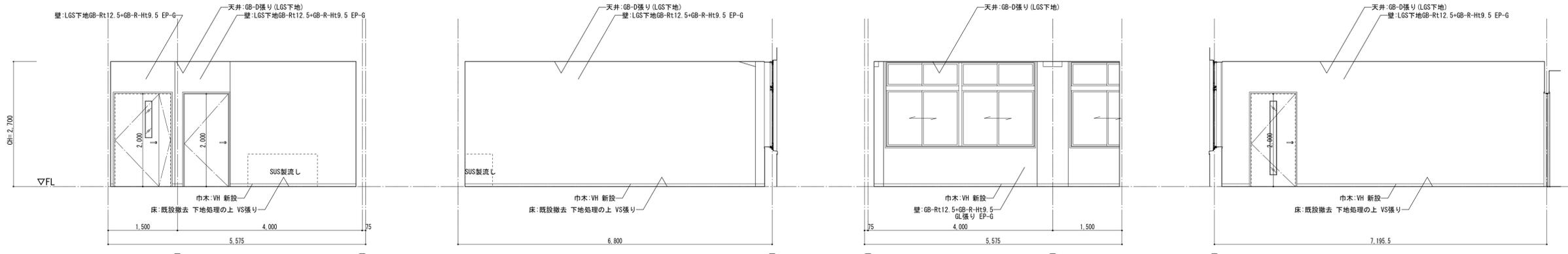
※A3版の場合は50%縮尺とする



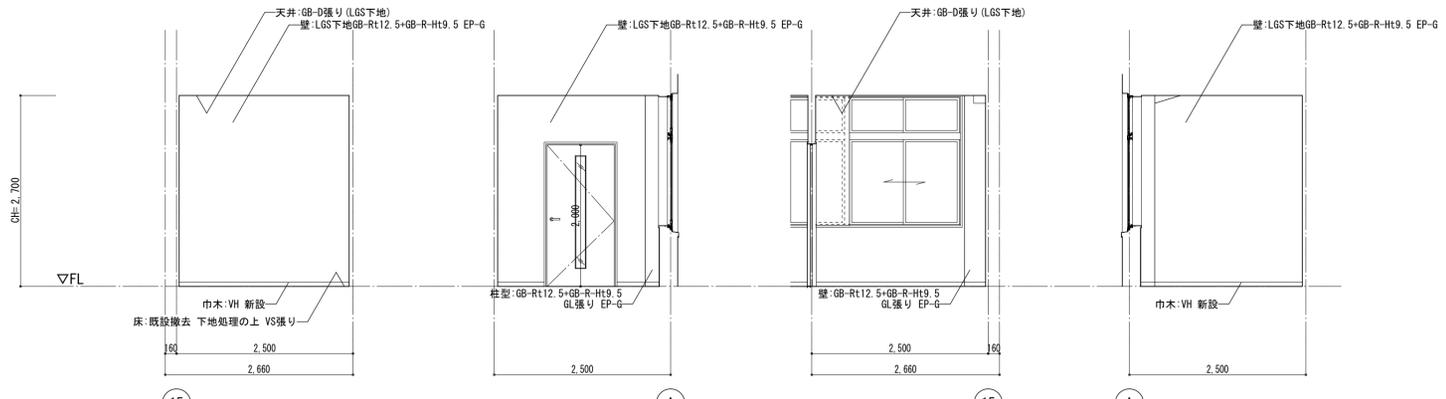
改修前 当直室(前室) A C D



改修前 当直室(和室) A B C D



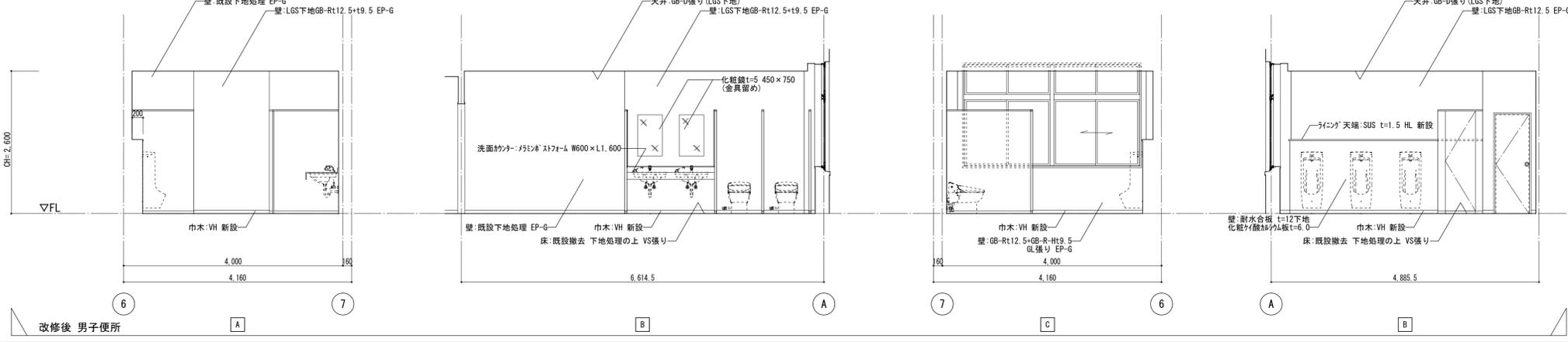
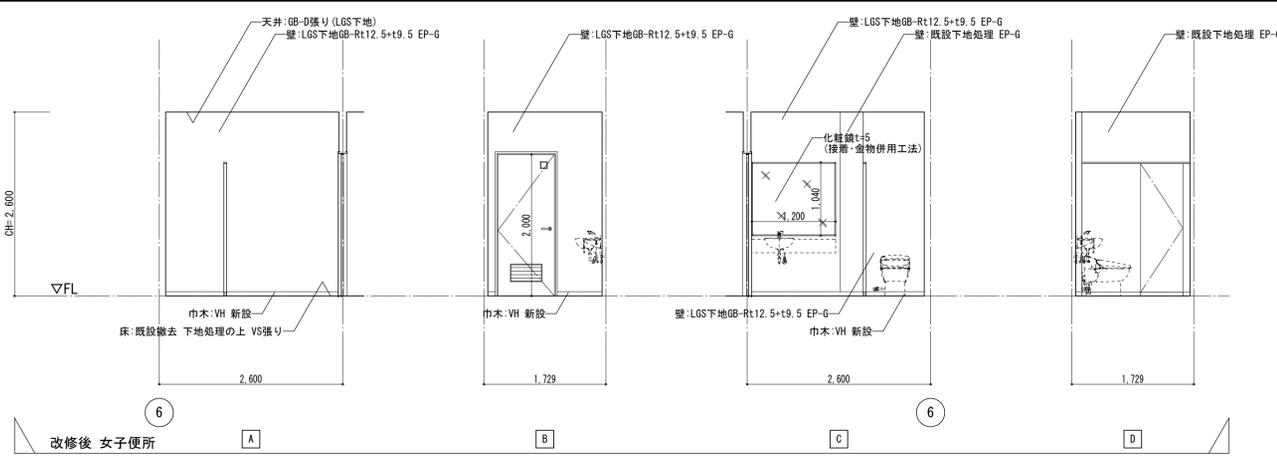
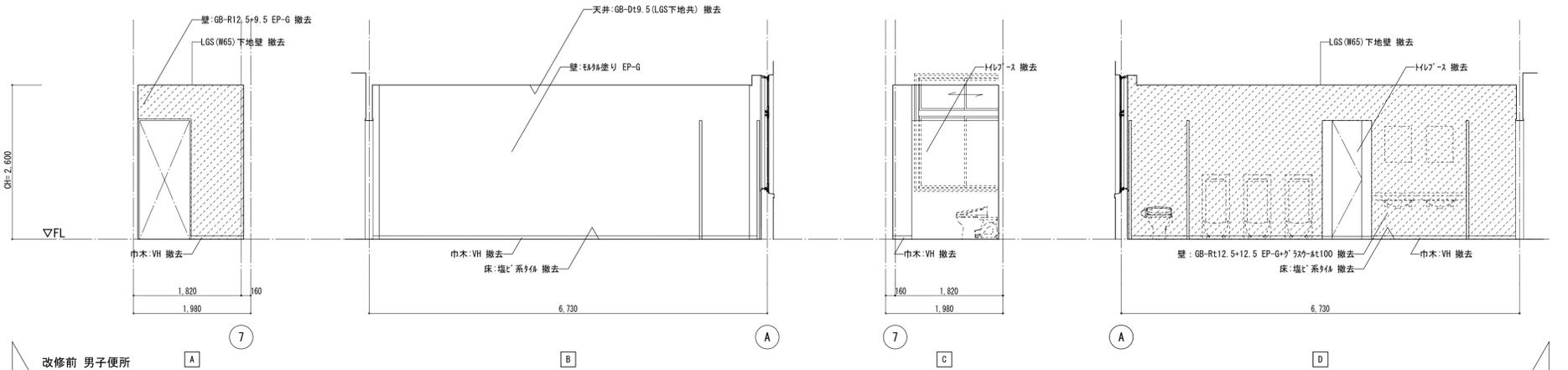
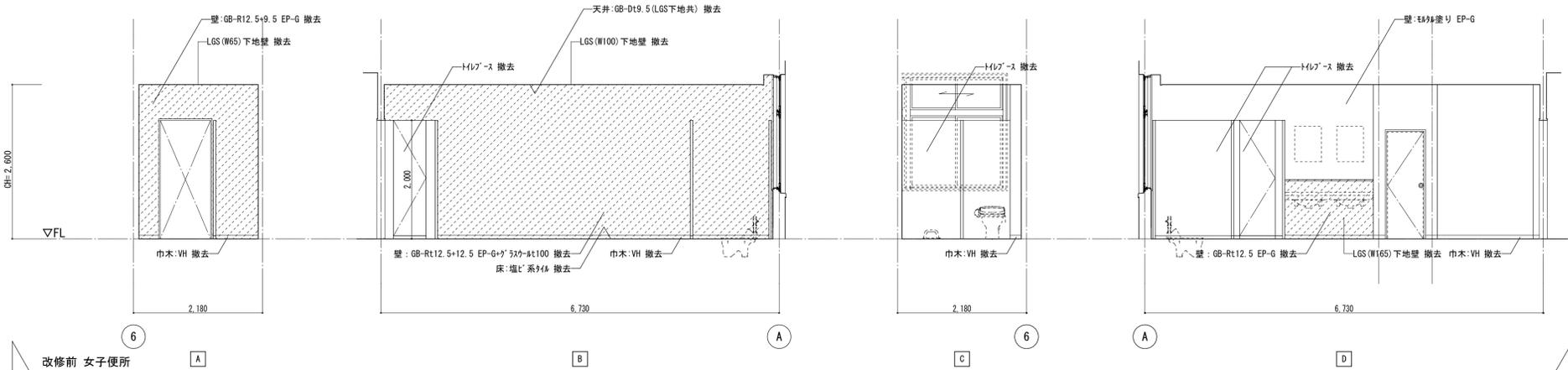
改修後 保健室 A B C D



改修後 個室 A C D

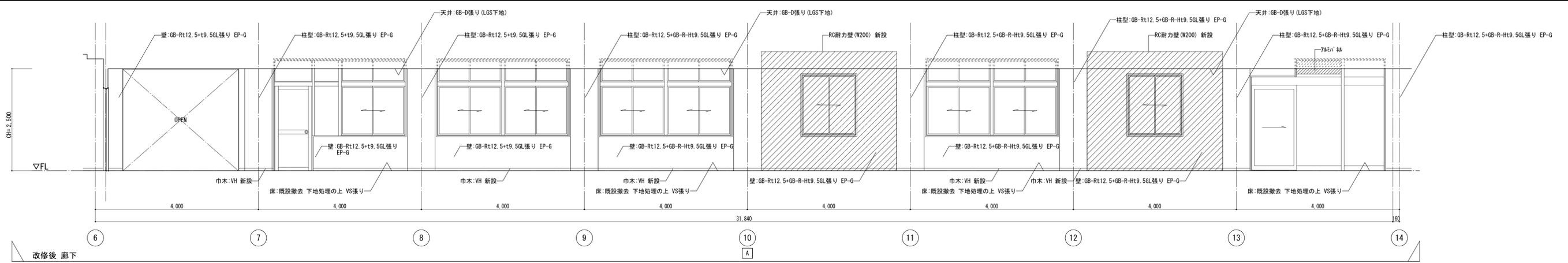
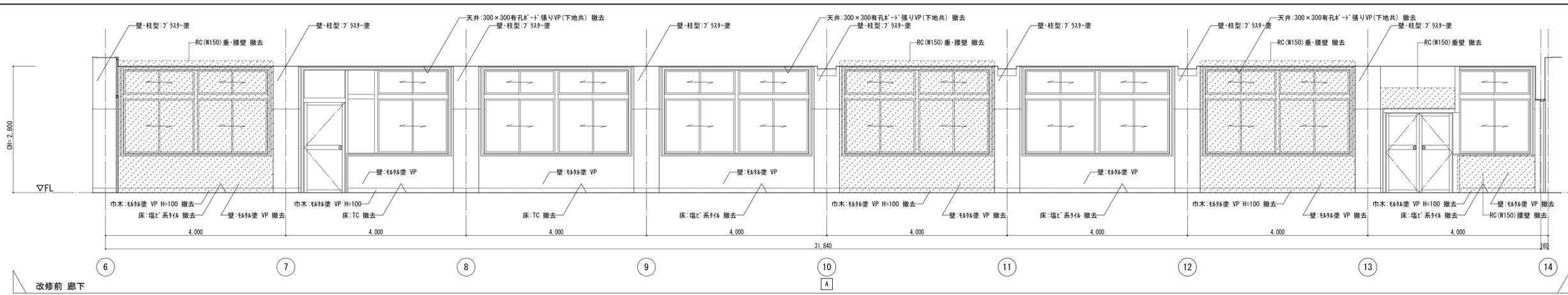
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	37/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 1階展開図(7)	縮尺	番号
														1/50	A-27

※A3版の場合は50%縮尺とする



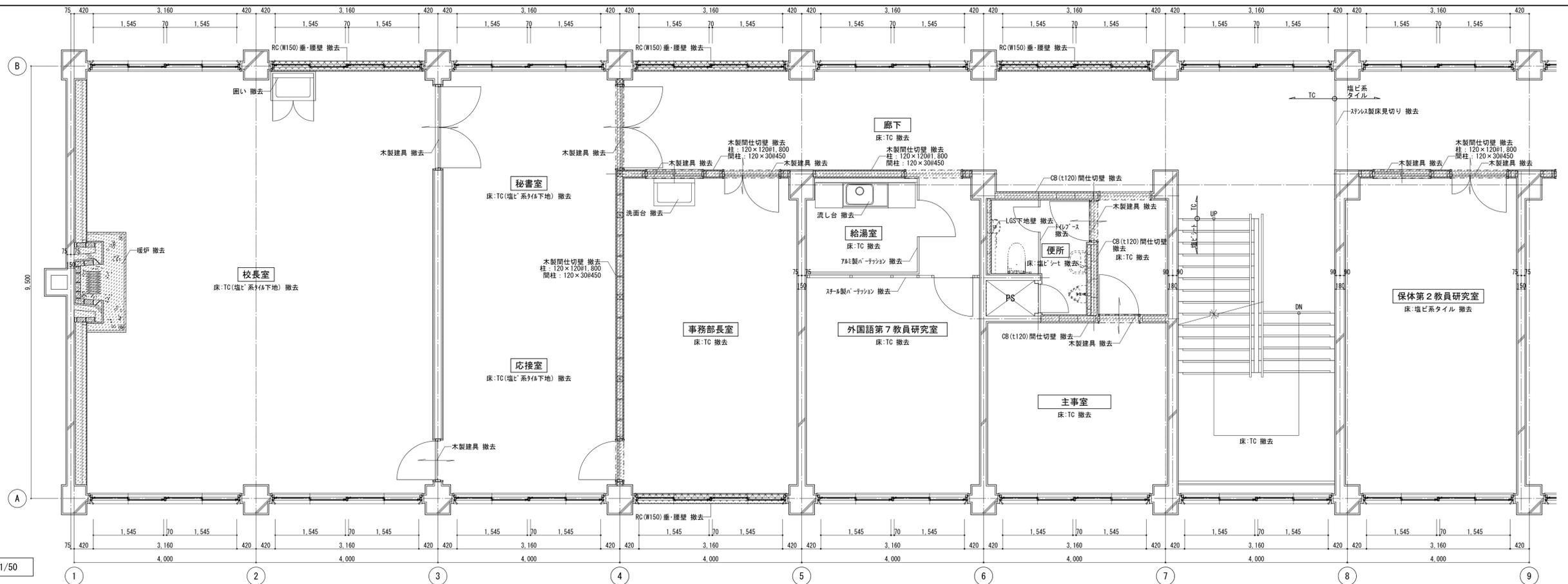
記事	仙臺高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	平成26年7月	総数	38 / 109
												株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 1階展開図 (8)	縮尺	1 / 50	番号	A-28

※A3版の場合は50%縮尺とする

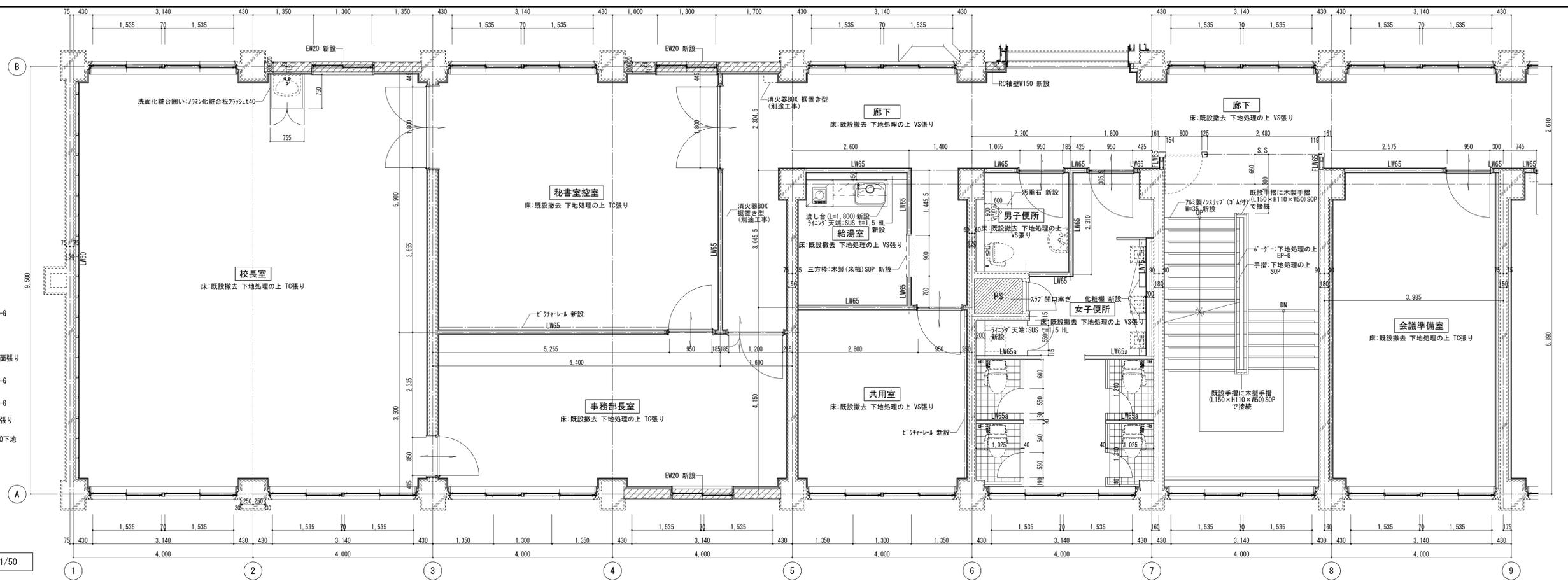


記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	39/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 1階展開図(9)	縮尺	番号
														1/50	A-29

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 2階平面詳細図(1) 1/50

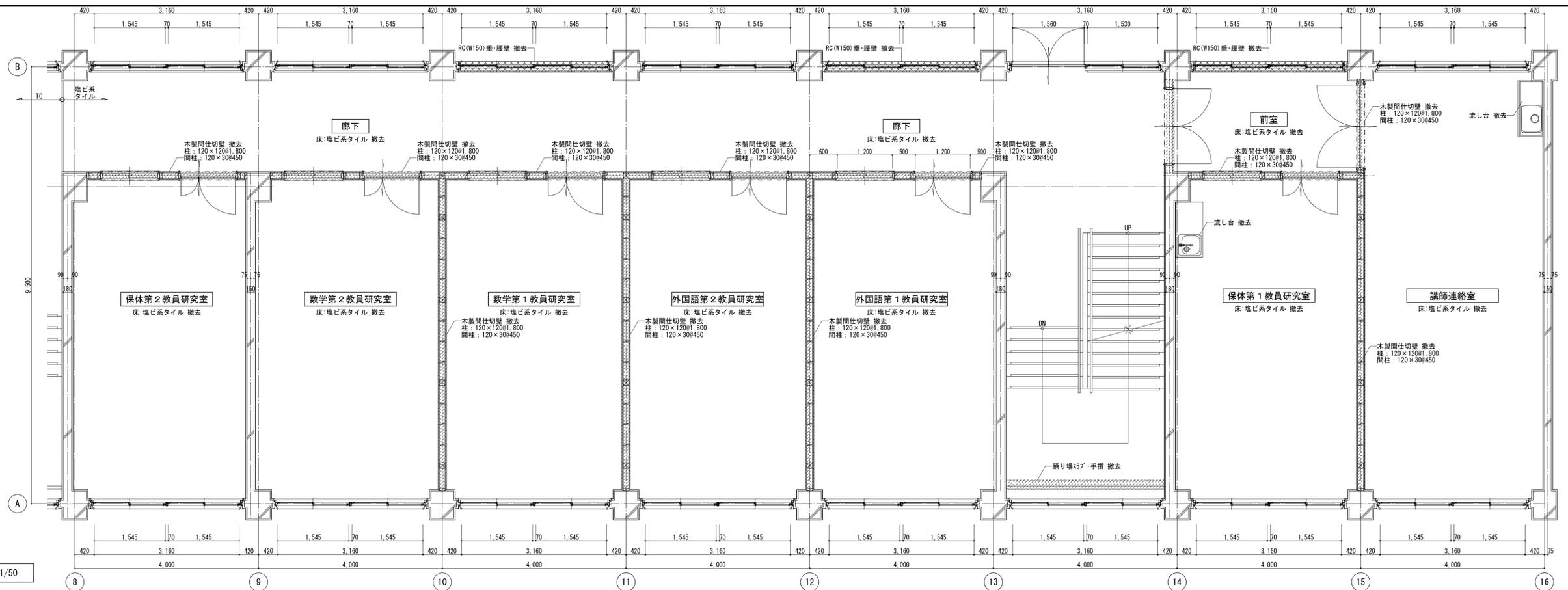


改修後 2階平面詳細図(1) 1/50

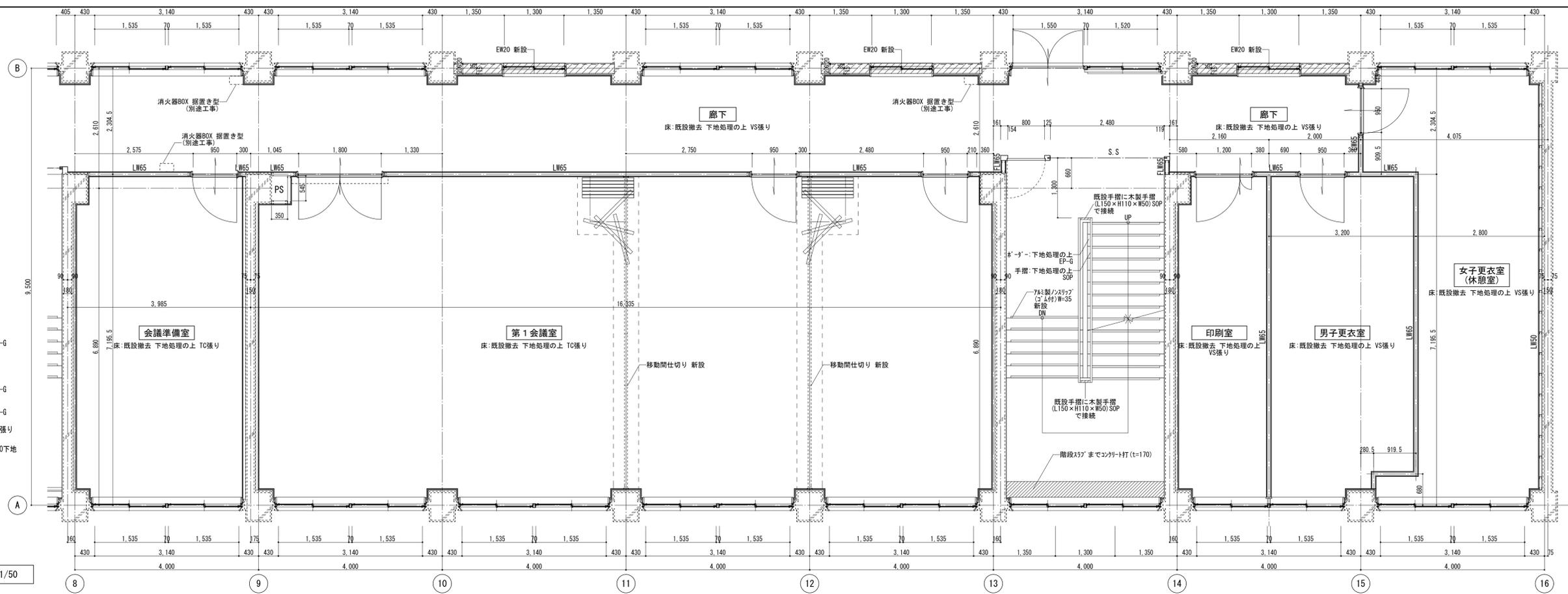
- 凡例
- LW50... 軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す
GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G
 - LW65... 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 - LW65a... 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
GB-Rt12.5両面張り EP-G
 - LW75... 軽量鉄骨(LGS W75)新設壁を示す
耐火合板t12+化粧珪藻土板片面張り
 - TLW65... 遮音耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 - FLW65... 耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
- A-B通り外壁面・柱型: 断熱材吹付t25の上GL張り
1-16通り外壁面: 断熱材吹付t25の上LGS W50下地
- 展開方向

記事	仙石高等学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検図	担当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数	
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	40/109		
															改修前後 2階平面詳細図(1)	縮尺	番号		
															1/50		A-30		

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 2階平面詳細図(2) 1/50

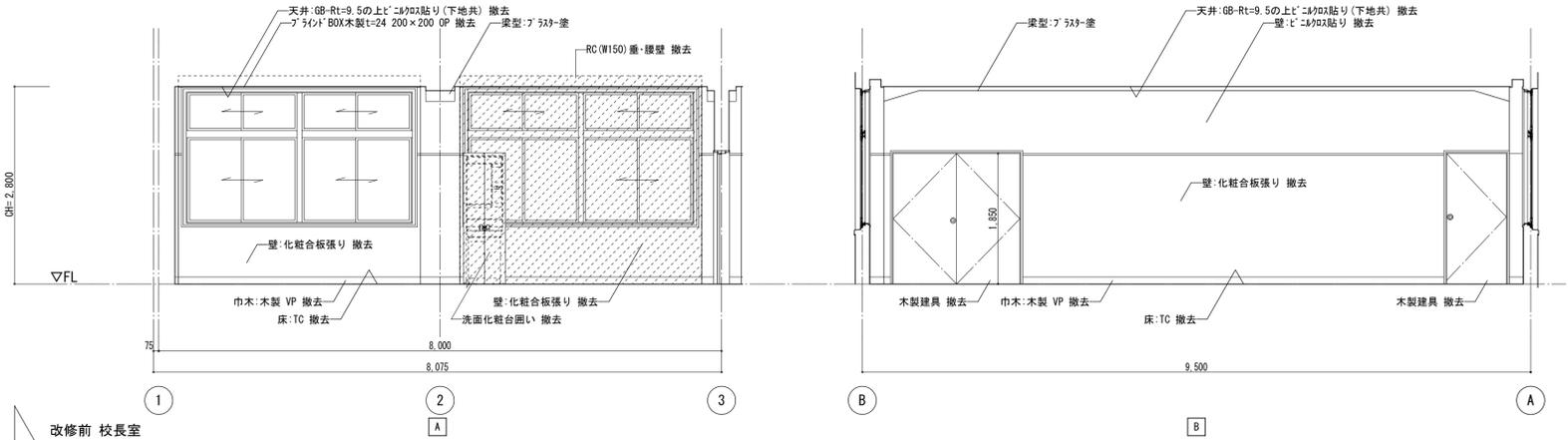


改修後 2階平面詳細図(2) 1/50

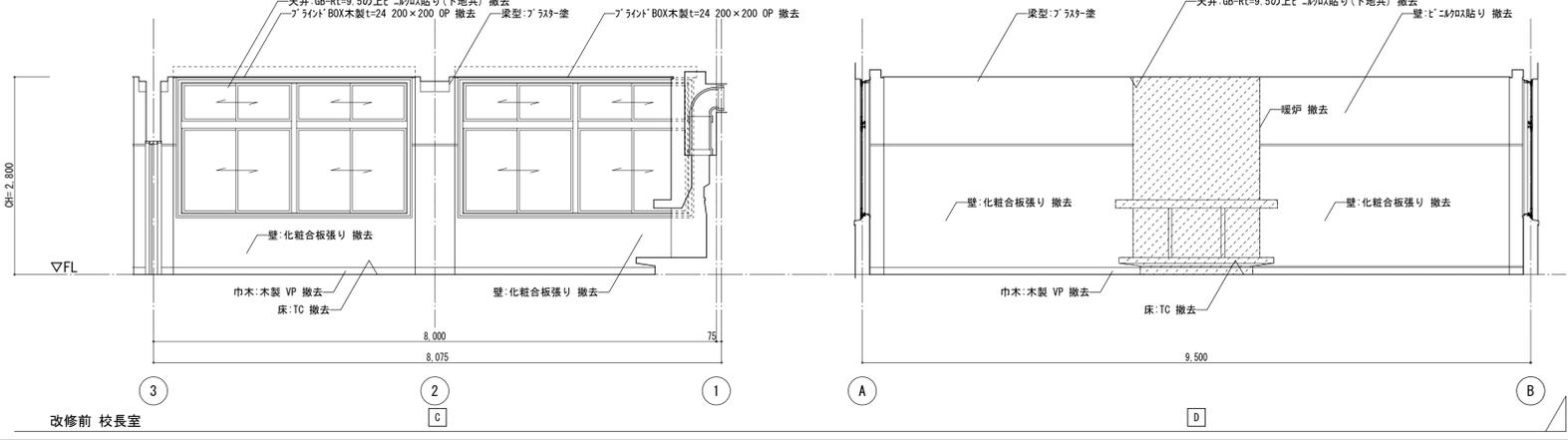
凡例
 LW50…軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す
 GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G
 LW65…軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 LW65a…軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Rt12.5両面張り EP-G
 TLW65…遮音耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 FLW65…耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 A-B通り外壁面・柱型：断熱材吹付t25の上GL張り
 1-16通り外壁面：断熱材吹付t25の上LGS W50下地

記事	仙石高等学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検図	担当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数	
											株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前 2階平面詳細図(2)	縮尺	1/50	番号

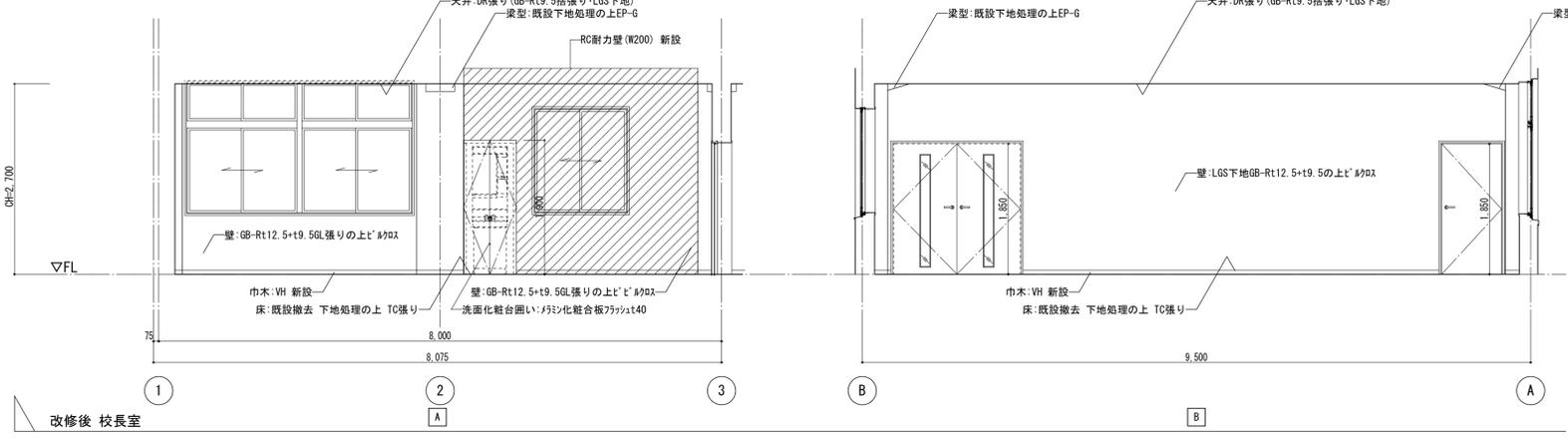
※A3版の場合は50%縮尺とする



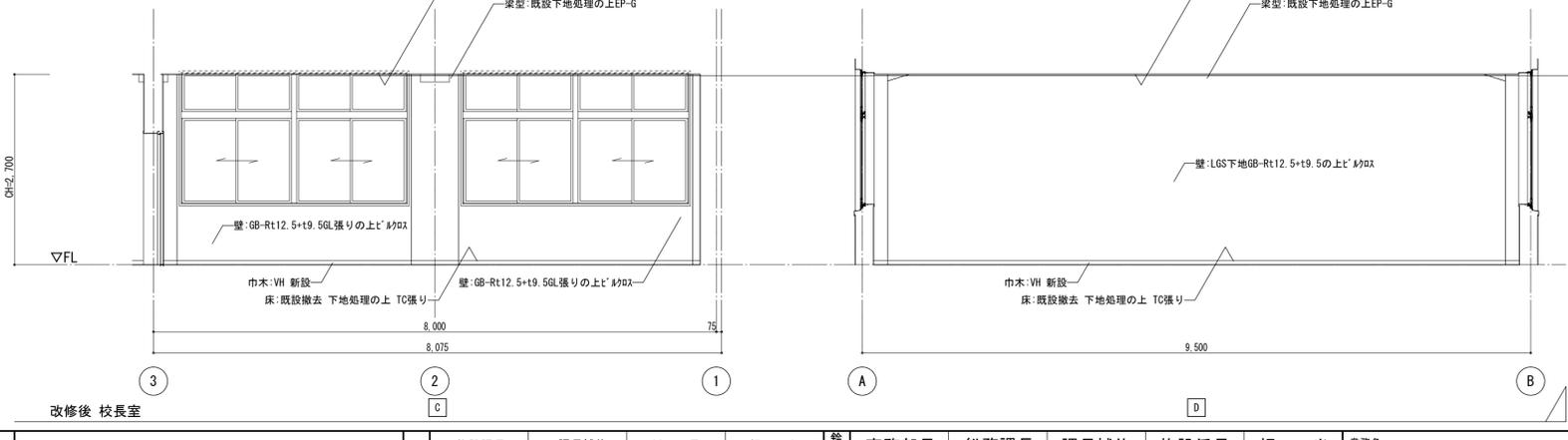
改修前 校長室



改修前 校長室



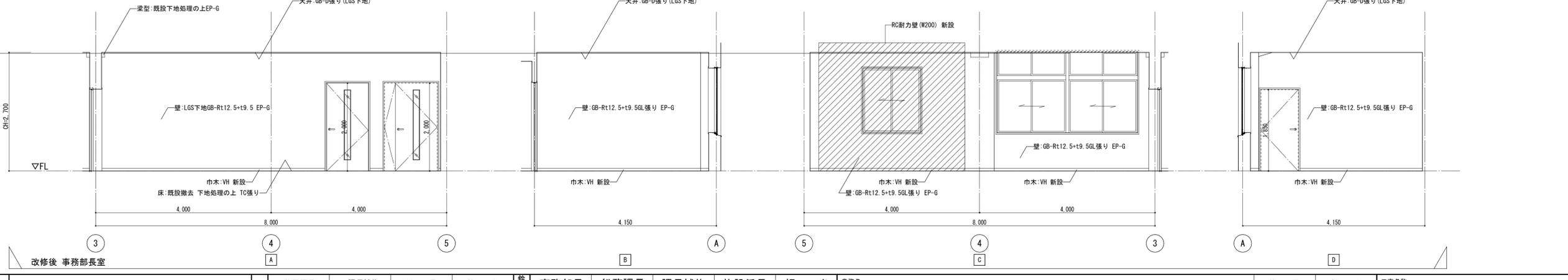
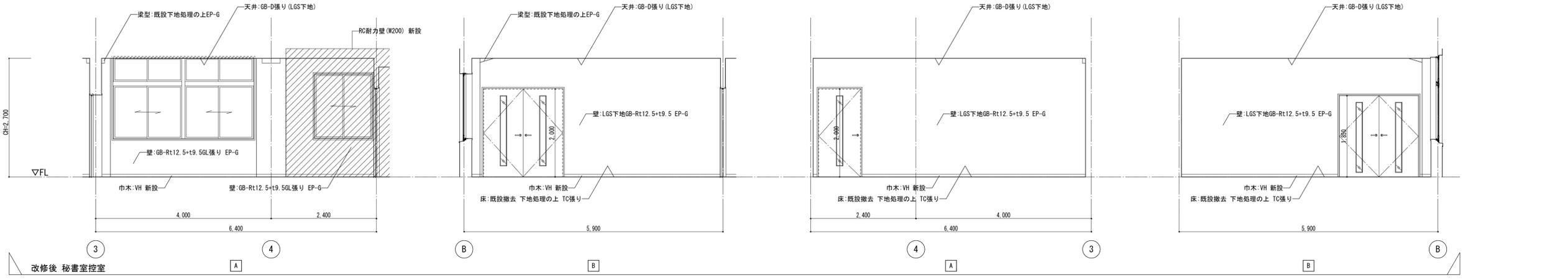
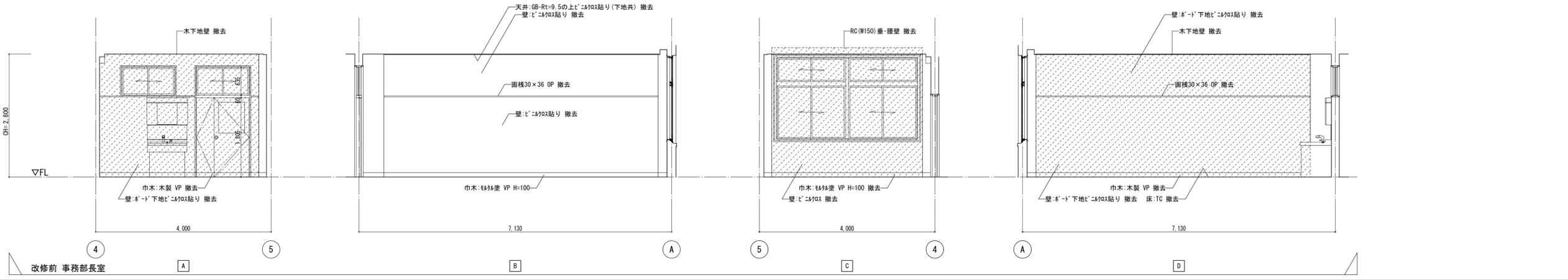
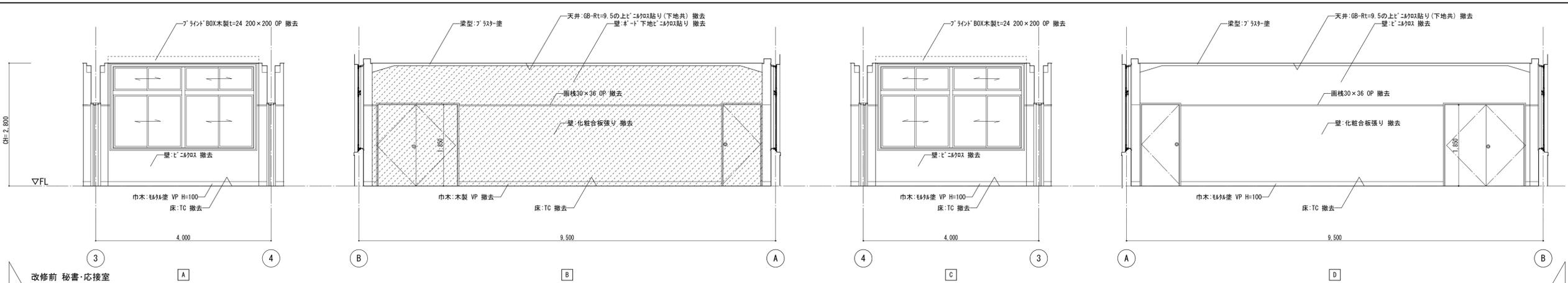
改修後 校長室



改修後 校長室

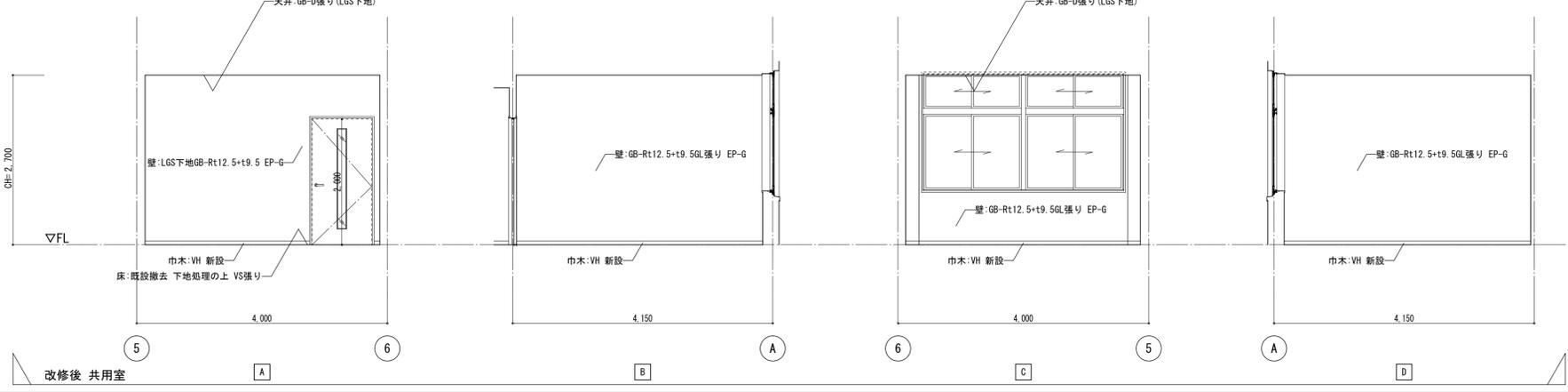
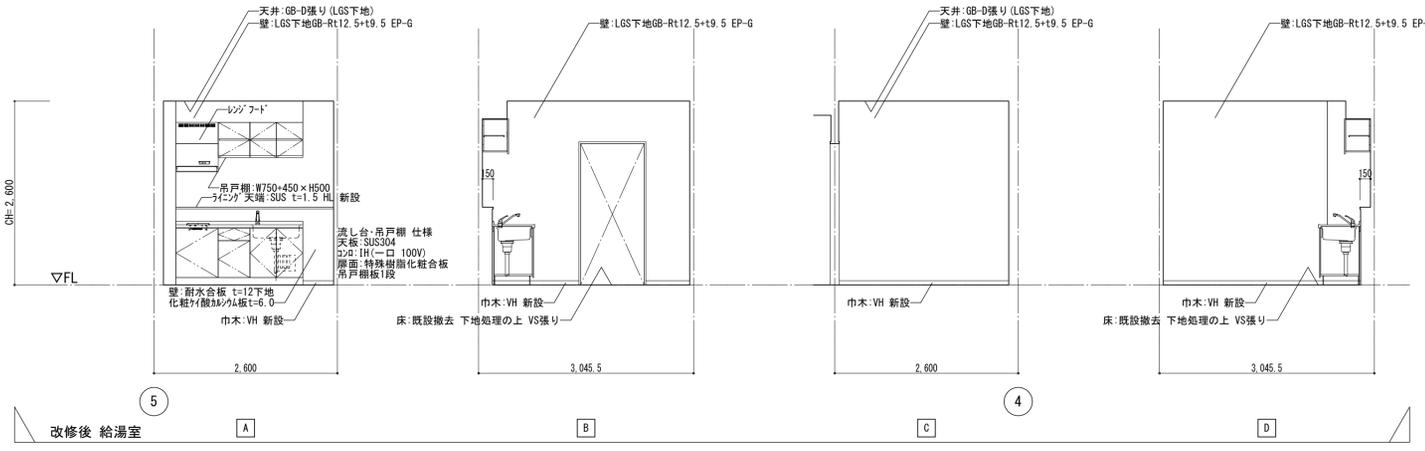
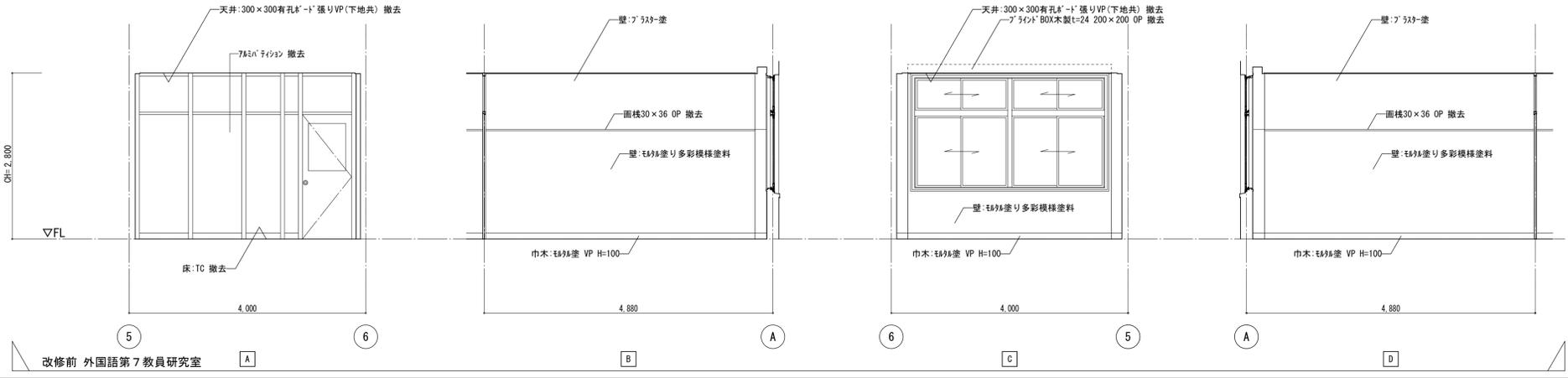
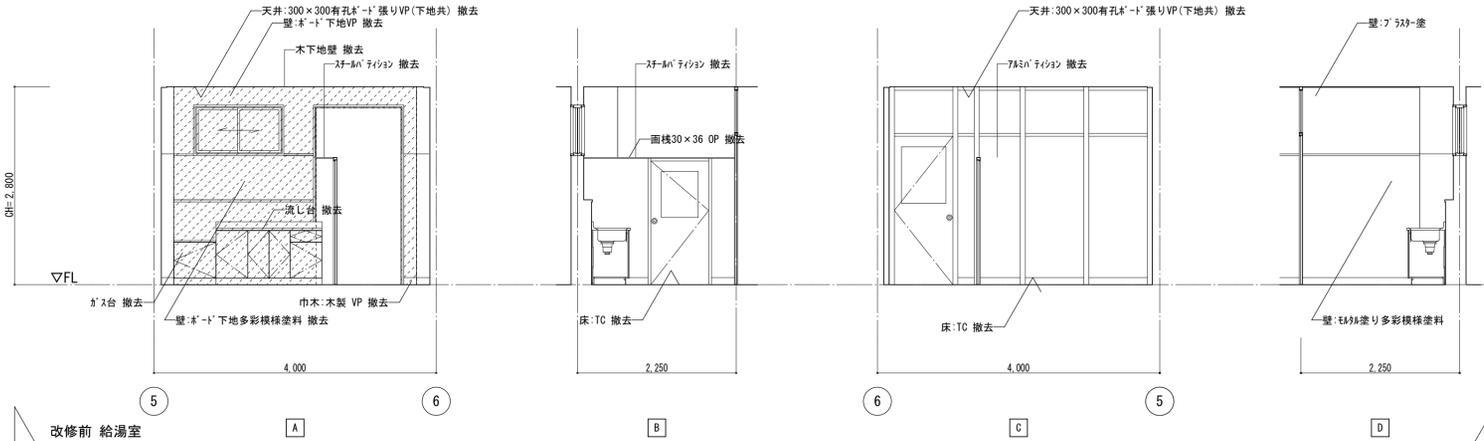
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	校 園	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	42/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 2階展開図(1)	縮尺	番号
														1/50	A-32

※A3版の場合は50%縮尺とする



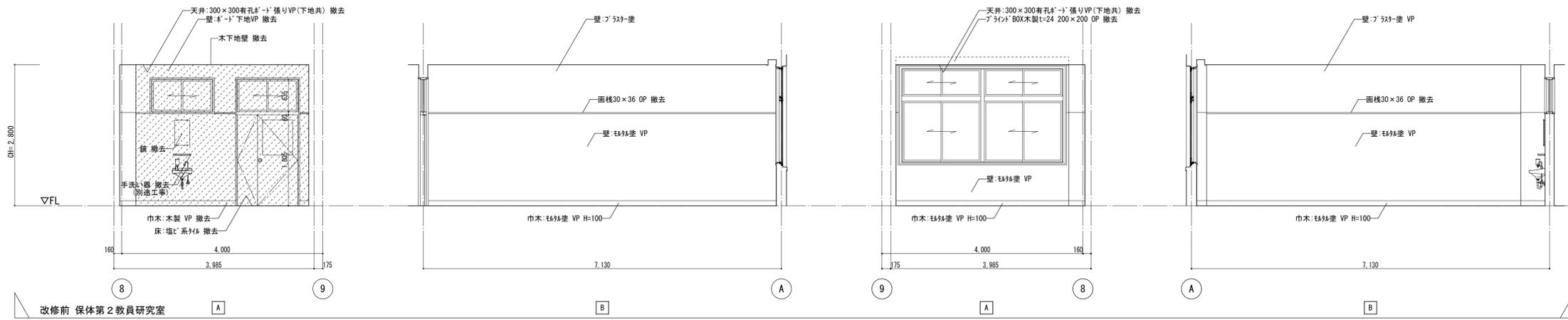
記事	仙臺高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
												鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 2階展開図(2)	縮尺	番号
															1/50	A-33

※A3版の場合は50%縮尺とする

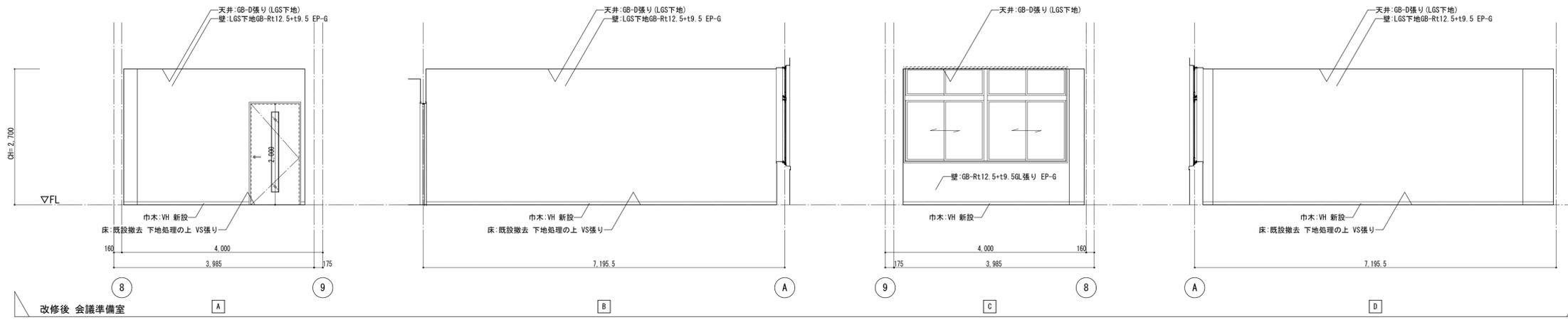


記事	仙臺高等専門学校の	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	日付	総数
	鈴鹿工業高専管理棟										株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	44/109
															改修前後 2階展開図(3)	縮尺	番号
																1/50	A-34

※A3版の場合は50%縮尺とする



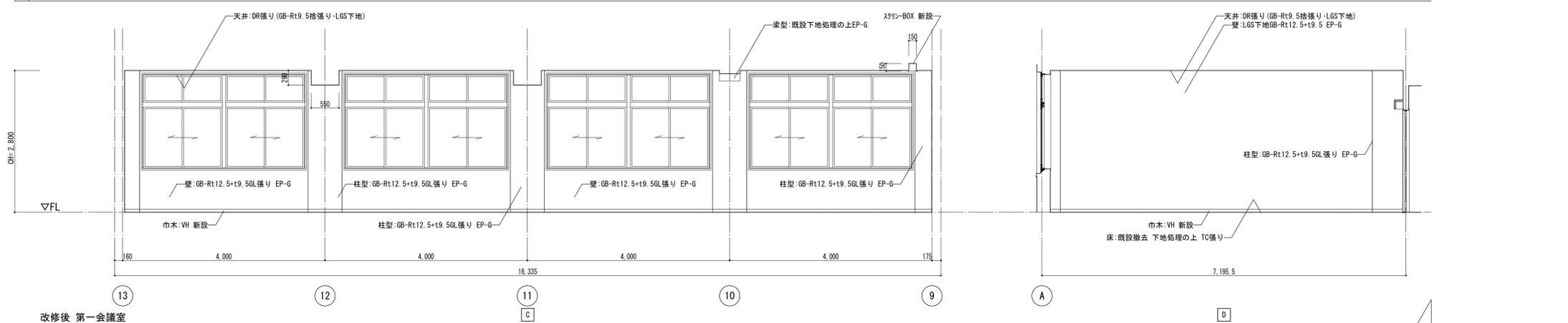
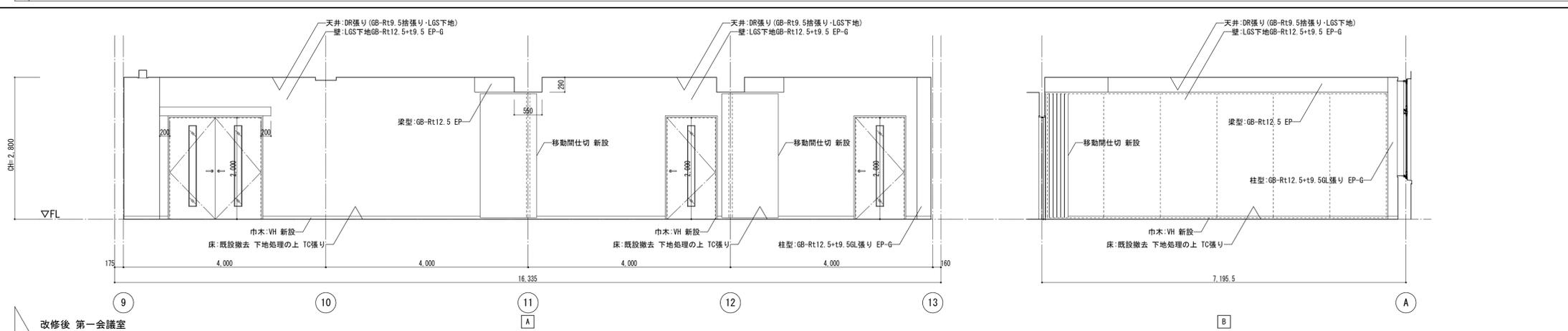
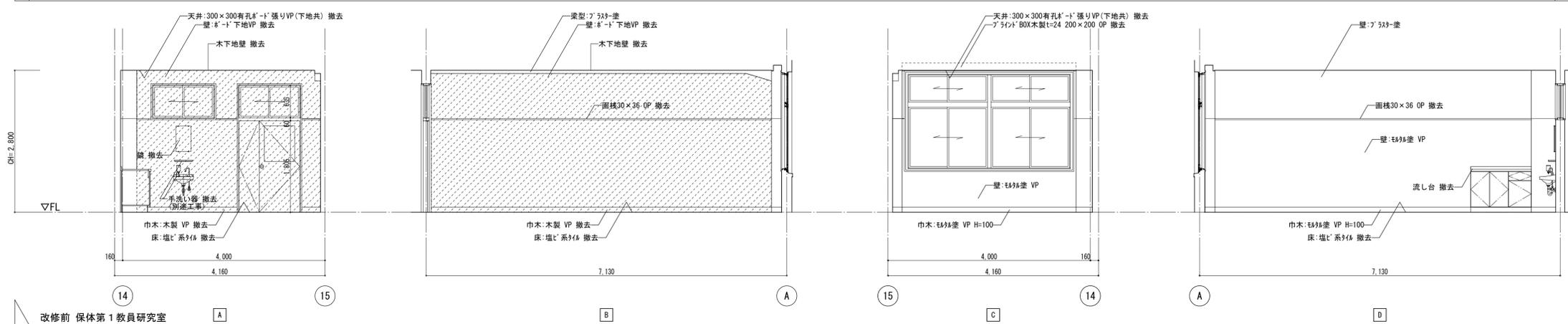
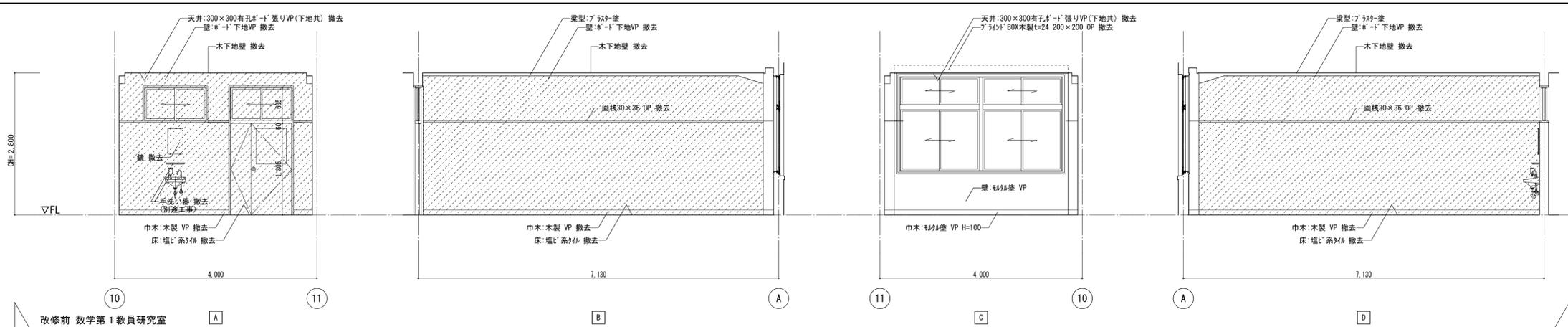
改修前 保体第2教員研究室



改修後 会議準備室

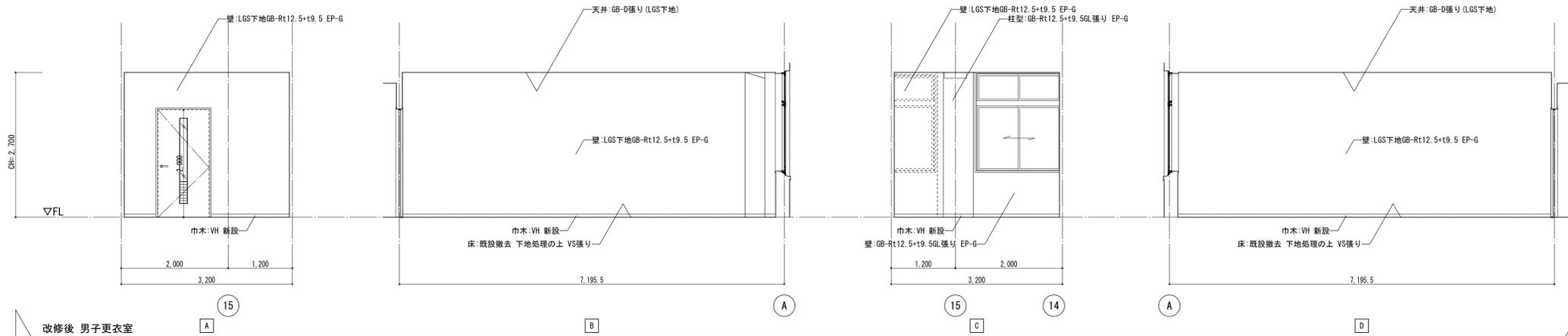
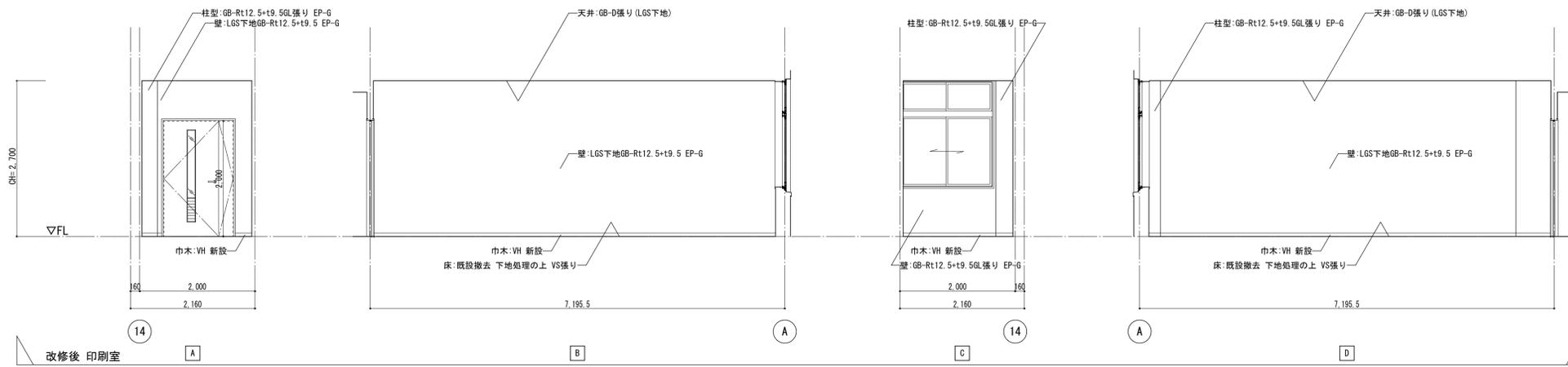
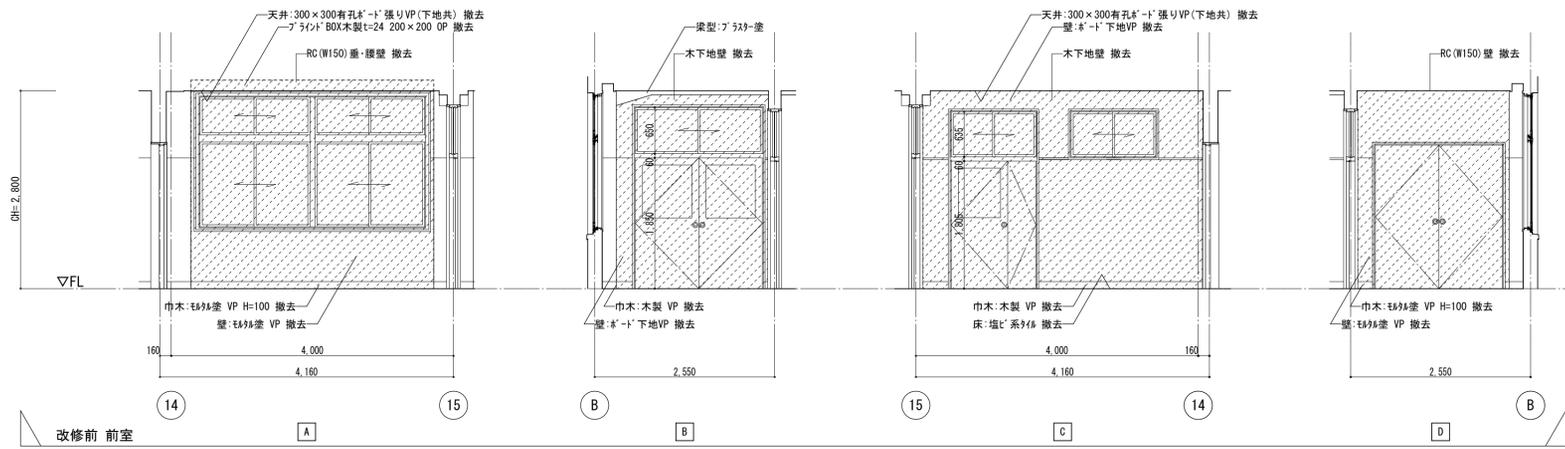
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数	
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 2階展開図(4)	平成26年7月	45/109		
															縮尺	1/50	番号	A-35

※A3版の場合は50%縮尺とする



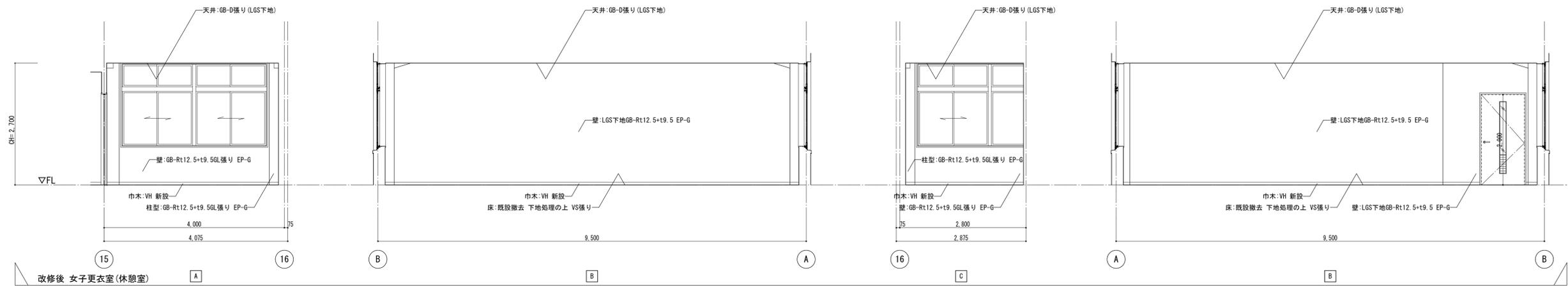
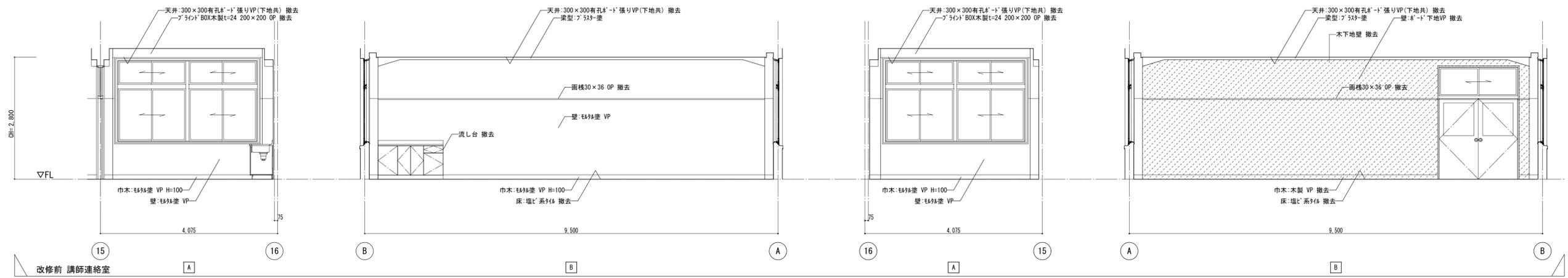
記事	仙臺高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	平成26年7月	総数	46/109
											株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 2階展開図(5)	縮尺	1/50	番号	A-36

※A3版の場合は50%縮尺とする



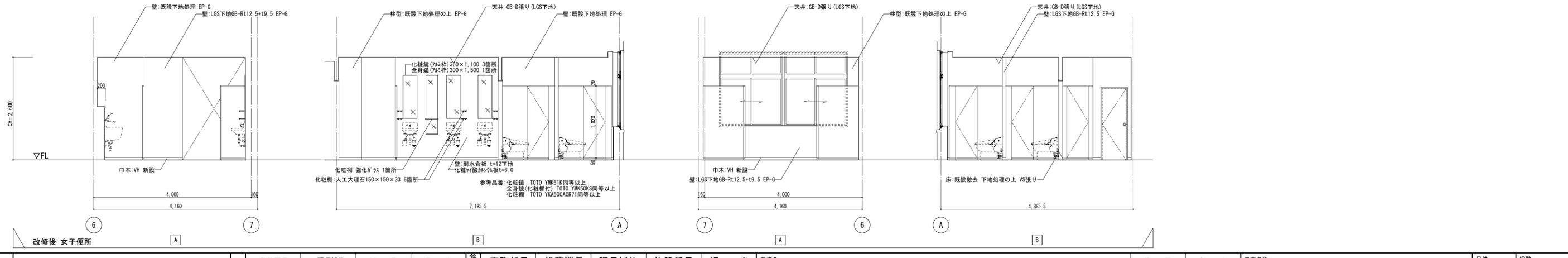
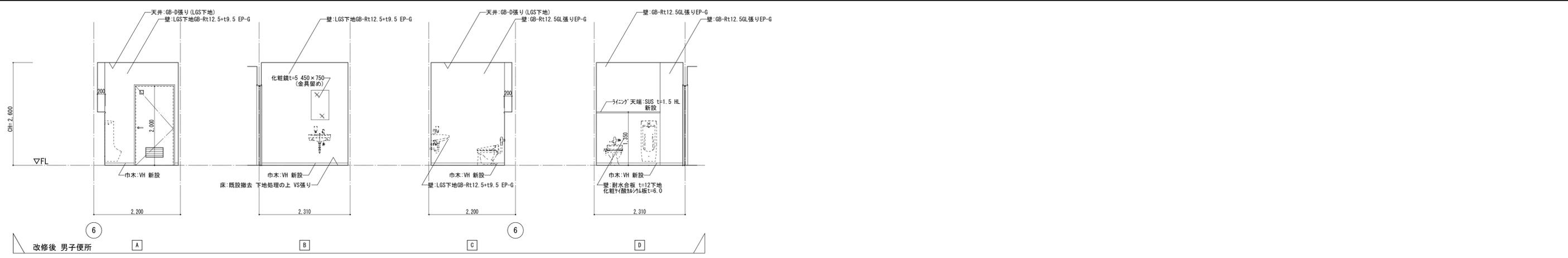
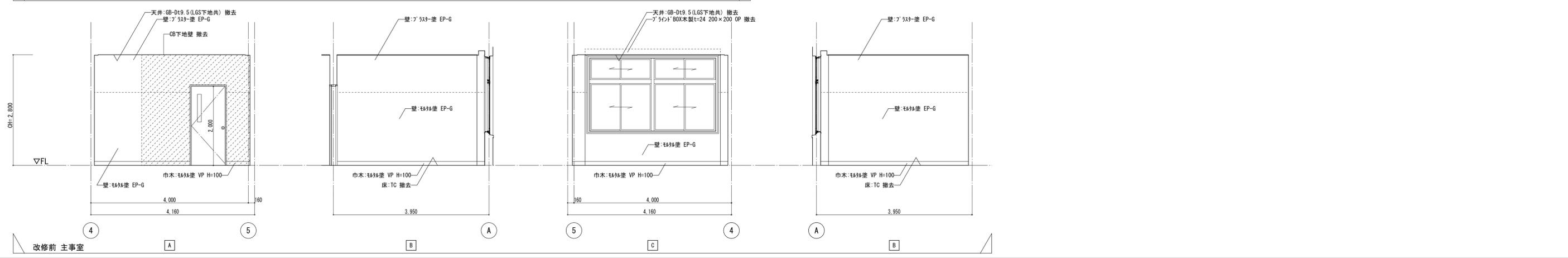
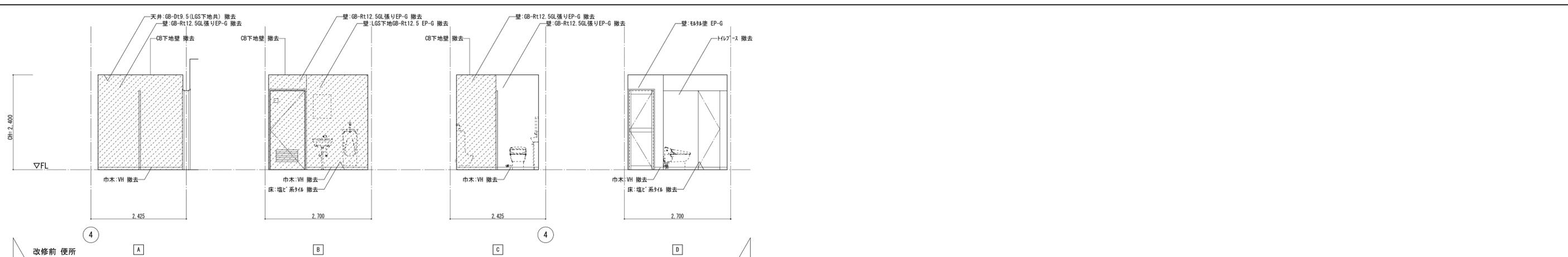
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	47/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 2階展開図(6)	縮尺	番号
														1/50	A-37

※A3版の場合は50%縮尺とする



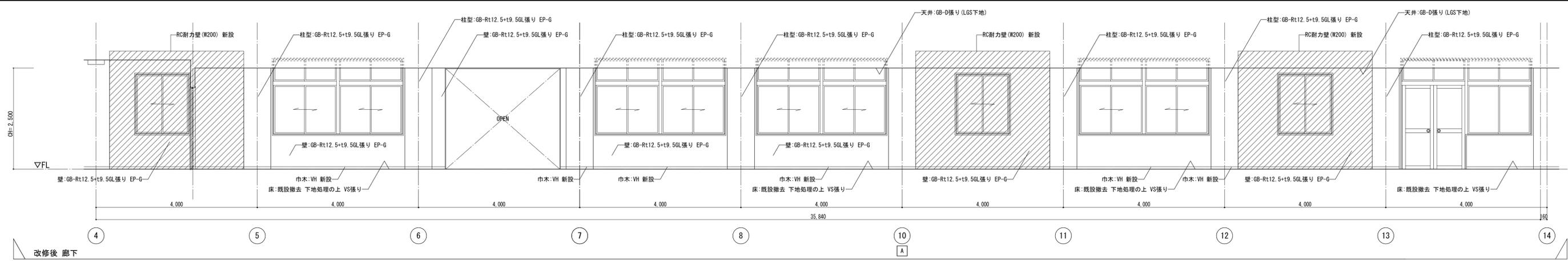
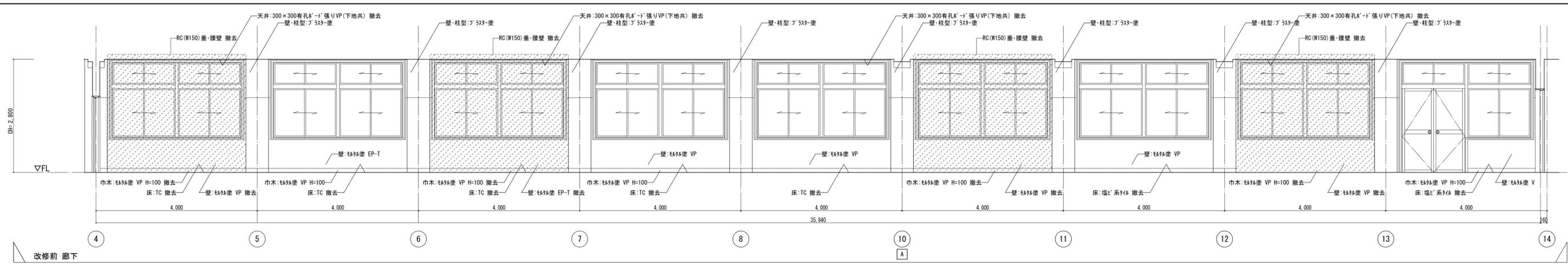
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 2階展開図(7)	平成26年7月	48/109
																縮尺	番号
																1/50	A-38

※A3版の場合は50%縮尺とする



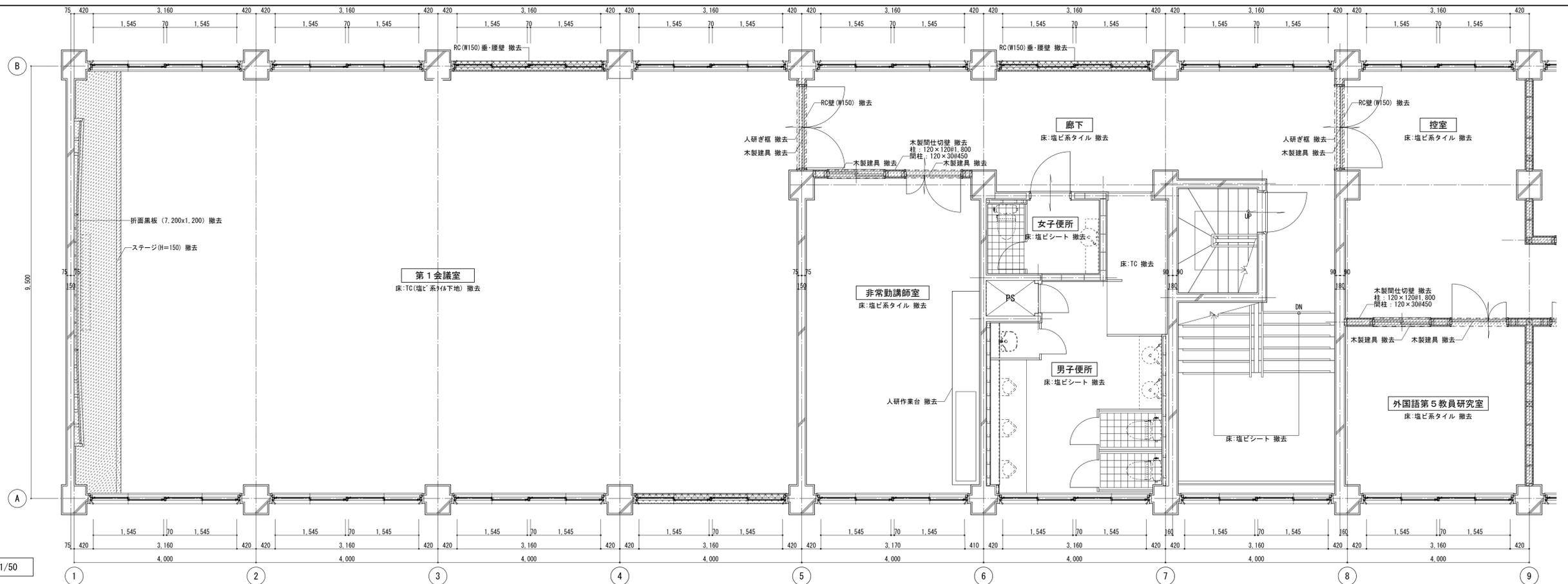
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
	仙石高専 管理棟 改修 工事									株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行				改修前後 2階展開図 (8)	平成26年7月	49 / 109	
															縮尺	番号	
															1 / 50	A-39	

※A3版の場合は50%縮尺とする

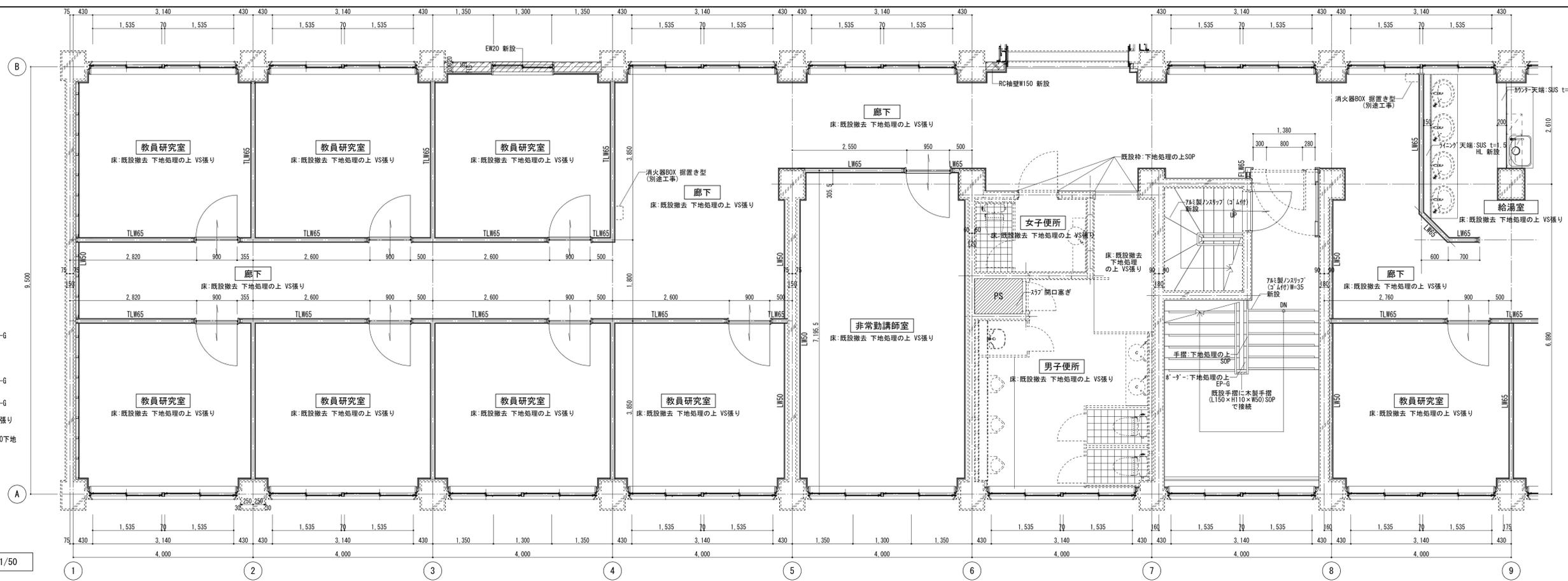


記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	50/109
	株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行												改修前後 2階展開図(9)	縮尺	番号
													1/50	A-40	

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 3階平面詳細図(1) 1/50

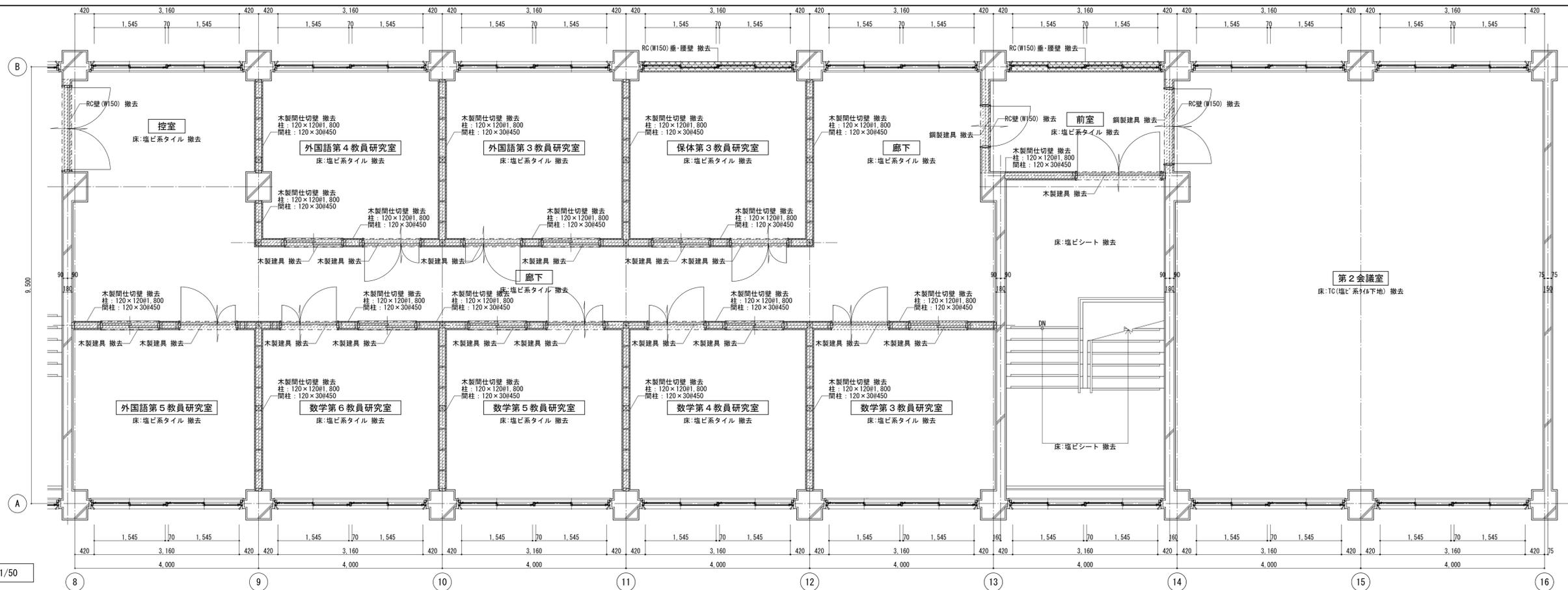


改修後 3階平面詳細図(1) 1/50

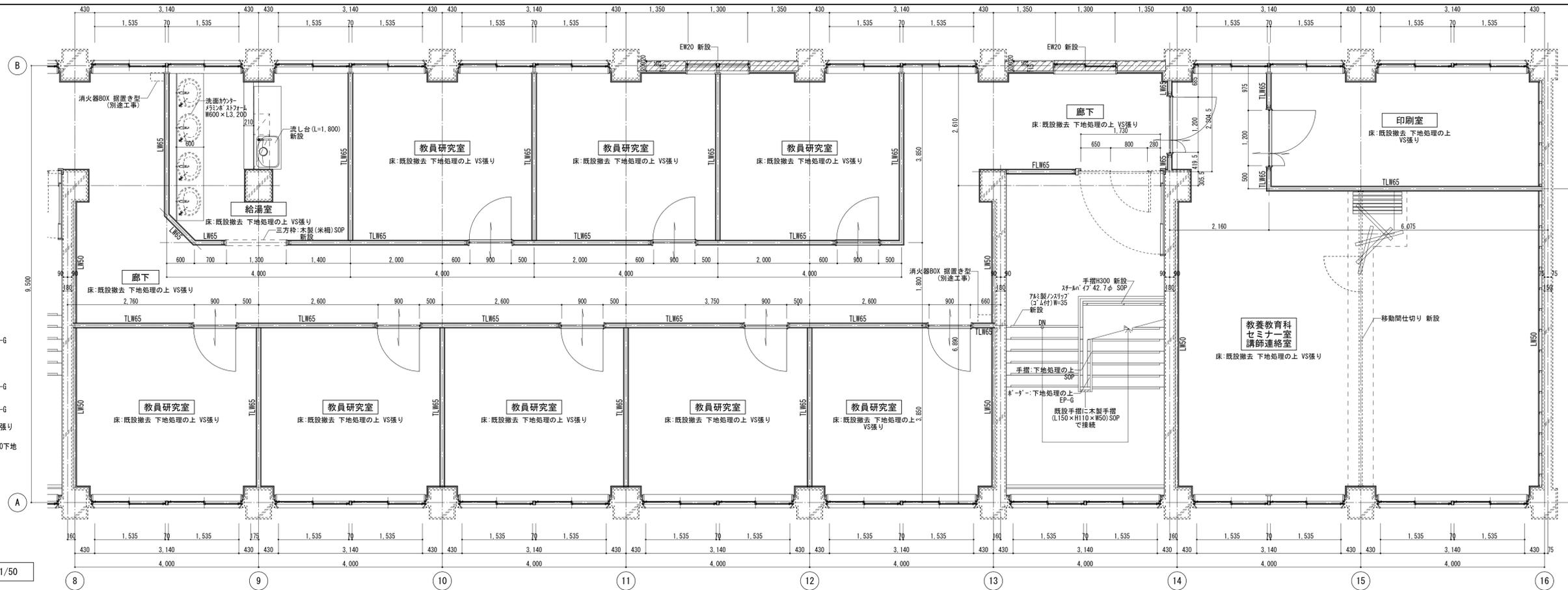
凡例
 LW50… 軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す
 GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G
 LW65… 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 LW65a… 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Rt12.5両面張り EP-G
 TLW65… 遮音耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 FLW65… 耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 A-B通り外壁面・柱型：断熱材吹付t25の上GL張り
 1-16通り外壁面：断熱材吹付t25の上LGS W50下地

記 事	仙臺高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	51/109	
															図面名称	改修前後 3階平面詳細図(1)	縮尺	番号
																1/50		A-41

※A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 3階平面詳細図(2) 1/50



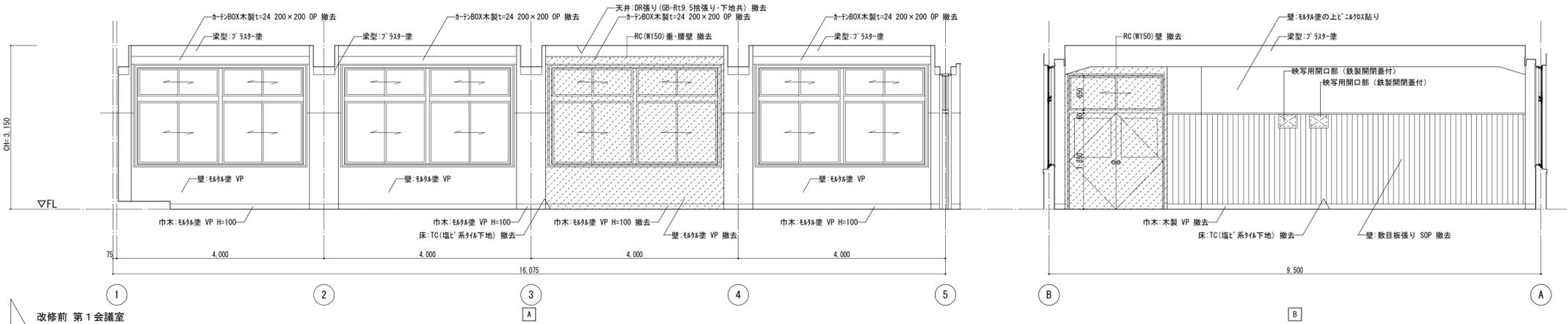
改修後 3階平面詳細図(2) 1/50

凡例
 LW50… 軽量鉄骨(LGS W50)新設壁を示す
 GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP-G
 LW65… 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 LW65a… 軽量鉄骨(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Rt12.5両面張り EP-G
 TLW65… 遮音耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 FLW65… 耐火壁(LGS W65)新設壁を示す
 GB-Ft12.5+GB-R-Ht9.5両面張り EP-G
 A・B通り外壁面・柱型：断熱材吹付t25の上LGS張り
 1-16通り外壁面：断熱材吹付t25の上LGS W50下地

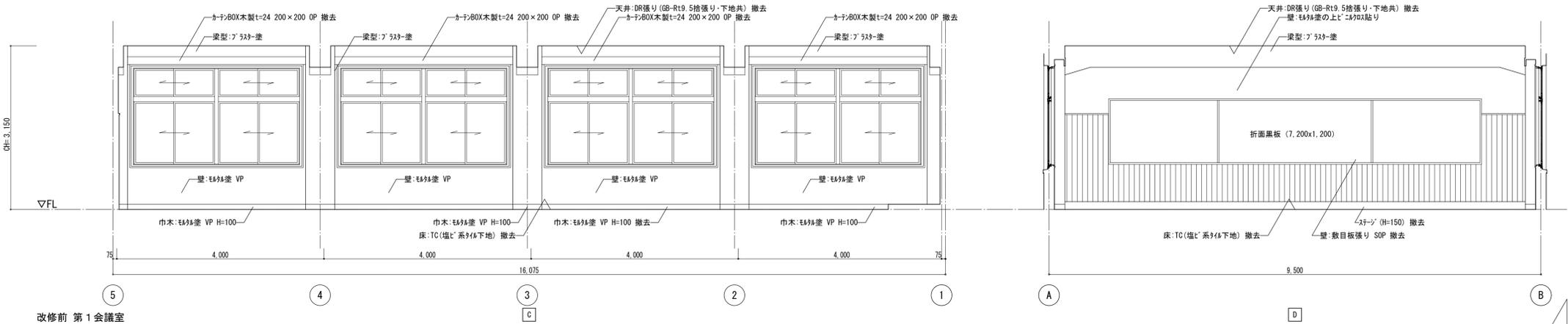
展開方向

記事	仙臺高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行				鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	52/109	
															図面名称	改修前後 3階平面詳細図(2)	縮尺	番号
																1/50		A-42

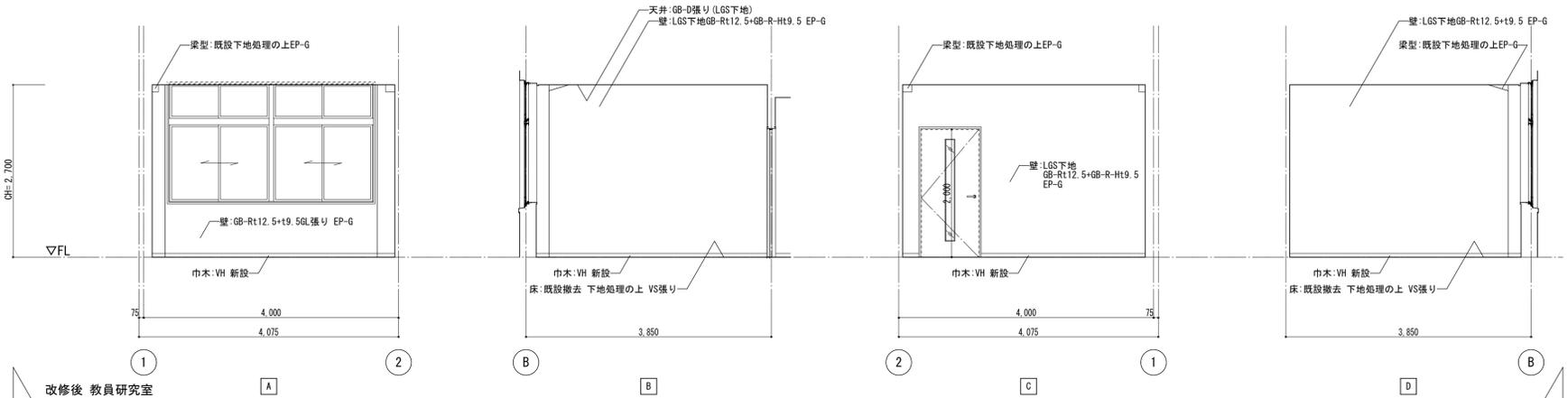
※A3版の場合は50%縮尺とする



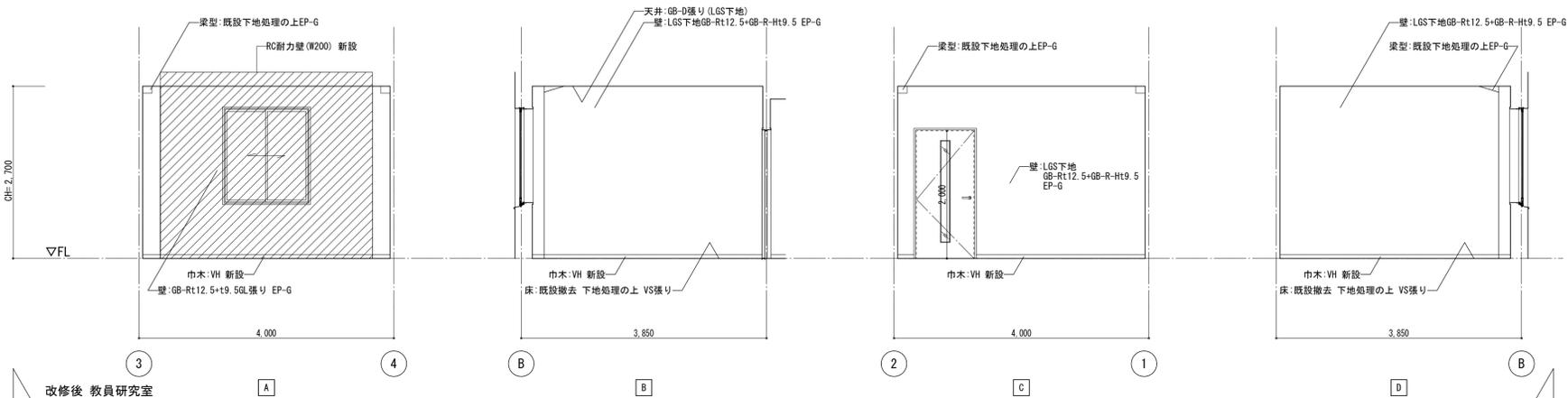
改修前 第1会議室



改修前 第1会議室



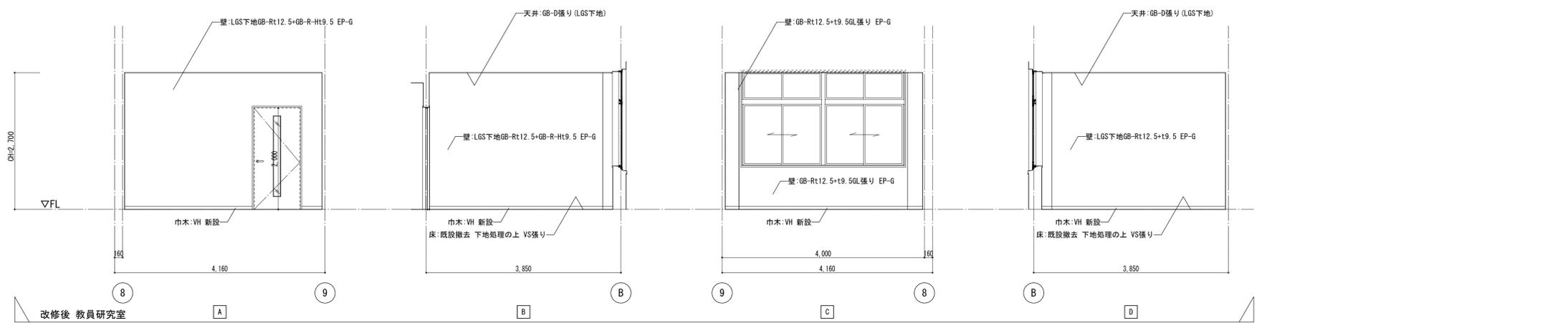
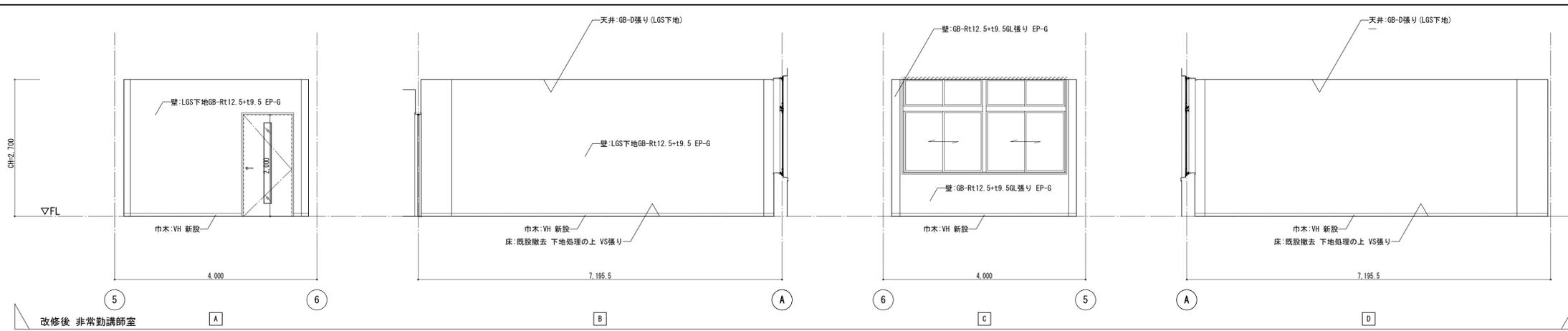
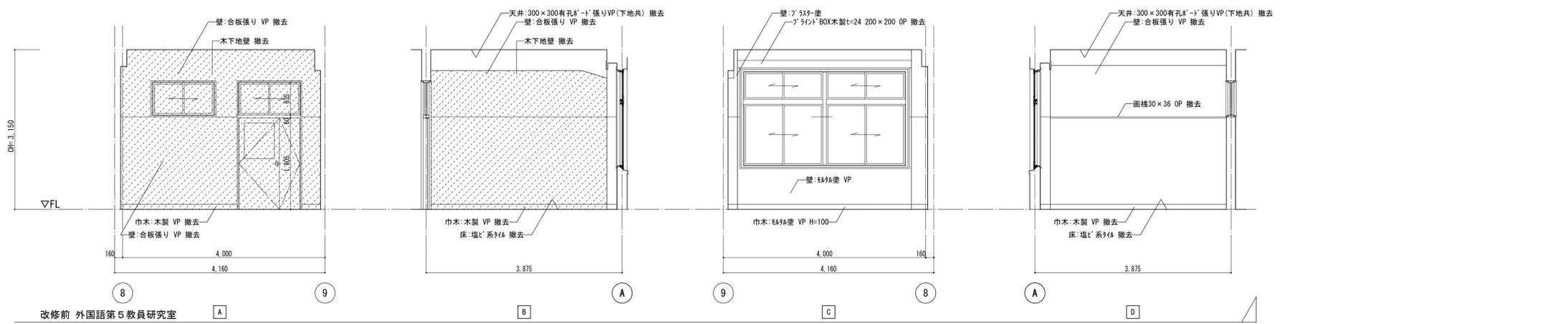
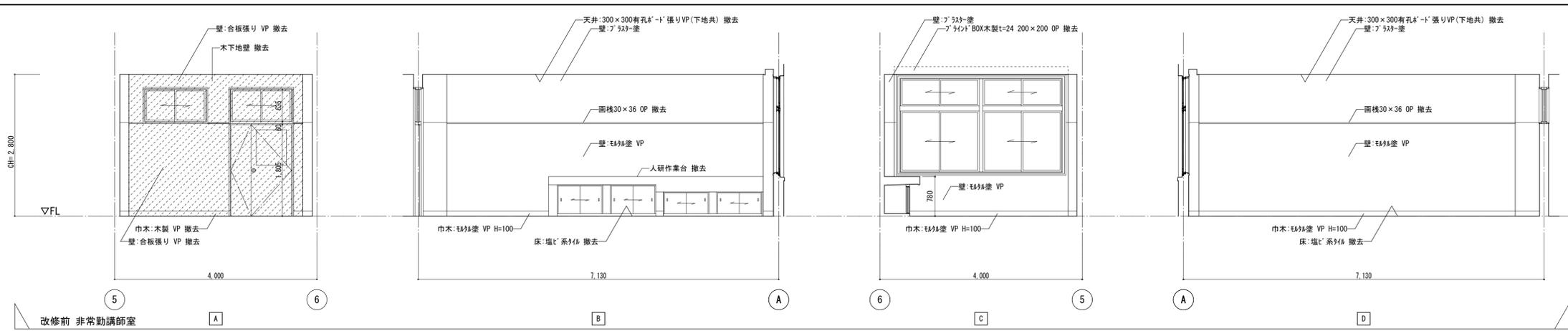
改修後 教員研究室



改修後 教員研究室

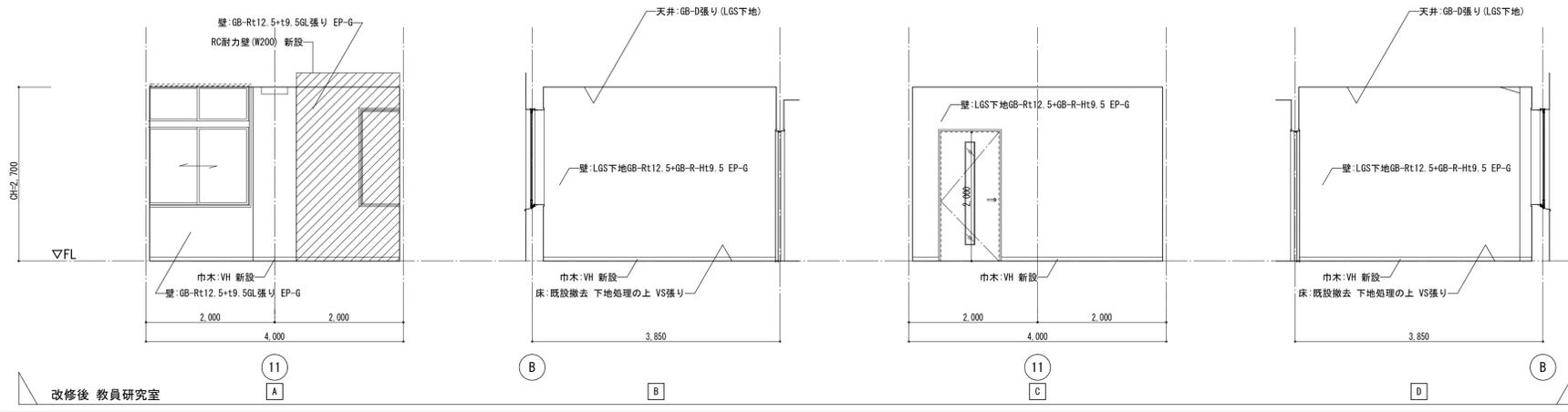
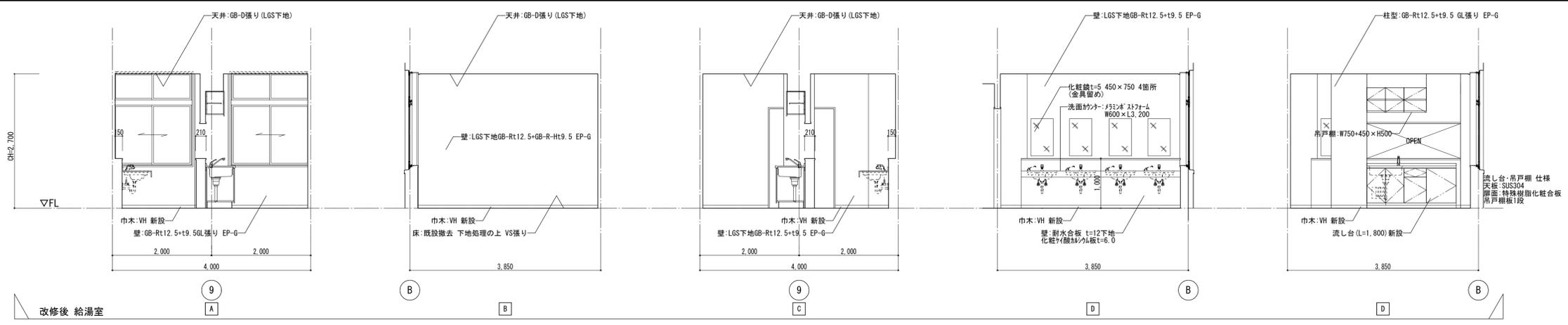
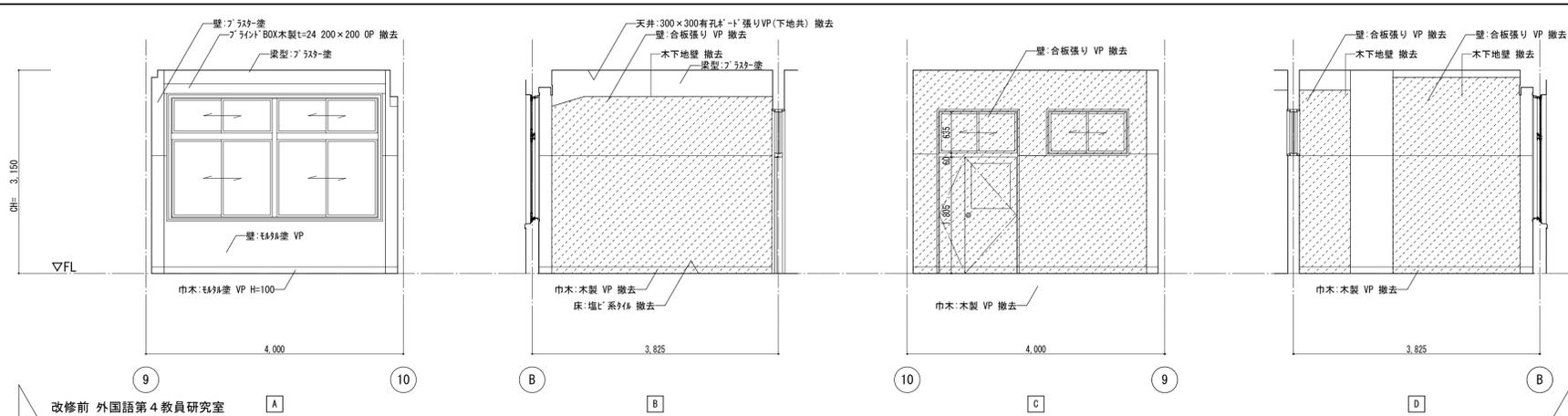
記事	仙石高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	平成26年7月	総数	53/109
												株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 3階展開図(1)	縮尺	1/50	番号	A-43

※A3版の場合は50%縮尺とする



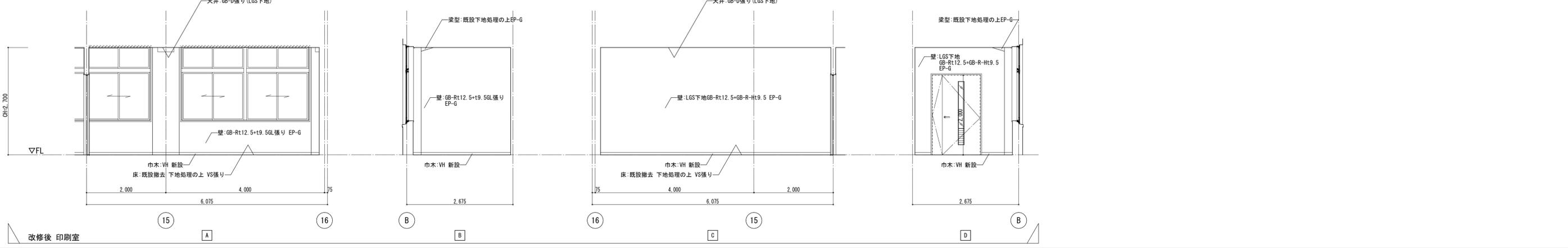
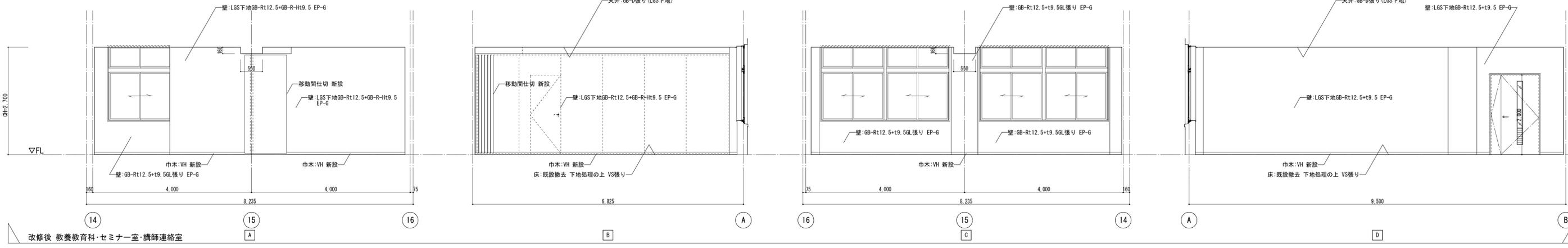
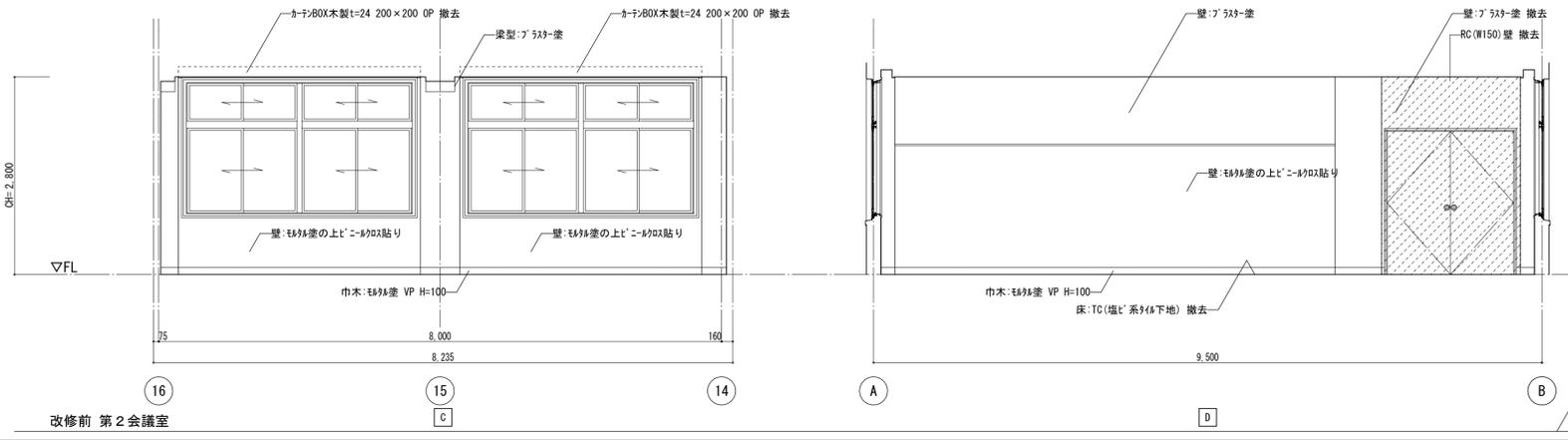
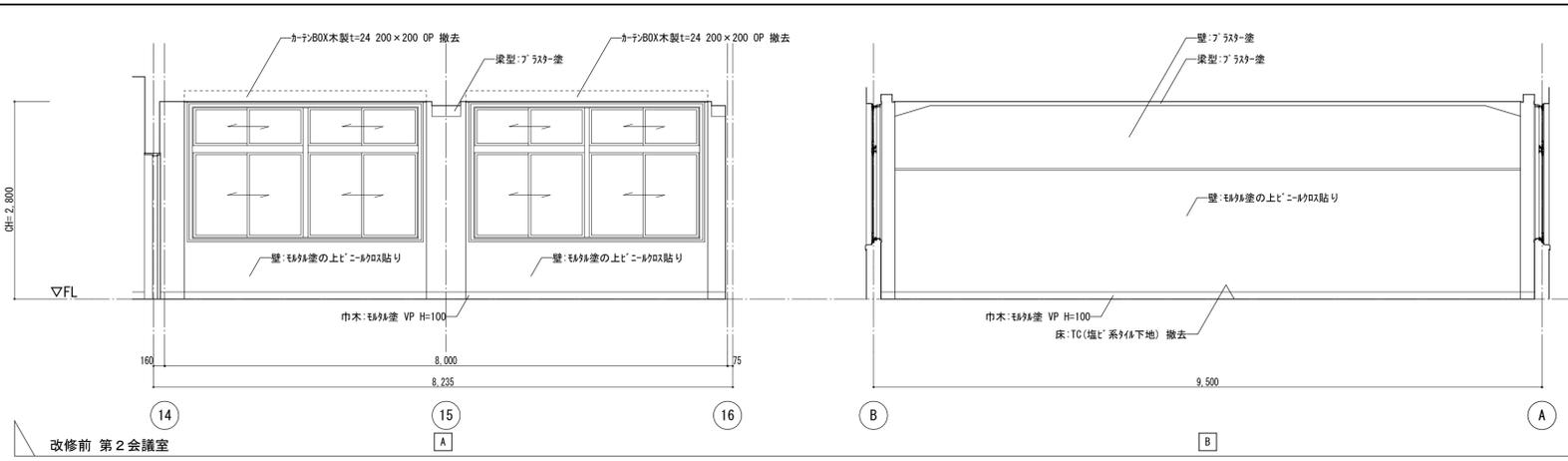
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	検 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	54/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 3階展開図(2)	縮尺	番号
														1/50	A-44

※A3版の場合は50%縮尺とする



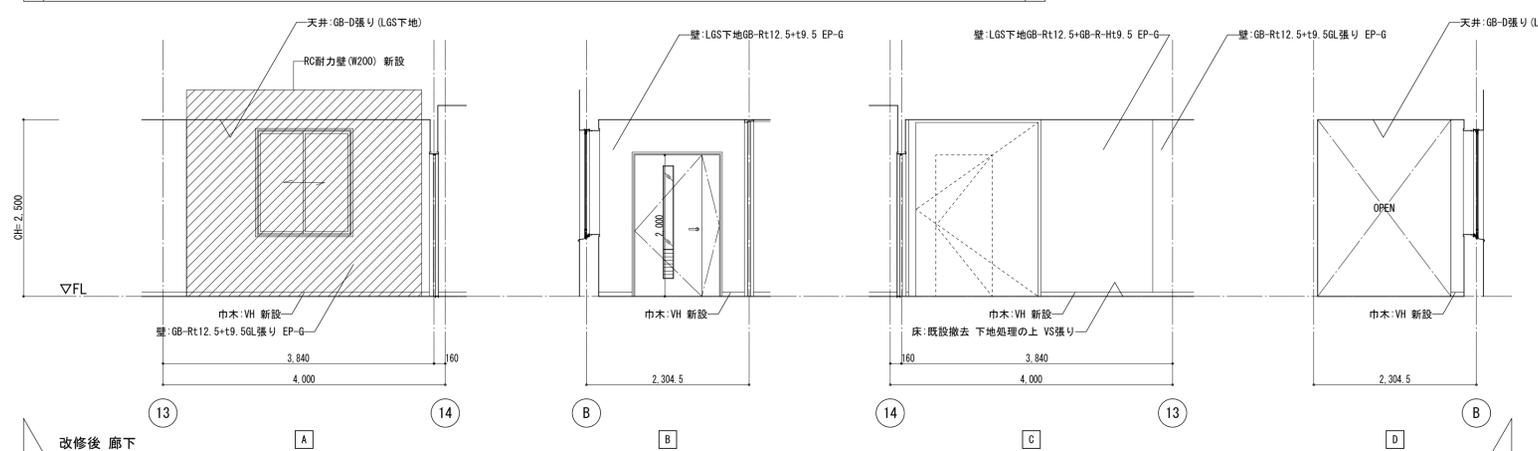
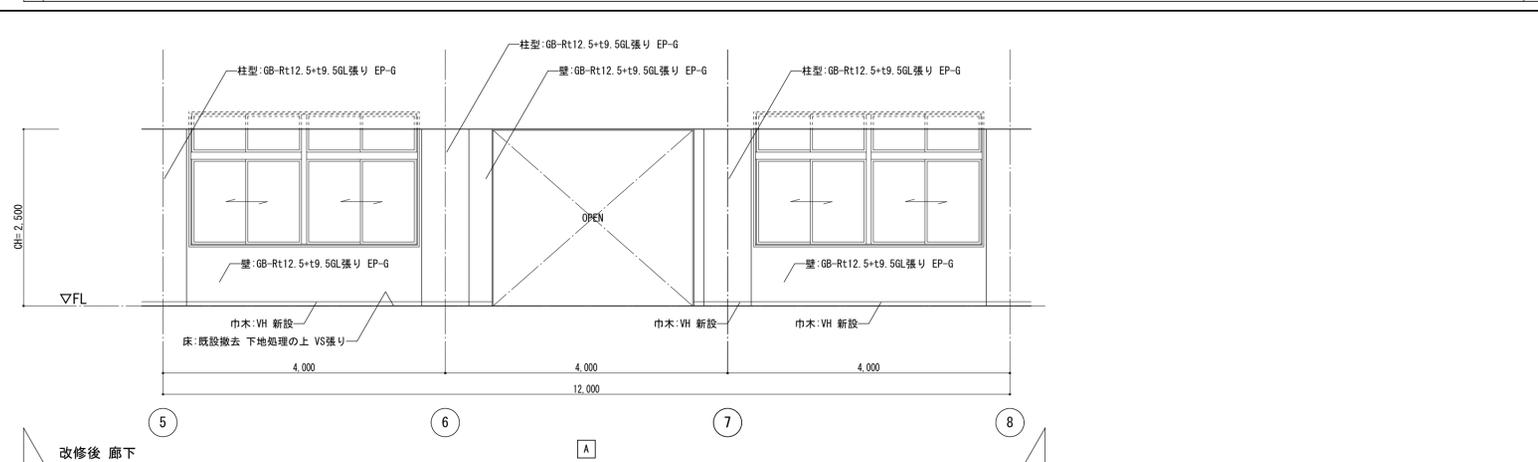
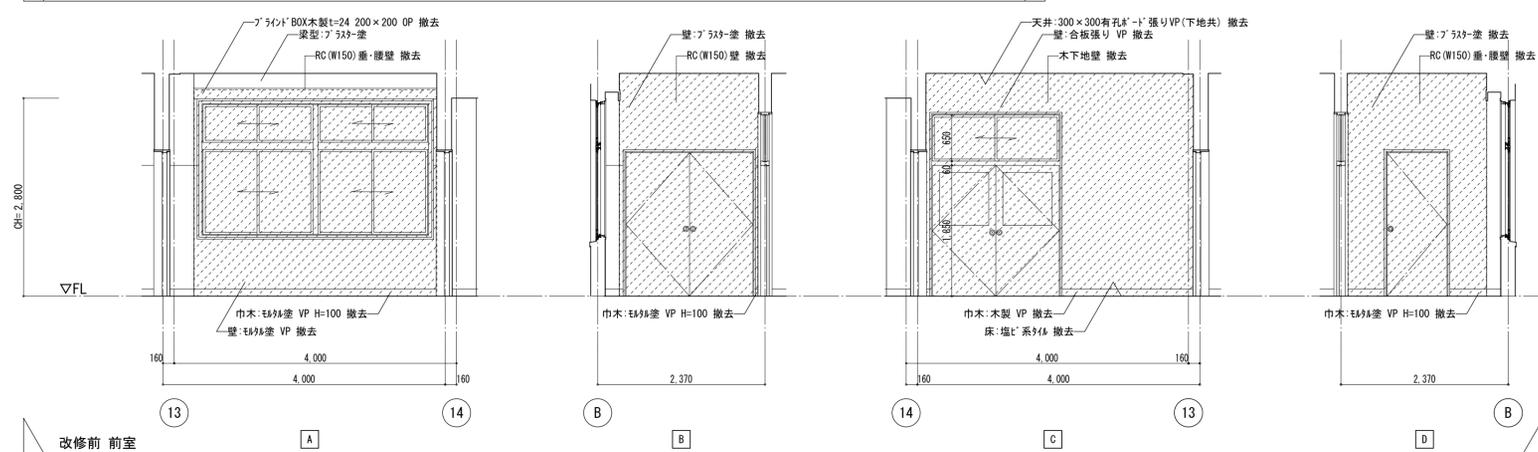
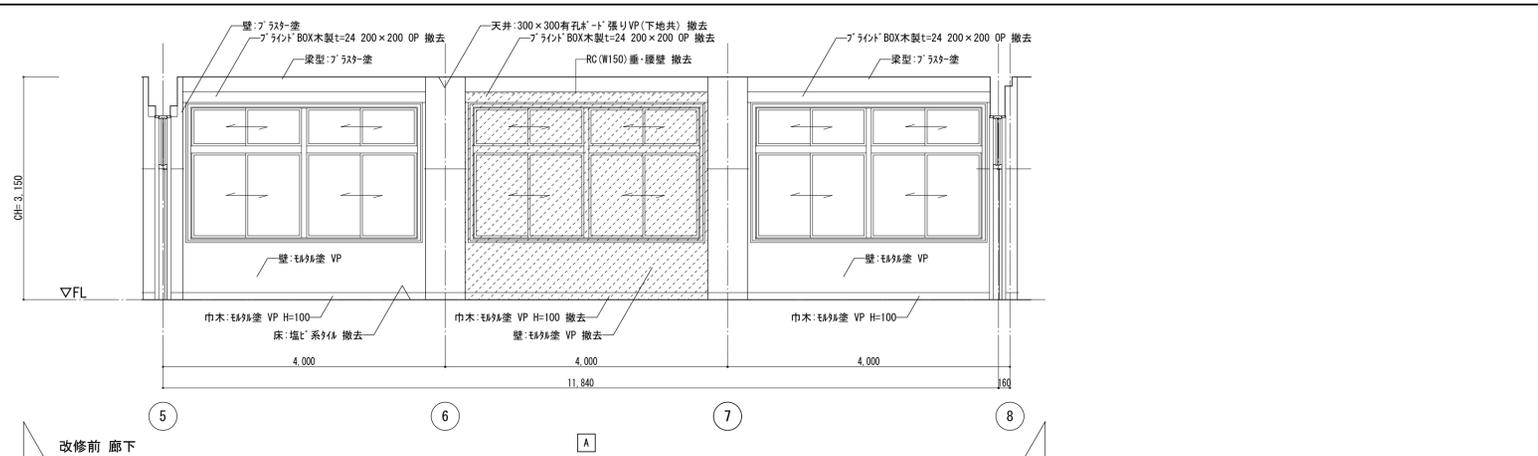
記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 図	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	総数
											株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 3階展開図(3)	平成26年7月	55/109	
															縮尺	番号	
															1/50	A-45	

※A3版の場合は50%縮尺とする



記事	仙臺高等専門学校	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務	検 閲	担 当	工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	日付	平成26年7月	総数	56/109
											株式会社 総企画設計	管理建築士 一級建築士 (大臣) 第270315号 犬飼 和行			図面名称	改修前後 3階展開図 (4)	縮尺	1/50	番号	A-46

※A3版の場合は50%縮尺とする



記事	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	業務名	校 図	担 当	工事名称	日付	総数
										鈴鹿工業高専管理棟改修設計等業務			鈴鹿工業高専管理棟改修その他工事	平成26年7月	57/109
										株式会社 総企画設計 管理建築士 一級建築士(大臣) 第270315号 犬飼 和行			改修前後 3階展開図(5)	縮尺	番号
														1/50	A-47

※A3版の場合は50%縮尺とする